

『立命館経済学』五〇年(全四七巻)総目録

立命館経済学 第1巻総目次(1952年度)

論 説	号	ページ(通巻)
資本主義貨幣と社会主義貨幣……………武藤守一	1…	1(3)—27(27)
統計的方法の本質……………関弥三郎	1…	28(28)—58(58)
附加価値税の本質……………箕浦格良	1…	59(59)—88(88)
わが国塩業労働における封建性と近代性との交錯……………大山敷太郎	1…	89(89)—140(140)
——特に塩業における親方制度の推移に関連しての一試論——		
労働と社会発展の関係……………阿部矢二	2…	33(175)—51(193)
財務諸表の分析における基礎的一問題……………津ノ国長四郎	2…	52(194)—65(207)
郷土産業考察の一例(上)……………淡川康一	3…	1(261)—17(277)
わが国塩業労働における封建制と近代性との交錯……………大山敷太郎	3…	18(278)—67(327)
——特に塩業における親方制度の推移に関連しての一試論——		
資本主義社会における小農経営……………阿部矢二	4…	1(397)—28(424)
企業の指導原則としての収益性……………祭原光太郎	4…	29(425)—54(450)
教父的およびスコラの所有観……………高橋良三	4…	55(451)—86(482)
郷土産業考察の一例(中)……………淡川康一	4…	87(483)—93(489)
経済学と地理学との関係……………淡川康一	5・6…	1(535)—12(556)
農地改革の結果の二、三について……………阿部矢二	5・6…	13(547)—27(561)
近世における畿内在郷商人の高利貸資本について……………足立政男	5・6…	28(562)—53(587)
——山城国乙訓郡神足村絞油商油屋弥兵衛(現岡本家)の場合——		
中小企業対策としての調整組合に関する問題点……………井上巖次郎	5・6…	54(588)—63(597)
リカードオ理論における貿易による搾取の問題……………井上次郎	5・6…	64(598)—78(612)
わが国漁業における共同経営の典型……………大山敷太郎	5・6…	79(613)—100(634)
資本論の学的体系性……………梯明秀	5・6…	101(635)—127(661)
——冒頭文節の体系的意味を分析するための序説として——		
経営における職制組織……………祭原光太郎	5・6…	128(662)—141(675)
東南アジア貿易の振興と経済開発について……………高見沢茂治	5・6…	142(676)—158(692)
労働協約と社会保障……………平田隆夫	5・6…	159(693)—182(716)
ドップ恐慌論の検討……………松田弘三	5・6…	183(717)—204(738)
——恐慌論の基本問題について(一)——		
ヒュー・ダルトンに於ける経費に関する理論……………箕浦格良	5・6…	205(739)—221(755)

財閥解体政策の基盤とその変遷……………武藤守一	5・6…222(756)—248(782)
——日本経済の従属化と軍事化への序説——	
アメリカにおける労働組合の特質と協約の	
パターンについて……………森川信	5・6…249(783)—265(799)
米国に於けるアクセレレーション問題……………宇都宮巖	5・6…266(800)—281(815)
フィリップ・シドニイに就いて……………岡橋祐	5・6…282(816)—300(834)
時 論	
中小企業と長期金融……………井上巖次郎	2… 1(143)— 10(152)
ポンド過剰の問題……………井上次郎	2… 11(153)— 32(174)
研 究	
特殊の生産について……………小牧聖徳	2… 66(208)— 79(221)
近世における山城農民の経済生活(上)……………足立政男	2… 80(222)— 99(241)
保険差益の会計処理について若干の考察……………寺島平	2…100(242)—118(260)
近世における山城農民の経済生活(下)……………足立政男	3…103(363)—125(385)
講 座	
統計調査法……………関弥三郎	3… 68(328)—102(362)
任意標本調査法(1)……………関弥三郎	4… 94(490)—128(524)
資 料	
LIFO 価格指数構成方法……………平島平	3…126(386)—134(394)
書 評	
R. T. Bye 社会経済と価格体系……………山田邦臣	1…127(127)—140(140)
労働問題に関する新著二つ……………平田隆夫	4…129(525)—137(533)
(1) 米国連邦労働省編“米国労働運動小史”1951年	
(2) 国際労働局編“永続的平和——国際労働機関の進路”	

立命館経済学 第2巻総目次 (1953年度)

論 説	号	ページ(通巻)
資本論冒頭文節の体系的意味……………梯 明 秀	1 …	1 (1) — 38 (38)
郷土産業考察の一例(下)……………淡 川 康 一	1 …	39 (39) — 50 (50)
社会階級性について……………阿 部 矢 二	2 …	1 (139) — 15 (153)
— 学生諸君へ —		
事業課税の外形と本質……………箕 浦 格 良	2 …	16 (154) — 51 (189)
スウィージー恐慌論の批判……………松 田 弘 三	2 …	52 (190) — 80 (218)
我国近世の経済思想(上)……………淡 川 康 一	3 …	1 (255) — 23 (277)
— 大山教授の近著を中心として —		
危機に立つ反独占政策……………井 上 巖 次 郎	4 …	1 (381) — 12 (392)
わが国労働関係の特質(一)……………大 山 敷 太 郎	4 …	13 (393) — 57 (437)
ルネサンス・レフォルマチオン期における		
所有観(上)……………高 橋 良 三	4 …	58 (438) — 82 (462)
諸商品集成の感的直観(その一)……………梯 明 秀	5 …	1 (523) — 30 (552)
— 「資本論冒頭文節の体系的意味」の第三章として —		
利潤と人民の生活との対抗関係……………阿 部 矢 二	5 …	31 (553) — 47 (569)
我国近世の経済思想(下)……………淡 川 康 一	5 …	48 (570) — 72 (594)
— 大山教授の近著を中心として —		
諸商品集成の感性的直観(その二)……………梯 明 秀	6 …	28 (670) — 56 (707)
— 併せて遊部, 宇野, 向坂の諸氏の所説について —		
会计学上に所謂発生主義と実現主義に関する若干の 考察……………津ノ国長四郎	6 …	12 (654) — 27 (669)
時 論		
最近の中小企業立法……………井 上 巖 次 郎	6 …	1 (643) — 11 (653)
研 究		
近世山城における在郷商人の商業経営について……………足 立 政 男	1 …	83 (83) — 112 (112)
— 乙訓郡神足村絞油商「油屋弥兵衛」について —		
O. H. Taylor のシュムペーター学説における		
「帝国主義論」「社会階級論」の位置づけについて……………浜 崎 正 規	1 …	113 (113) — 138 (138)
連関財に関する一考察(一)……………山 田 邦 臣	2 …	81 (219) — 103 (241)
封建体制崩壊に関する一考察……………足 立 政 男	3 …	24 (278) — 57 (311)
— 畿内在郷商人の存在形態を中心に —		
棚卸資産評価について……………寺 島 平	3 …	58 (312) — 79 (333)
— 現行税法をめぐって —		

税務会計上の一考察……………	高尾忠男	3 … 80 (334) — 90 (344)
——ディダクションを中心として——		
利子生み資本の変容……………	小牧聖徳	4 … 83 (463) — 92 (472)
——近代的銀行業の成立をめぐる——		
「企業者」と資本主義過程の「革新」について……………	浜崎正規	4 … 93 (473) — 122 (502)
——シュムペーター学説の主要問題——		
ヒックスにおける代替補完概念の吟味……………	山田邦臣	5 … 73 (595) — 94 (616)
——関連財に関する一考察(二)——		
米国の綿花生産とその処理策……………	森川信	6 … 66 (708) — 80 (722)
内部索制組織の弱点について……………	高尾忠男	6 … 81 (723) — 89 (731)
講 座		
任意標本調査法(二)……………	関弥三郎	1 … 51 (51) — 82 (82)
税務会計における貸倒準備金の繰入処理……………	高尾忠男	2 … 104 (242) — 110 (248)
任意標本調査法(三)……………	関弥三郎	3 … 91 (345) — 115 (369)
任意標本調査法(四)……………	関弥三郎	4 … 123 (503) — 141 (521)
剰余価値説の成立過程(一)……………	松田弘三	5 … 95 (617) — 119 (641)
任意標本調査法(五)……………	関弥三郎	6 … 90 (732) — 109 (751)
剰余価値説の成立過程(二)……………	松田弘三	6 … 110 (752) — 120 (762)
紹 介		
T. E. ミード・国際収支論……………	村瀬武三郎	2 … 111 (249) — 116 (254)
——国際経済政策理論第一巻——		
C. S. ソロー・「資本主義過程における革新」……………	浜崎正規	3 … 116 (370) — 123 (377)
——シュムペーター理論の批判——		

立命館経済学 第3巻総目次 (1954年度)

論 説	号	ページ(通巻)
マルクスに対立する貨幣理論批判……………武 藤 守 一	1 …	1 (1) — 25 (25)
ソ同盟における富農対策……………阿 部 矢 二	1 …	26 (26) — 47 (47)
マルクス経済学の成立過程にかんする一考察……………松 田 弘 三	1 …	48 (48) — 88 (88)
——剰余価値論の生成を中心として——		
諸商品集成の感性的直観(その三)……………梯 明 秀	1 …	89 (89) — 116 (116)
ツアイス工場……………木 村 喜 一 郎	2 …	1 (131) — 16 (146)
いわゆる縁故募集「採用」の一典型……………大 山 敷 太 郎	2 …	2 (229) — 16 (244)
——郵政省「現業職員の実態に関する調査に基く分析」——		
日本信用体系における国家的銀行資本の地位と役割…武 藤 守 一	2 …	17 (225) — 53 (281)
——その一、従属化、軍事化の資金的中枢としての日本開発銀行——		
証券上場規定と第二市場……………住ノ江佐一郎	3 …	54 (282) — 73 (301)
わが国鉱業労働における封建性と親方制度……………大 山 敷 太 郎	4 …	1 (371) — 34 (404)
カメラリズムスに於ける財政思想……………箕 浦 格 良	4 …	35 (405) — 63 (433)
グラハム・ドッドにおける有価証券の分類について…住ノ江佐一郎	4 …	64 (434) — 77 (447)
マルクス主義による人間改造の問題……………阿 部 矢 二	4 …	78 (448) — 101 (471)
賃労働者の向自有的論理構造……………梯 明 秀	5 …	1 (493) — 30 (522)
減価償却と客観性の要請……………津ノ国長四郎	5 …	31 (523) — 50 (542)
アダム・スミスの財政論……………箕 浦 格 良	5 …	51 (543) — 81 (573)
四四年手稿断片「疎外された労働」における		
マルクスの哲学思想(上)……………梯 明 秀	6 …	1 (623) — 29 (651)
唯物論についての覚書(其の一)……………阿 部 矢 二	6 …	30 (652) — 49 (671)
日本輸出入銀行……………武 藤 守 一	6 …	50 (672) — 73 (695)
——従属化、軍事化の貿易金融中枢としての——		
熊野灘沿岸漁村における「本役〔本家株〕・		
半役〔分家株〕制と漁業共同経営……………大 山 敷 太 郎	7 …	12 (696) — 35 (730)
住民税論……………藤 谷 謙 二	7 …	36 (731) — 57 (752)
世界労連の結成と分裂……………平 田 隆 夫	7 …	58 (753) — 83 (778)
新企業担保制度に関する若干問題……………井 上 巖 次 郎	7 …	84 (779) — 96 (791)
日本長期信用銀行……………武 藤 守 一	7 …	97 (792) — 122 (818)
——日本経済従属化軍事化の設備金融中枢として——		
フォード五〇年……………木 村 喜 一 郎	7 …	123 (819) — 135 (831)
発生主義の会計における実現主義の問題……………津ノ国長四郎	7 …	136 (832) — 151 (847)

四四年手稿断片「疎外された労働」における

マルクスの哲学思想(中)……………梯 明 秀 7… 152(848) — 183(879)

研 究

原価管理における原価計算課の機能……………寺 島 平 2… 17(147) — 41(171)

シュムペーター経済学の方法論的一考察……………浜 崎 正 規 2… 42(172) — 71(201)

近世在郷商人の農地経営……………足 立 政 男 3… 74(302) — 120(348)

税務監査の目標について……………高 尾 忠 男 3… 121(349) — 141(369)

貨幣資本と造出とその限界……………小 牧 聖 徳 5… 82(574) — 91(583)

近世都市近郊における農民生活……………足 立 政 男 6… 74(696) — 98(720)

「標準原価計算」に関する若干の考察……………寺 島 平 6… 99(721) — 123(745)

景気変動理論についての一試論……………浜 崎 正 規 6… 124(446) — 149(771)

資 料

アンリ・ドウニ

『マルクスと資本主義経済における現在の発展』……………小 牧 聖 徳 2… 72(202) — 91(221)

工業史の一断片……………淡 川 康 一 5… 92(584) — 112(604)

原価管理における原価計算の役割……………寺 島 平 5… 113(605) — 130(622)

紹 介

ソヴェトにおける統計学方法論争……………関 弥 三 郎 1… 117(117) — 128(128)

C. ワーバートン「シュムペーター学説における貨幣

および景気変動」……………浜 崎 正 規 4… 102(472) — 118(488)

書 評

庄司吉之助著『明治維新の経済構造』……………足 立 政 男 2… 92(222) — 98(228)

立命館経済学 第4巻総目次(1955年度)

論 説	号	ページ(通巻)
経営学における労務の考察……………祭原光太郎	1…	1(1) — 32(32)
ダウ理論にたいする二つの批判……………住ノ江佐一郎	1…	33(33) — 54(54)
わが国鉱業における親方制度の解体過程……………大山敷太郎	1…	55(55) — 77(77)
——「わが国鉱業労働における封建性と親方制度」補論その一——		
四四年手稿断片「疎外された労働」における		
マルクスの哲学思想(下の上)……………梯 明 秀	1…	78(78) — 116(116)
J. S. ミルに於ける財政思想(一)……………箕 浦 格 良	2…	1(135) — 29(163)
証券価値論への前提……………住ノ江佐一郎	2…	30(164) — 43(177)
高島炭坑に見る明治初期の親方制度の実態……………大山敷太郎	2…	44(178) — 87(221)
——「わが国鉱業労働における封建性と親方制度」補論その二——		
四四年手稿断片「疎外された労働」における		
マルクスの哲学思想(下の中)……………梯 明 秀	2…	88(222) — 115(249)
わが国鉱業「石炭」における親方制度の解体過程……………大山敷太郎	3…	1(271) — 66(336)
唯物論についての覚え書(その二)……………阿 部 矢 二	3…	67(337) — 85(355)
古典学派の経済的自由の制度……………井 上 次 郎	4…	1(437) — 24(460)
——スミスからリカードへ——		
経営参加と労働協約……………平 田 隆 夫	4…	25(461) — 48(484)
社会統計学における統計的方法と非統計的方法の		
性格……………関 弥 三 郎	4…	49(485) — 74(510)
——ジージェックを中心として——		
経営設備……………祭原光太郎	4…	75(511) — 100(536)
税務監査をめぐる若干の問題……………高尾忠男	4…	101(537) — 117(553)
アメリカにおける会計理論と実践の展開……………津ノ国長四郎	4…	118(554) — 168(604)
いわゆるカントリー・ダメージについて……………高見沢茂治	4…	169(605) — 194(630)
アメリカにおける株価論争……………住ノ江佐一郎	4…	195(631) — 229(665)
アメリカにおける商業銀行の問題点……………小 牧 聖 徳	4…	230(666) — 254(690)
いわゆるダイレクト・コストの吟味……………寺 島 平	4…	255(691) — 277(713)
わが国鉱業における「友子同盟」の解体期の実態……………大山敷太郎	5…	1(721) — 49(769)
——「わが国鉱業労働における封建性と親方制度」補論その四——		
J. S. ミルに於ける財政思想(二)……………箕 浦 格 良	5…	50(770) — 91(811)
経営における組織の運営……………祭原光太郎	6…	1(859) — 38(896)
世界観の生成……………陪 部 矢 二	6…	39(897) — 63(921)

研究

- 徳川中期における尾張一農村の考察……………岡 本 幸 雄 5 …… 92 (812) — 119 (839)
 —葉栗郡里小牧村の農村構造—

資料

- 工業史の一断片(下)……………淡 川 康 一 1 …… 117 (117) — 133 (133)
 大量通信交通と新聞の匿名主義(上)……………淡 川 康 一 2 …… 116 (250) — 136 (270)
 新中国の人民券の本質と機能について……………武 藤 守 一 3 …… 86 (356) — 119 (389)
 大量通信交通と新聞の匿名主義(下)……………淡 川 康 一 3 …… 120 (390) — 140 (410)
 T. B. ヴェブレン方法論の論難 ………………浜 崎 正 規 3 …… 141 (411) — 165 (435)
 消費地理研究の一側面としての家計予算……………淡 川 康 一 5 …… 120 (840) — 137 (857)
 新民主主義社会における金利の性格……………武 藤 守 一 6 …… 64 (922) — 77 (935)
 経営管理と管理会計……………船 越 弘 6 …… 78 (936) — 104 (962)
 —ゲッツの所論を中心として—

紹介

“The Nature and Role of Originality in Scientific

- Progress”, by G. J. Stigler……………浜 崎 正 規 6 …… 105 (963) — 122 (980)

その他

- 木村教授年譜並びに論著目録…………… 4 …… 278 (714) — 284 (720)

立命館経済学 第 5 卷総目次 (1956年度)

論 説	号	ページ(通巻)
株式投資論の構造について……………住ノ江佐一郎	1 …	1 (1) — 18 (18)
アメリカ労働組合運動の戦線統一……………平 田 隆 夫	2 …	1 (145) — 17 (161)
——AFL と CIO の合同について——		
近世における都市の下糞利用による農業経営……………足 立 政 男	2 …	18 (162) — 40 (184)
——京都と西岡地帯における農業経営の場合——		
直交多項式による傾向線の当嵌め……………関 弥 三 郎	2 …	41 (185) — 65 (209)
銀行機能の史的展開……………小 牧 聖 徳	2 …	66 (210) — 89 (233)
証券市場における取引の客体としての有価証券		
の本質と機能について(上)……………住ノ江佐一郎	3 …	1 (253) — 41 (293)
無額面株式試論……………住ノ江佐一郎	4 …	1 (329) — 25 (353)
ビュヒャー『国民経済の成立』の編成について……………淡 川 康 一	5 …	1 (447) — 37 (483)
資本主義社会における矛盾のひとつのあらわれ……………阿 部 矢 二	5 …	38 (484) — 53 (499)
リカードにおける地代理論の発展……………井 上 次 郎	5 …	54 (500) — 73 (519)
マルクス主義経済哲学原理……………梯 明 秀	5 …	74 (520) — 117 (563)
正義の座としての自然法思想の展開(上)……………高 橋 良 三	5 …	118 (564) — 143 (589)
経営政策の樹立……………祭 原 光 太 郎	5 …	144 (590) — 169 (615)
近世京都商人の商業経営について……………足 立 政 男	5 …	170 (616) — 185 (631)
税務における監査の在り方……………高 尾 忠 男	5 …	186 (632) — 195 (641)
反民権論とその基盤……………後 藤 靖	6 …	1 (707) — 22 (728)
——土佐勤王党の分析——		
マルクス主義経済哲学原理(承前)……………梯 明 秀	6 …	23 (729) — 81 (787)
リカードの絶対価値論について……………松 田 弘 三	6 …	82 (788) — 120 (826)
戦後普通銀行政策の基本的性格……………小 牧 聖 徳	6 …	121 (827) — 156 (862)
正義の座としての自然法思想の展開……………高 橋 良 三	6 …	157 (863) — 174 (880)
研 究		
資本蓄積および恐慌にかんする		
リカードの理論とセーの市場法則……………松 田 弘 三	1 …	19 (19) — 62 (62)
資 料		
沈志遠著『政治経済学大綱』……………武 藤 守 一	1 …	63 (63) — 121 (121)
徳川時代における農民の「脱落」について……………岡 本 幸 雄	1 …	122 (122) — 144 (144)
小規模企業組織に適用される原価管理……………寺 島 平	3 …	42 (294) — 60 (312)
カール・ビュヒャーの自叙伝について……………淡 川 康 一	4 …	26 (354) — 46 (374)

狄超白『中国の過渡期における社会主義経済の発展と 経済法則』……………	武藤守一	4… 47(375) — 67(395)
式文『中国の過渡期における基本的経済法則について の意見』……………	武藤守一	5… 196(642) — 210(656)
近世丹波馬路村における「両苗郷土」の存在形態(-)……………	岡本幸雄	5… 211(657) — 233(679)
計算機・オペレーションズ・リサーチ・線型計画……………	祭原光太郎	6… 175(881) — 188(894)
莊鴻湘「中国の過渡期における客観的経済法則に 関する若干の意見」……………	武藤守一	6… 189(895) — 211(917)
「労働と律動」に於ける日本関係の記事……………	淡川康一	6… 212(918) — 219(926)
紹 介		
H.R. ライト編『経営の本質』……………	祭原光太郎	2… 90(234) — 96(240)
J. ニヒトヴァイス『メクレンブルグにおける 農民追放』……………	大藪輝雄	2… 97(241) — 108(252)
レット商品についての独乙文献二・三の紹介……………	木村喜一郎	3… 61(313) — 65(317)
長谷部文雄著『資本論隨筆』の紹介によせて……………	阿部矢二	3… 66(318) — 74(326)
オートメーションと生産管理……………	祭原光太郎	4… 68(396) — 76(404)
O. モスト『一般統計学』……………	関 弥三郎	4… 77(405) — 86(414)
M. フリードマン『L. ワルラと彼の経済学体系』……………	浜崎正規	4… 87(415) — 101(429)
J. グロヂンスキーにおける『市場分析』……………	住ノ江佐一郎	5… 234(680) — 246(692)
H. ルック『J. H. v. チューネンの経済学説 によせて』……………	大藪輝雄	5… 247(693) — 259(705)
寄 稿		
管理会計の経営的性格……………	船越 弘	4… 102(430) — 118(446)
そ の 他		
創刊五周年にあたって……………	藤谷謙二	5… 巻頭

立命館経済学 第6巻総目次(1957年度)

論 説	号	ページ(通巻)
価値論および分配論におけるアダム・スミスと		
リカアドウ(上).....岡崎 栄 松	1 ... 1 (1) —	57 (57)
反民権論とその基盤(二).....後 藤 靖	1 ... 58 (58) —	86 (86)
近世における日本海沿岸の帆船航運の状況について...足立 政 男	2 ... 1 (133) —	47 (179)
——丹後国網野縮緬機業地帯における山中九兵衛家の文書を中心として——		
価値論および分配論におけるアダム・スミスと		
リカアドウ(下).....岡崎 栄 松	2 ... 48 (180) —	108 (240)
株式価格の構成にかんする二つの見解.....住ノ江 佐 一 郎	3 ... 1 (279) —	38 (316)
——ドナーとレフラーのばあい——		
近世後期における地方商業資本の発達とその活躍.....足立 政 男	3 ... 39 (317) —	108 (386)
——丹後国浅茂川商人山中九兵衛家の場合——		
正義の担い手としての国家と社会.....高 橋 良 三	4 ... 1 (433) —	28 (460)
近世における丹後縮緬産地問屋の利貸と		
土地集中形態について.....足立 政 男	4 ... 29 (461) —	93 (525)
——丹後国加悦谷縮緬機業地帯における杉本利右衛門家の文書を中心として——		
ミュンヘン・景気調査法とその統計的性格.....関 弥 三 郎	4 ... 94 (526) —	130 (562)
——新しい推算統計の一例——		
株式会社の資本調達.....小 島 昌 太 郎	5 ... 1 (609) —	28 (636)
自由党の危機.....後 藤 靖	5 ... 29 (637) —	62 (670)
利子率決定要因に関する F. H. ハーンの		
見解について.....山 田 邦 臣	6 ... 1 (739) —	28 (766)
戦後における大銀行の推移.....小 牧 聖 徳	6 ... 29 (767) —	47 (785)
——預金, 貸出, 証券, 借入を中心として——		
T. ガイガーの『資本論』批判について.....岡崎 栄 松	6 ... 48 (786) —	84 (822)
インヴェントゥリ・リザーヴに関する吟味.....高 尾 忠 男	6 ... 85 (823) —	108 (846)
時 論		
中小企業団体組織法案の問題点.....井 上 巖 次 郎	1 ... 87 (87) —	97 (97)
研 究		
グーツヘルシャフトの成立.....大 藪 輝 雄	5 ... 63 (671) —	104 (712)
——メクレンブルグを中心として——		
資 料		
「国民経済進化論」の根本思想.....淡 川 康 一	1 ... 98 (98) —	132 (132)

F. ハービソン「経済発展における要因としての

- 企業者組織」……………浜崎正規 2…109(241)—135(267)
- 部落有林野解体の一局面……………大藪輝雄 3…109(387)—145(423)
- 奈良県吉野郡旧中荘村の場合——
- 労働価値説と史的唯物論の成立……………松田弘三 4…131(663)—176(708)
- ローゼンベルグ『初期マルクス経済学説の形成』によせて——
- 近世郷土の存在形態(上)……………岡本幸雄 5…105(713)—130(738)
- 丹波馬路村「両苗郷土」の経済的基盤と村方支配——
- 朝鮮民主主義人民共和国の通貨、金融……………武藤守一 6…109(847)—125(863)
- 現代経営の理論的基礎(上)……………植村省三 6…126(864)—143(881)
- その典型としてのドラッカー理論——

書評

- AFLとCIOの合同をめぐる論議……………平田隆夫 3…146(424)—154(432)
- Arthur J. Goldberg, AFL-CIO: Labor United. New York, McGraw-Hill Book Co., Inc. 1956 xiii 319 を読む——

その他

- 故高見沢茂治教授略歴・主要著書論文目録……………2…136(268)—137(269)
- 追憶文(藤谷謙二, 井上次郎, 岡橋祐, 宇都宮巖, 高橋喜久夫)……………2…138(270)—146(278)

立命館経済学 第7巻総目次(1958年度)

論 説	号	ページ(通巻)
近世丹後縮緬機業地における糸問屋の存在形態……………足 立 政 男	1 … 1 (1) —	53 (53)
——丹後国加悦町杉本利右衛門家文書を中心として——		
月別傾向線の当嵌め方法……………関 弥 三 郎	1 … 54 (54) —	71 (71)
国民経済と地理的環境……………淡 川 康 一	2 … 1 (119) —	26 (144)
オーウェン主義の生成……………松 田 弘 三	2 … 27 (145) —	65 (183)
——ニュー・ラナーク実験と工場法運動——		
内職労働者の量的存在に関する調査と推定(上)……………坂 寄 俊 雄	2 … 66 (184) —	89 (207)
——大阪府における実態調査を通じて——		
土佐藩郷士制度の解体過程について(その一)……………後 藤 靖	3 … 1 (251) —	19 (269)
G. ミュルダールの低発展国開発論……………浜 崎 正 規	3 … 20 (270) —	64 (314)
内職労働者の量的存在に関する調査と推定(中)……………坂 寄 俊 雄	3 … 65 (315) —	77 (327)
——大阪府における実態調査を通じて——		
オーウェン主義の成立……………松 田 弘 三	4 … 1 (395) —	34 (428)
——1815年恐慌とロバート・オーウェン——		
近世丹後縮緬機業地帯における商業資本家の 存在形態……………足 立 政 男	4 … 35 (429) —	96 (490)
——丹後国加悦町下村五郎助家文書を中心として——		
貨幣取扱資本の成立と発展……………小 牧 聖 徳	4 … 97 (491) —	111 (506)
——近代的銀行業の成立をめぐって——		
内職労働者の量的存在に関する調査と推定(下)……………坂 寄 俊 雄	5 … 1 (563) —	24 (586)
——大阪府における実態調査を通じて——		
土佐藩郷士制度の解体過程について(その二)……………後 藤 靖	5 … 25 (587) —	50 (612)
近世後期における都市商人……………奥 田 修 三	5 … 51 (613) —	88 (650)
——奈良晒市青苧中買について——		
『資本論』体系の図式的解明(上)……………梯 明 秀	6 … 1 (721) —	29 (749)
J. B. ウィリアムスの「投資価値理論」における 株価分析の構造……………住ノ江佐一郎	6 … 30 (750) —	52 (772)
管理における統制機能……………祭 原 光 太 郎	6 … 53 (773) —	77 (797)
貸借対照表監査と損益計算書監査……………高 尾 忠 男	6 … 78 (798) —	103 (823)
動学的レオンティエフ・システムとフィード・バック 効果……………岡 崎 不 二 男	6 … 104 (824) —	118 (838)
研 究		
いわゆる分権的管理組織について……………植 村 省 三	4 … 112 (506) —	151 (545)

- 国有企業経営管理機構論序説(その一)……………辻 和 夫 5 …… 89 (651) — 132 (694)
 ——英国公共企業体の研究——
- アメリカにおける割賦販売の収益認識理論の発展と
 その現実的基礎……………桑 原 幹 夫 5 …… 133 (695) — 157 (719)
- 国有企業経営管理機構論序説(その二)……………辻 和 夫 6 …… 119 (839) — 135 (855)
 ——英国公共企業体の研究——
- 資 料**
- 現代経営の理論的基礎(下)……………植 村 省 三 1 …… 72 (72) — 96 (96)
 ——その典型としてのドラッガー理論——
- 幕末の株仲間……………奥 田 修 三 2 …… 90 (208) — 107 (225)
 ——京都嵯峨・梅津・桂三ヶ所材木仲間について——
- 中国の銀行業と貨幣改革の発展情況……………武 藤 守 一 3 …… 78 (328) — 94 (344)
- 割賦販売による未実現総利益の貸借対照表における
 表示について……………桑 原 幹 夫 3 …… 95 (345) — 108 (358)
- ヴェ・バトゥイレフ『社会主義のものでの商品生産の
 必然性と本性について』(訳)……………岡 崎 栄 松 4 …… 152 (546) — 168 (562)
- 近世郷土の存在形態(下)……………岡 本 幸 雄 6 …… 136 (856) — 155 (875)
 ——丹波馬路村「両苗郷土」の経済的基盤と村方支配——
- 紹 介**
- W. アダムス, H. M. グレイ『アメリカにおける
 国家と独占』……………辻 和 夫 1 …… 97 (97) — 114 (114)
- F. ノイマン『ピヒモス』……………川 本 和 良 2 …… 108 (226) — 132 (250)
- エ・バ・ゲンキナ『ソヴェト国家の新経済政策への移
 行(一九二一〜一九二二年)』……………岡 崎 栄 松 3 …… 109 (359) — 144 (394)
- 書 評**
- カール・ビュヒャー『国民経済進化論』第二集……………高 橋 良 三 1 …… 115 (115) — 117 (117)
 ——淡川康一教授の訳業について——

立命館経済学 第8巻総目次(1959年度)

論 説	号	ページ(通巻)
封建地代の形態転化とその合法則性……………阿 部 矢 二	1…	1(1)—11(11)
『資本論』体系の図式的解明(中)……………梯 明 秀	1…	12(12)—84(84)
中国人民大学『資本主義国家の貨幣流通と信用』……武 藤 守 一	1…	85(85)—95(95)
株価分析の重要性について……………住ノ江佐一郎	1…	96(96)—111(111)
オーウェン主義の完成……………松 田 弘 三	1…	112(112)—174(174)
——『ラナーク州への報告』を中心とするオーウェンの経済思想——		
近世丹後縮緬機業における株仲間の一考察……………足 立 政 男	1…	175(175)—204(204)
直線傾向線と季節指数の図的計算……………関 弥 三 郎	1…	205(205)—224(224)
エス・デ・スカスキ『中欧および東欧における		
いわゆる「再版農奴制」の基本的諸問題』……………大 藪 輝 雄	1…	225(225)—242(242)
欧州共同市場における若干の問題点……………清 水 貞 俊	1…	243(243)—281(281)
労働価値論の生成にかんする一考察……………松 田 弘 三	2…	1(285)—88(372)
——その自然価格論との関連を中心として——		
『資本論』体系の図式的解明(下の一)……………梯 明 秀	2…	89(373)—131(415)
中央銀行にかんする一考察……………小 牧 聖 徳	3…	1(483)—33(515)
低発展国開発論をめぐる原理的一問題……………浜 崎 正 規	3…	34(516)—58(540)
——P. T. バウアー氏のミュルダール批判——		
経営者の社会的責任……………祭 原 光 太 郎	3…	59(541)—74(556)
Dixon-Yates 契約について……………辻 和 夫	3…	75(557)—105(587)
——国家と独占資本との合体の一例証——		
大和における国訴……………奥 田 修 三	4…	1(623)—43(665)
——近世大和の農業構造との関連において——		
J. S. ミルの財政論……………齊 藤 博	4…	44(666)—83(705)
経営統計の基本問題にかんする一試論……………坂 寄 俊 雄	4…	84(706)—98(720)
経済哲学のための一般的序説……………梯 明 秀	5・6…	1(765)—17(781)
「土地報酬」にかんする基本的考察……………松 野 昭 二	5・6…	18(782)—45(809)
——中国農業の集団化・農業生産協同組合における特徴の解明のために——		
第二市場論(-)……………住ノ江佐一郎	5・6…	46(810)—59(823)
損益分岐図表に関する一考察……………寺 島 平	5・6…	60(824)—82(846)
——その信頼性と有用性について——		
研 究		
経営学における制度論的思考……………植 村 省 三	2…	132(416)—171(455)
割賦販売会計における総利益の算出方法……………桑 原 幹 夫	4…	99(721)—133(755)

フランス・ケネーにおける財政思想……………	箕浦格良	5・6… 83(847)—110(874)
アメリカにおける割賦販売の営業諸費用および 貸倒金の会計処理について……………	桑原幹夫	5・6…111(875)—142(906)
欧州経済共同体の性格……………	清水貞俊	5・6…143(907)—167(931)
——その「超国家的」性格をめぐって——		
『資本論』の学問的体系と『帝国主義論』……………	本岡昭良	5・6…168(932)—187(951)
資 料		
割賦販売の契約不履行および取戻し商品の 会計処理……………	桑原幹夫	3…106(588)—126(608)
——とくに H. A. Finney の所説について——		
紹 介		
W. エンゲルス『ライン州における償却と 共有地分割』……………	川本和良	2…172(456)—198(482)
英国で入手した一地図帳に就いて……………	淡川康一	3…127(609)—140(622)
本多直重氏「日本銀行の機能と政策」……………	武藤守一	4…134(756)—142(764)

立命館経済学 第9巻総目次 (1960年度)

論 説	号	ページ(通巻)
超過利潤と差額地代……………白 杉 庄 一 郎	1 …	1 (1) — 40 (40)
——向坂説の検討——		
証券の上場について……………住ノ江 佐 一 郎	1 …	41 (41) — 59 (59)
世界市場と世界経済体制……………小 椋 広 勝	2 …	1 (153) — 38 (190)
幕末・明治維新における郷士の政治的運動の展開……………岡 本 幸 雄	2 …	39 (191) — 63 (215)
——旗本領丹波馬路両苗郷士について——		
証券分析の証券投資理論における地位……………住ノ江 佐 一 郎	2 …	64 (216) — 76 (228)
減価償却における更新機会……………服 部 俊 治	2 …	77 (229) — 99 (251)
——George Terborgh 氏の減価償却研究(二)——		
マネジメント小論(一)……………祭 原 光 太 郎	3 …	1 (293) — 31 (323)
官房学派に於ける財政思想……………箕 浦 格 良	3 …	32 (324) — 80 (372)
第二市場論(二)……………住ノ江 佐 一 郎	3 …	81 (373) — 101 (393)
経済地理学的に見た政治圏と経済圏……………淡 川 康 一	4 …	1 (485) — 38 (522)
資本蓄積の租税構造論……………加 藤 睦 夫	4 …	39 (523) — 62 (546)
——シャープ勧告の評価によせて——		
商法計算規定改正要綱法務省民事局試案について……………河 合 信 雄	4 …	63 (547) — 105 (589)
マネジメント小論(二)……………祭 原 光 太 郎	4 …	106 (590) — 142 (626)
差額地代にかんする剰生産物説……………白 杉 庄 一 郎	5 …	1 (639) — 43 (681)
——櫛田説批判——		
価値尺度機能と価格の度量基準機能……………小 牧 聖 徳	5 …	44 (682) — 70 (708)
——天沼説への私見——		
賃労働者の範疇的把握(上)……………梯 明 秀	6 …	1 (791) — 55 (845)
——マルクスの「商品人間の自己意識」の分析に限定して——		
戦後日本の農業制度の破綻……………井 上 晴 丸	6 …	56 (846) — 74 (864)
古典学派に於ける財政思想(一)……………箕 浦 格 良	6 …	75 (865) — 116 (906)
——A. スミスと J. S. ミルの租税原則論の展開——		
丹後機業地における労使関係について……………足 立 政 男	6 …	117 (907) — 151 (941)
研 究		
〈疎外された労働〉の概念(一)……………細 見 英	1 …	60 (60) — 108 (108)
〈疎外された労働〉の概念(二)……………細 見 英	2 …	100 (252) — 140 (292)
株式会社支配論の新しい傾向……………植 村 省 三	3 …	102 (394) — 143 (435)
——A. A. バーリの所説をめぐって——		
国有企業価格政策論争について……………辻 和 夫	5 …	71 (709) — 112 (750)

十八世紀におけるライン繊維工業の展開と

「営業の自由」の前提条件(-)……………川 本 和 良 5… 113(751)—151(789)

十八世紀におけるライン繊維工業の展開と

「営業の自由」の前提条件(二)……………川 本 和 良 6… 152(942)—193(983)

資 料

和歌山県地租改正反対一揆……………後 藤 靖 1… 109(109)—152(152)

宮津藩の丹後縮緬機業政策について(-)……………足 立 政 男 3… 144(436)—192(484)

宮津藩の丹後縮緬機業政策について(二)……………足 立 政 男 4… 143(627)—153(637)

立命館経済学 第10巻総目次 (1961年度)

論 説	号	ページ(通巻)
労務管理の対象……………坂 寄 俊 雄	1…	1(1)—21(21)
賃労働者の範疇的把握(中)……………梯 明 秀	1…	22(22)—84(84)
——マルクスの「商品人間の自己意識」の分析に限定して——		
士族反乱の構造的特徴について……………後 藤 靖	1…	85(85)—130(130)
賃労働者の範疇的把握(下)……………梯 明 秀	2…	1(157)—64(220)
士族反乱の構造的特徴について(二)……………後 藤 靖	2…	65(221)—84(240)
ザクセン州における農業労働力の存在形態(一)……………大 藪 輝 雄	2…	85(241)—111(267)
地方証券取引所の諸問題……………住ノ江 佐一郎	2…	112(268)—140(296)
都府経済の段階と現今の広域経済圏の問題……………淡 川 康 一	3…	1(327)—23(349)
大学と労働者教育……………平 田 隆 夫	3…	24(350)—50(376)
日本海運における独占形態……………岡 庭 博	3…	51(377)—74(400)
ヒルファーディングにおける株価分析……………住ノ江 佐一郎	3…	75(401)—93(419)
経営分析の新しい概念……………田 中 米 一	3…	94(420)—119(445)
わが国最低賃金法について……………坂 寄 俊 雄	3…	120(446)—137(463)
一八世紀イギリスの貿易構造……………角 山 栄	3…	138(464)—168(494)
社会統計における統計的規則性の意義と限界……………関 弥 三 郎	3…	169(495)—190(516)
農村人民公社の所有制と発展構造……………松 野 昭 二	3…	191(517)—232(558)
——「生産隊を基本とする三級所有制」——		
G. ミュルダールの価値判断論……………浜 崎 正 規	3…	233(559)—262(588)
銀行資本の本質とその現象……………小 牧 聖 徳	4…	1(593)—43(635)
アメリカ独占体の財務構造……………中 村 萬 次	4…	44(636)—79(671)
広い意味での経済学について……………木 原 正 雄	4…	80(672)—117(709)
——社会主義経済の生成と発展——		
マルクス主義経済哲学の成立の必然性……………梯 明 秀	5・6…	1(745)—33(777)
現代企業の構造と経営者の活動……………植 村 省 三	5・6…	34(778)—90(834)
——経営職能論序説——		
研 究		
資本予算と減価償却……………服 部 俊 治	1…	131(131)—156(156)
——投資利益率に及ぼす加速的減価償却の効果——		
地域産業連関表利用の一例……………岡 崎 不 二 男	2…	1(297)—30(326)
近世丹後縮緬機業における飛脚制度について……………足 立 政 男	5・6…	91(835)—118(862)
わが国における割賦販売会計の理論……………桑 原 幹 夫	5・6…	119(863)—157(901)
資 料		
J. ミル『政治経済学綱要』への批判的評注……………細 見 英	4…	118(710)—152(744)
——マルクスの最初の経済学研究より——		

立命館経済学 第11巻総目次 (1962年度)

論 説	号	ページ(通巻)
(遺稿) 差額地代=不当価値説……………白 杉 庄 一 郎	1・2…	1(1)— 57(57)
——山田説批判——		
経済学研究の出発点にある哲学的課題……………梯 明 秀	1・2…	58(58)— 96(96)
——四四年『手稿』におけるマルクス自身の思弁哲学についての分析的吟味として——		
いわゆる使用価値の捨象にかんする一考察……………岡 崎 栄 松	1・2…	97(97)—132(132)
——故白杉教授『価値の理論』によせて——		
白杉独占理論の構造……………平 瀬 巳 之 吉	1・2…	133(133)—156(156)
——特別剰余価値は独占利潤の源泉でありうるか——		
『その意欲だにあらばオーストリアは万国を凌がん』…出 口 勇 蔵	1・2…	157(157)—185(185)
——ヘルニク研究序説——		
ヘーゲル市民社会論とマルクス……………細 見 英	1・2…	186(186)—214(214)
アイルランド羊毛工業の抑圧……………角 山 栄	1・2…	215(215)—254(254)
——イギリス重商主義論——		
生産関係の国家的形態としての国家独占資本主義に ついて……………井 汲 卓 一	1・2…	255(255)—278(278)
人口と就業状況……………坂 寄 俊 雄	1・2…	279(279)—302(302)
——国勢調査結果による——		
経済と政治における自由の展生(一)……………高 橋 良 三	3…	1(310)— 11(320)
——その史的概観——		
経済学研究の出発点にある哲学的課題(承前)……………梯 明 秀	3…	12(321)— 48(357)
——四四年『手稿』におけるマルクス自身の思弁哲学についての分析的吟味として——		
戦後財政整理の性格……………加 藤 睦 夫	3…	49(358)— 64(373)
イギリスにおける経済学史研究の現状一斑(一)……………松 田 弘 三	3…	65(374)—104(413)
——ケムブリッジ大学におけるその近況を中心として——		
不換銀行券の本質……………小 牧 聖 徳	4…	1(443)— 15(457)
石炭危機の本質と石炭調査団の限界……………戸 木 田 嘉 久	4…	16(458)— 52(494)
中国国民経済の発展過程(一)……………松 野 昭 二	4…	53(495)— 93(535)
——工・農業関係の発展を中心として——		
イギリスにおける経済学史研究の現状一斑(二)……………松 田 弘 三	4…	94(536)—123(565)
——ケムブリッジ大学におけるその近況を中心として——		
古典学派の二つの貿易理論……………井 上 次 郎	5・6…	1(586)— 14(599)
「労働の疎外」と「労働力の商品化」……………清 水 正 徳	5・6…	15(600)— 65(650)
——梯明秀教授の所説によせて——		

いわゆる「平均化原理」と「限界原理」……………	井上晴丸	5・6… 66(651)—92(677)
——白杉理論への疑問——		
「経済学方法論」と統計方法……………	大橋隆憲	5・6… 93(678)—127(712)
「梯経済哲学」を生かすもの……………	平井俊彦	5・6…128(713)—150(735)
白杉価値論にかんする若干の考察……………	岡崎栄松	5・6…151(736)—169(754)
——いわゆる「効用測定の原理」を中心として——		
宇野氏「経済法則」論批判……………	吉村達次	5・6…170(755)—187(772)
独占的剰余価値と価値・価格理論……………	松田弘三	5・6…188(773)—215(800)
——平瀬教授の白杉独占理論批判の検討——		
財政制度論の一視点……………	加藤睦夫	5・6…216(801)—229(814)
——戦後初期における制度改革を中心として——		
EEC 内部の国際分業法則について……………	清水貞俊	5・6…230(815)—243(828)
——合意的分業の原理によせて——		
研 究		
わが国における割賦販売会計の理論(続)……………	桑原幹夫	3…105(414)—133(442)
地域開発と欧州投資銀行……………	清水貞俊	4…124(566)—143(585)

立命館経済学 第12巻総目次 (1963年度)

論 説	号	ページ(通巻)
計量経済学モデルによる戦後景気循環の構造分析(一)……岡崎不二男 ——制約された循環か自由な循環か——	1…	1(1)—42(42)
経済と政治における自由の展生(二)……………高橋良三 ——その史的概観——	1…	43(43)—55(55)
広い意味での経済学について(承前)……………木原正雄 ——「社会主義経済学」の生成と発展——	1…	56(56)—94(94)
中国国民経済の発展過程(二)……………松野昭二 ——工・農業関係の発展を中心として——	1…	95(95)—132(132)
A. スミス, D. リカアドオ, J. S. ミルにおける 租税理論の展開……………箕浦格良 ——古典学派における財政思想(二)——	2…	1(133)—29(161)
戦後地方経費の展開過程……………加藤睦夫 18世紀後半および19世紀前半におけるライン・ ヴェストファーレン鉄加工業の発展と市場構造……………川本和良	2…	30(162)—51(183) 52(184)—117(249)
社会統計における母集団の意義……………関弥三郎	3…	1(251)—20(270)
A. スミス, D. リカアドオ, J. S. ミルにおける 租税転嫁論の展開……………箕浦格良 ——古典学派における財政思想(三)——	3…	21(271)—55(305)
計量経済学モデルによる戦後景気循環の構造分析(二)……岡崎不二男 ——制約された循環か自由な循環か——	3…	56(306)—111(361)
経済における国家の問題(一)……………高橋良三	4…	1(363)—12(374)
金融資本にかんする一考察……………小牧聖徳	4…	13(375)—25(387)
A. スミス, D. リカアドオ, J. S. ミルにおける 租税転嫁論の考察……………箕浦格良 ——古典学派における財政思想(四)——	4…	26(388)—55(417)
広い意味での経済学について(承前)……………木原正雄 ——「社会主義経済学」の生成と発展——	4…	56(418)—92(454)
リカアドオと農業……………井上次郎	5・6…	1(481)—24(504)
西独の労働者教育……………平田隆夫	5・6…	25(505)—49(529)
経済学における分析モデル……………今川正	5・6…	50(530)—86(566)
『資本論』における科学と哲学……………清水正徳 ——梯明秀教授の所説によせて——	5・6…	87(567)—103(583)

現段階における農民層分解の特質……………大藪輝雄	5・6…104(584)—143(623)
独占資本主義のもとでの経済成長の限界……………白杉庄一郎	5・6…144(624)—179(659)
（遺稿「剰余価値の理論」の中の一節）	

資料

董輔弼「マルクス再生産表式の具体化についての 試論」……………松野昭二	4…93(455)—117(479)
——社会的生産物の生産と使用の統一的な角度から——	

立命館経済学 第13巻総目次 (1964年度)

	号	ページ(通巻)
論 説		
自然成長率にかんする覚え書……………	建 林 正 喜	1・2… 1(1)— 19(19)
協同組合とマルクス主義……………	井 上 晴 丸	1・2… 20(20)— 44(44)
——協同組合発展の歴史的弁証法——		
経済における国家の問題(二)……………	高 橋 良 三	1・2… 45(45)— 53(53)
発展戦略の再検討……………	浜 崎 正 規	1・2… 54(54)— 81(81)
——低開発国の発展拠点の問題——		
《広義の経済学》否定論の系譜……………	芦 田 文 夫	1・2… 82(82)—110(110)
——ブハーリン・宇野教授の所説をめぐって——		
広い意味での経済学について(承前)……………	木 原 正 雄	1・2…111(111)—152(152)
——社会主義経済学の生成と発展——		
最近の資本蓄積と低賃金構造(上)……………	戸 木 田 嘉 久	3… 1(177)— 28(204)
現代資本主義と利潤率傾向的低落の法則……………	手 島 正 毅	3… 29(205)— 89(265)
——独占と技術革新——		
金融資本の検討(上)……………	小 牧 聖 徳	4… 1(307)— 14(320)
地租改正反対一揆について……………	後 藤 靖	4… 15(321)— 67(373)
最近の資本蓄積と低賃金構造(下)……………	戸 木 田 嘉 久	4… 67(374)— 88(394)
池田経済成長政策の矛盾……………	武 藤 守 一	5… 1(431)— 36(466)
A. スミス, J. S. ミルにおける国家経費に関する		
理論の展開 I ……………	箕 浦 格 良	5… 37(467)— 54(484)
——古典学派における財政思想(五)——		
金融資本の検討(下)……………	小 牧 聖 徳	5… 55(485)— 68(498)
韓国の工業化過程……………	朴 守 鉉	5… 69(499)— 99(529)
——解放後の問題を中心にして——		
不安定性原理について……………	建 林 正 喜	6… 1(549)— 32(580)
「地域開発」論序説……………	浜 崎 正 規	6… 33(581)— 67(615)
——いわゆる「社会開発」問題との関連で——		
A. スミス, J. S. ミルにおける国家経費に関する		
理論の展開 II ……………	箕 浦 格 良	6… 68(616)— 85(633)
——古典学派における財政思想(六)——		
資 料		
董輔弼「ことなる拡大再生産の途の下での		
社会主義的再生産の比例関係について」……………	松 野 昭 二	3… 90(266)—114(290)
——マルクス再生産表式的具体化についての再論——		

マックス・ウェーバー『東エルベ農業労働者の状態に おける発展諸傾向』(一).....	大 藪 輝 雄 吉 矢 友 彦	4... 89(395)—108(414)
マックス・ウェーバー『東エルベ農業労働者の状態に おける発展諸傾向』(二).....	大 藪 輝 雄 吉 矢 友 彦	5...100(530)—117(547)
管大同『中国における資本主義商工業の 社会主義改造』.....	武 藤 守 一	6... 86(634)—119(667)
——第八章「マルクス・レーニン主義の普遍的真理と中国革命の具体的実践との結合の勝利」——		
書 評		
足立政男著『丹後機業史』.....	堀 江 保 蔵	1・2...153(153)—159(159)
杉原四郎著『マルクス学の形成』.....	細 見 英	1・2...160(160)—176(176)
建林正喜著『外国貿易と産業循環』.....	杉 本 昭 七	3...115(291)—130(306)
浜崎正規著『近代経済学の方法と理論』.....	岡 崎 不 二 男	4...109(415)—113(419)
有田正三著『社会統計学研究』.....	関 弥 三 郎	4...114(420)—124(430)
梯 明秀著『経済哲学原理』.....	山 中 隆 次	6...120(668)—130(678)

立命館経済学 第14巻総目次（1965年度）

	号	ページ(通巻)
論 説		
民権運動研究の課題と方法……………後藤 靖	1 … 1 (1) —	35 (35)
A. スミス, J. S. ミルにおける国家経費に関する		
理論の展開 III ……………箕浦 格 良	1 … 36 (36) —	69 (69)
——古典学派における財政思想(七)——		
社会主義経済学の生成と発展(承前)……………木原 正 雄	1 … 70 (70) —	104 (104)
国家独占資本主義の研究手法……………手島 正 毅	2 … 1 (151) —	40 (190)
県外からの勤労所得による県民所得統計の補正……………関 弥 三 郎	2 … 41 (191) —	64 (214)
敗戦直後における通貨金融政策の独占資本的性格……………武藤 守 一	3 … 1 (269) —	59 (327)
A. スミス, D. リカアドオ, J. S. ミルにおける		
公債に関する理論の展開 I ……………箕浦 格 良	3 … 60 (328) —	86 (354)
不均等発展と不均衡発展(その1)……………建林 正 喜	4 … 1 (393) —	29 (421)
近世京都商人の別家制度(I)……………足立 政 男	4 … 30 (422) —	91 (483)
シュンペーターの景気循環理論……………小野 進	4 … 92 (484) —	129 (521)
——その批判的考察——		
北九州市における市税構造と諸階級……………加藤 睦 夫	5 … 1 (555) —	34 (588)
現段階の資金政策……………小牧 聖 徳	5 … 35 (589) —	56 (610)
——国家独占資本主義法則の貫徹——		
近世京都商人の別家制度(II)……………足立 政 男	5 … 57 (611) —	105 (659)
経済学の若干の基本問題……………相澤 秀 一	6 … 1 (699) —	25 (723)
EEC における資本移動自由化並びに企業提携と		
それに附随する諸問題……………清水 貞 俊	6 … 26 (724) —	60 (760)
不均等発展と不均衡発展(その2)……………建林 正 喜	6 … 61 (761) —	102 (800)
紹 介		
ツァゴロフ編『政治経済学教程, 第二巻, 社会主義』		
とソ連邦における社会主義政治経済学の体系をめぐ		
る論争……………小野 一 郎	2 … 65 (215) —	94 (244)
資 料		
イタリア経済の動向……………足立 政 男	1 … 105 (105) —	130 (130)
キム・スンジュン『南朝鮮における農地改革』……………	3 … 87 (355) —	119 (387)
董輔弼「生産物の分配・使用と二部門比例		
との関係」……………松野 昭 二	4 … 130 (522) —	153 (545)
——マルクス再生産表式の具体化についての検討(第三部)——		

キム・クワンスン「マルクスの『アジア的土地所有 形態』と『封建的土地国有制』に関する諸問題」……………	5 ……	106 (660) — 124 (678)
海外留学記		
ミラノからスイスへの旅……………	足 立 政 男	6 …… 103 (801) — 120 (818)
書 評		
関弥三郎著『社会統計学』……………	有 田 正 三	1 …… 131 (131) — 140 (140)
梅津和郎著『現代国際経済理論』……………	建 林 正 喜	2 …… 95 (245) — 108 (258)
学界動向		
金融学会昭和四十年春季大会……………	小 牧 聖 徳	1 …… 141 (141) — 142 (142)
経済理論学会第十二回大会……………	芦 田 文 夫	1 …… 142 (142) — 146 (146)
一九六五年度歴史学研究会大会……………	後 藤 靖	2 …… 109 (259) — 113 (263)
日本経済政策学会第二十二回大会……………	浜 崎 正 規	2 …… 114 (264) — 115 (265)
経済統計研究会第九回全国総会……………	関 弥 三 郎	3 …… 120 (388) — 122 (390)
日本財政学会第二十二回大会……………	箕 浦 格 良	4 …… 154 (546) — 154 (546)
土地制度史学会一九六五年度秋期学術大会……………	大 藪 輝 雄	5 …… 125 (679) — 130 (684)
共同研究室		
第一回研究会		
「欧州留学見聞記」……………	足 立 政 男	1 …… 147 (147) — 147 (147)
第二回研究会		
「『三月革命』期における階級構造」……………	川 本 和 良	1 …… 147 (147) — 150 (150)
学界動向「歴史学の課題」……………	後 藤 靖	1 …… 150 (150) — 150 (150)
第三回研究会		
「近代統計学と経済学」……………	関 弥 三 郎	2 …… 116 (266) — 117 (267)
学界動向「大島雄一著『価格と資本の理論』を めぐって」……………	岡 崎 栄 松	2 …… 117 (267) — 117 (267)
第四回研究会		
「ソ連邦の経済建設路線と利潤論争」……………	小 野 一 郎	3 …… 122 (390) — 124 (392)
第五回研究会		
「外国語教育をとおしてみた一般教育」……………	薬 師 川 虹 一	3 …… 124 (392) — 124 (392)
第六回研究会		
「欧州農業基金と EEC の危機」……………	清 水 貞 俊	4 …… 155 (547) — 156 (548)
第七回研究会		
「教学改善の問題について」……………	加 藤 睦 夫	4 …… 155 (548) — 155 (548)
第八回研究会		
「不均等発展と不均衡発展」……………	建 林 正 喜	4 …… 155 (548) — 162 (554)
第九回研究会		
「日本帝国主義の朝鮮支配」……………	後 藤 靖	5 …… 131 (685) — 138 (692)

経済・経営学会特別研究会

「戦後経済循環の性格」……………山田盛太郎 5…138(692)―138(692)

第十回研究会

「私の研究遍歴」……………相澤秀一 5…138(692)―138(692)

第十一回研究会

「社会主義社会の性格と『商品』範疇論」……………芦田文夫 5…139(693)―144(698)

第十二回研究会

「『資本論』の方法論的体系」……………梯明秀 6…121(819)―141(839)

第十三回研究会

「近世京都商人の別家制度」……………足立政男 6…141(839)―141(839)

第十四回研究会

「金光淳氏のアジア的生産様式論をめぐって」……………手島正毅 6…141(839)―141(839)

立命館経済学 第15巻総目次 (1966年度)

論 説	号	ページ(通巻)
利潤率低下の阻止要因としての独占の意義と限界……手 島 正 毅	1…	1(1)— 33(33)
EECの共通エネルギー政策 ……………清 水 貞 俊	1…	34(34)— 48(48)
A. スミス, D. リカアドオ, J. S. ミルにおける		
公債に関する理論の展開 II ……………箕 浦 格 良	1…	49(49)— 68(68)
——古典学派における財政思想(9)——		
「産業革命」以前における石炭鉱業の形成 ……………戸 木 田 嘉 久	2…	1(183)— 58(240)
近世における京都室町商人の系譜(1)……………足 立 政 男	2…	59(241)—103(285)
A. スミス, D. リカアドウ, J. S. ミルにおける		
公債に関する理論の展開 III ……………箕 浦 格 良	2…	104(286)—138(320)
——古典学派における財政思想(10)——		
日本資本主義の各発展段階における		
インフレーションの諸形態と諸特徴……………武 藤 守 一	3…	1(359)— 46(404)
近世における京都室町商人の系譜(2)……………足 立 政 男	3…	47(405)— 96(454)
A. スミス, D. リカアドオ, J. S. ミルにおける		
租税理論の展開 II ……………箕 浦 格 良	3…	97(455)—116(474)
——古典学派における財政思想(11)——		
国家独占資本主義論についての覚え書……………井 上 晴 丸	3…	117(475)—134(492)
エネルギー問題の所在……………有 沢 広 已	4…	1(505)— 21(525)
スウェーデンにおける「ケインズ革命」論考……………浜 崎 正 規	4…	22(526)— 50(554)
A. スミス, D. リカアドオ, J. S. ミルにおける		
租税理論の展開 III ……………箕 浦 格 良	4…	51(555)— 66(570)
——古典学派における財政思想(12)——		
法人課税の発展史的考察(上)……………加 藤 睦 夫	5・6…	1(595)— 16(610)
資本自由化と中小企業……………武 藤 守 一	5・6…	17(611)— 43(637)
社会主義的分配関係の本質について(一)……………小 野 一 郎	5・6…	44(638)— 68(662)
A. スミス, D. リカアドオ, J. S. ミルにおける		
租税理論の展開 IV ……………箕 浦 格 良	5・6…	69(663)— 98(692)
——古典学派における財政思想(13)——		
資 料		
労働力不足と中小企業の実態(1)……………浜 崎 正 規	1…	69(69)—122(122)
——近畿地方のケース・スタディを中心として——		
労働力不足と中小企業の実態(2)……………浜 崎 正 規	2…	139(321)—163(345)
——近畿地方のケース・スタディを中心として——		

工業都市の市民所得……………	建 林 正 喜	5・6… 99(693)—127(721)
海外留学記		
ドイツの旅……………	足 立 政 男	1…123(123)—148(148)
ソヴェト旅行雑感……………	岡 崎 栄 松	4… 67(571)— 90(594)
書 評		
吉村達次著『経済学方法論』……………	相 沢 秀 一	3…135(493)—144(502)
学界動向		
経済学史学会関西西部会第四〇回研究会……………	細 見 英	1…149(149)—181(181)
第三十五回社会経済史学会全国大会……………	足 立 政 男	2…164(346)—170(351)
日本財政学会第二十三回大会……………	箕 浦 格 良	5・6…128(722)—135(729)
共同研究室		
第一回研究会		
「労働力不足と中小企業の実態」……………	浜 崎 正 規	1…181(181)—181(181)
第二回研究会		
「国家独占資本主義論について」……………	池 上 惇	2…171(353)—175(357)
第三回研究会「マルクス主義における		
〈思想と科学〉・〈論理と歴史〉」……………	細 見 英	3…145(503)—145(503)
第四回研究会		
「ロンドンでの留学生活」……………	岡 崎 栄 松	5・6…135(729)—137(731)
本年度会員業績……………		5・6…137(731)—138(732)

自由民権期の府県会闘争(-)……………後藤 靖 5・6…157(647)—212(702)

——参事院裁定書——

書評

内田義彦『資本論の世界』……………岡崎 栄松 1…102(102)—116(116)

今堀誠二著『毛沢東研究序説』……………松野 昭二 2…142(274)—155(287)

手島正毅教授著『日本国家独占資本主義論』……………豊崎 稔 3・4…181(477)—194(490)

後藤 靖著『土族反乱の研究』……………遠山 茂樹 5・6…213(701)—219(707)

学界動向

第十四回都市学会……………建林 正喜 1…117(117)—119(119)

第七回社会主義経済学会……………芦田 文夫 5・6…202(708)—224(712)

社会政策学会第三六回大会……………戸木 田嘉久 5・6…224(712)—227(715)

経済理論学会第一五回大会……………小野 進 5・6…228(716)—231(719)

経済学史学会第三一回大会……………細見 英 5・6…231(719)—232(720)

共同研究室

昭和四一年度第六回研究会

「計画化方法論の最近の動向」……………芦田 文夫 1…119(119)—125(125)

昭和四一年度第七回研究会

「マルクスとヘーゲル」……………細見 英 1…125(125)—128(128)

昭和四一年度第八回研究会

「ソ連邦における賃金改革と新報奨制度

——賃金格差と物質的関心を中心に——」……………小野 一郎 1…128(128)—132(132)

昭和四一年度第九回研究会

「物的関係の背後の人的関係における法のおよび

経済的な両規定の二重性について

——交換過程および労働市場に限定して——」……………梯 明秀 2…156(288)—156(288)

昭和四二年度第三回研究会

「戦後の所得分布の変動」……………関 弥三郎 2…156(288)—162(294)

昭和四二年度第五回研究会

「戦後西ドイツの農業と農政」……………大藪 輝雄 2…162(294)—163(295)

本年度会員業績…………… 5・6…233(721)—234(722)

立命館経済学 第17巻総目次 (1968年度)

論 説	号	ページ(通巻)
A. スミス, D. リカアドオ, J. S. ミルにおける		
租税理論の展開(VI)……………箕 浦 格 良	1…	1(1)— 28(28)
—古典学派における財政思想(15)—		
ルール石炭鉱業の展開とプロイセン鉱業法(二)……………川 本 和 良	2…	1(127)— 43(169)
マルクスの国家観と財政論……………大 谷 政 敬	3・4…	3(263)— 29(289)
産業資金と国家資金……………小 牧 聖 徳	3・4…	30(290)— 45(305)
A・デ・ヴィティ・デ・マルコの財政理論……………西 村 正 幸	3・4…	46(306)— 79(339)
—その公共財生産理論を中心として—		
近世京都商人邦波家の江戸店経営と		
その没落について……………足 立 政 男	3・4…	80(340)—120(380)
わが国の出生性比の上昇について……………関 弥 三 郎	3・4…	121(381)—152(412)
シュムペーターモデルの再検討(上)……………浜 崎 正 規	3・4…	153(413)—214(474)
—開発理論形成のための適応論争をめぐって—		
研 究		
近代経済学批判の目的と方法, そして近代経済学の		
性格規定についての若干の考察(その一)……………小 野 進	1…	29(29)— 50(50)
—関恒義著『現代資本主義と経済理論』の所説に関連して—		
独占と恐慌……………森 啓 子	1…	51(51)— 70(70)
—自己回復力の喪失について—		
近代経済学批判の目的と方法, そして近代経済学の		
性格規定についての若干の考察(その二)……………小 野 進	2…	44(170)— 75(201)
—関恒義著『現代資本主義と経済理論』の所説に関連して—		
資 料		
中国における国家資本主義・賃金制度にかんする		
諸問題……………手 島 正 毅	1…	71(71)— 90(90)
—往復書簡の抜粋—		
自由民権期の府県会闘争……………後 藤 靖	1…	91(91)—117(117)
—参事院法制局裁定書—		
調整期における国民経済と対外貿易……………松 野 昭 二	2…	76(202)—102(228)
ヴェ・エス・ネムチーフ社会的分業の静学モデル…小 野 一 郎	2…	103(239)—141(267)
共同研究室		
第一回研究会		
「中国の調整期の経済と対外貿易」……………松 野 昭 二	2…	141(267)—141(267)
第二回研究会		
「社会主義所有論の諸問題」……………芦 田 文 夫	2…	141(267)—141(267)

立命館経済学 第18巻総目次（1969年度）

	号	ページ(通巻)
論 説		
河上・経済学の今日的意義……………相 澤 秀 一	1…	1(1)— 14(14)
ルール石炭鉱業の展開とプロイセン鉱業法(完)……………川 本 和 良	1…	15(15)— 62(62)
京都商人の商魂について(一)……………足 立 政 男	2・3…	1(121)— 31(151)
——京都の老舗における店則から——		
銀行資本における観念論批判……………小 牧 聖 徳	2・3…	32(152)— 58(178)
——研究方法との関連において——		
労働力政策に関する覚え書……………三 好 正 巳	2・3…	59(179)— 92(212)
京都商人の商魂について(二)……………足 立 政 男	4…	1(263)— 44(306)
——老舗の店則から見た——		
実現理論としての成長理論……………建 林 正 喜	5・6…	1(357)— 21(377)
高度経済成長過程における『自動安定装置』と 国家所有(素描)……………手 嶋 正 毅	5・6…	22(378)— 75(431)
比較生産費説の展開……………清 水 貞 俊	5・6…	76(432)—102(458)
戦時労働市場に関する研究……………三 好 正 巳	5・6…	103(459)—136(492)
研 究		
ジョン・ロックの経済理論とその体系性(上)……………稲 村 勲	4…	45(307)— 64(326)
ジョン・ロックの経済理論とその体系性(下)……………稲 村 勲	5・6…	137(493)—159(515)
研究ノート		
資本論における方法と世界観(上)……………梯 明 秀	1…	63(63)—113(113)
——その残された諸問題の一つについて——		
独占段階成立期の資本制的労働過程……………坂 本 和 一	2・3…	93(213)—141(261)
——鉄鋼業の場合——		
資本論における方法と世界観(中その一)……………梯 明 秀	4…	66(328)— 93(355)
——その残された諸問題の一つについて——		
県民所得統計の発展と県民所得標準方式……………後 藤 文 治	5・6…	160(516)—223(581)
資本論における方法と世界観(中その二)……………梯 明 秀	5・6…	228(584)—254(610)
——その残された諸問題の一つについて——		
共同研究室		
昭和四三年度第四回研究会		
「シュムペーター理論の再検討」……………浜 崎 正 規	1…	114(114)—114(114)
——低開発国に対する適応性をめぐる論争——		
昭和四三年度第五回研究会		
「資本による労働の実質的抱摺の深化」……………坂 本 和 一	1…	114(114)—114(114)
——自由競争段階から独占段階への展開について——		

昭和四三年度第六回研究会			
「戦時強制労働体系について」……………	三 好 正 巳	1…114(114)—114(114)	
——国家独占資本主義労働問題として——			
昭和四三年度第七回研究会			
「西ドイツの社会と農業」……………	大 藪 輝 雄	1…114(114)—114(114)	
——現地での見聞をもとにして——			
昭和四三年度第八回研究会			
「近代経済学批判の目的と方法について」……………	小 野 進	1…115(115)—115(115)	
昭和四三年度第九回研究会			
「経済学批判と疎外論」……………	細 見 英	1…115(115)—118(118)	
——マルクス研究の最近の動向にふれて——			
昭和四四年度第一回研究会			
「ルール石炭鉱業の展開とプロイセン鉱業法」……………	川 本 和 良	4… 94(356)— 94(356)	
昭和四四年度第二回研究会			
「J. ギルマンの『利潤率低落』について」……………	島 津 秀 典	4… 94(356)— 94(356)	
昭和四四年度第三回研究会			
「最近における国民所得統計の改訂と問題点に ついて」……………	後 藤 文 治	4… 94(356)— 94(356)	
昭和四四年度第四回研究会			
「社会主義のもとにおける労働組合の役割に ついて」……………	小 野 一 郎	4… 94(356)— 94(356)	
昭和四四年度第五回研究会			
「地方財政の最近の動向」……………	坂 野 光 俊	4… 94(356)— 94(356)	
昭和四四年度第六回研究会			
「京都商人の商法」……………	足 立 政 男	5・6…255(611)—255(611)	
——老舗の店則から——			
昭和四四年度第七回研究会			
「比較生産費説の展開」……………	清 水 貞 俊	5・6…255(611)—255(611)	
昭和四四年度第八回研究会			
「実現理論としての成長理論」……………	建 林 正 喜	5・6…255(611)—255(611)	
昭和四四年度第九回研究会			
「戦時労働市場について」……………	三 好 正 巳	5・6…255(611)—255(611)	
「立体幾何を平面的に考える」……………	荒 井 正 治	5・6…255(611)—255(611)	
本年度会員業績……………		5・6…255(611)—255(611)	

立命館経済学 第19巻総目次（1970年度）

	号	ページ(通巻)
論 説		
独占段階における独自の資本制的生産様式……………	坂 本 和 一 1…	1(1)—47(47)
日本における鉄道政策の展開……………	杉 野 圀 明 2…	1(125)—49(173)
——とくに第一次大戦後を中心として——		
『帝国主義論』の方法についての一考察……………	島 津 秀 典 2…	50(174)—81(205)
——『帝国主義論』における展開と分析——		
独占段階における独自の・資本制的生産様式と		
資本蓄積過程……………	坂 本 和 一 3…	1(263)—61(323)
経済地理学と世界経済……………	杉 野 圀 明 4…	3(419)—49(465)
独占段階における独自の・資本制的生産様式の形式…	坂 本 和 一 5…	3(637)—70(704)
——八幡製鉄所を事例とする具体的分析——		
マルクス主義経済学における数学利用……………	建 林 正 喜 6…	3(835)—28(860)
河上肇と古典派経済学……………	杉 原 四 郎 6…	29(861)—48(880)
アルチュセールのマルクス主義論……………	重 田 晃 一 6…	49(881)—76(908)
München市財政の現況と問題点……………	加 藤 睦 夫 6…	77(909)—113(945)
『帝国主義論』における現段階……………	島 津 秀 典 6…	114(946)—142(974)
研 究		
関西地方在住の炭鉱離職者の就労と生活状態に関する		
調査報告……………	戸 木 田 嘉 久 5…	71(705)—131(765)
	川 端 久 夫	
ウィリアム・ペティの経済理論(上)……………	稲 村 勲 6…	143(975)—173(1003)
研究ノート		
資本論における方法と世界観(中・その三)……………	梯 明 秀 1…	57(57)—85(85)
——その残された諸問題の一つについて——		
資本論における方法と世界観(中・その四)……………	梯 明 秀 2…	82(206)—100(224)
——その残された諸問題の一つについて——		
県民所得統計の発展と県民所得標準方式(続)……………	後 藤 文 治 4…	50(466)—108(524)
紹 介		
『経哲草稿』第一草稿の執筆順序……………	細 見 英 3…	62(324)—83(345)
資 料		
東ドイツにおける民主的土地改革と農業の		
社会主義化(-)……………	大 藪 輝 雄 1…	86(86)—121(121)
——シュトラスブルク郡の場合——		

東ドイツにおける民主的土地改革と農業の

社会主義化(二)……………大 藪 輝 雄 2…101(225)—136(260)
 ——シュトラスブルク郡の場合——

近代経済学における数学利用……………建 林 正 喜 3… 84(346)—123(385)
 ——その問題意識と利用方法 (The Review of Economics
 and Statistics, Nov. 1954 のシムポジウムを回顧して) ——

社会主義のもとでの「使用価値と価値」(一)……………芦 田 文 夫 4…109(525)—135(551)
 社会主義のもとでの「使用価値と価値」(二)……………芦 田 文 夫 6…174(1006)—204(1036)

書 評

加藤佑治著『日本帝国主義下の労働政策

——全般的労働義務制の史的究明——』……………三 好 正 巳 3…124(386)—153(415)

学界動向

ヘーゲル・コンGRES報告……………中 埜 肇 4…136(552)—145(561)

故手嶋正毅教授を追悼して

手嶋教授の人柄と学問……………後 藤 靖 4…147(563)—158(574)

手嶋教授の国家独占資本主義論……………池 上 惇 4…159(575)—185(601)

遺 稿……………手 嶋 正 毅 4…186(602)—210(626)

略歴・著作目録……………4…211(627)—217(633)

故武藤守一教授を追悼して

追悼のこぼし……………末 川 博 5…133(767)—137(771)

追 稿……………武 藤 守 一 5…138(772)—168(802)

武藤守一先生を偲んで……………清 水 貞 俊 5…169(803)—175(809)

武藤君との同僚としての交わりにおける

その二齣, 三齣……………梯 明 秀 5…176(810)—192(826)

略歴・著作目録……………5…193(827)—197(831)

相澤秀一教授退任記念号

私の履歴書……………相 澤 秀 一 6…205(1035)—207(1039)

略歴・著作目録……………6…208(1040)—212(1044)

共同研究室

昭和四五年度第一回研究会

「家計調査の代表性について」……………関 弥 三 郎 1…122(122)—124(124)

昭和四五年度第二回研究会

「第一次大戦後における日本の鉄道政策」……………杉 野 囿 明 2…137(261)—137(261)

昭和四五年度第三回研究会

「銀行資本における歴史と論理」……………小 牧 聖 徳 6 …… 213 (1045)

昭和四五年度第四回研究会

「帝国主義論」の方法……………島 津 秀 典 6 …… 213 (1045)

昭和四五年度第五回研究会

「労働組合運動の右翼的「統一」をめぐる

諸問題」……………戸木田嘉久 6 … 213 (1045)

昭和四五年度第六回研究会

「独占段階における独自の・資本制的生産様式」……………坂本和一 6 … 213 (1045)

昭和四五年度第七回研究会

「ヘーゲル・コンGRESの報告」……………中 埜 肇 6 … 213 (1045)

昭和四五年度第八回研究会

「最近の私学財政の問題点」……………坂野光俊 6 … 213 (1045)

昭和四五年度第九回研究会

「ドイツの都市財政の現状」……………加藤睦夫 6 … 213 (1045)

昭和四五年度第十回研究会

「ベティ経済理論の構造とその性格」……………稲村 勲 6 … 213 (1045)

本年度会員業績…………… 6 … 214 (1046)

立命館経済学 第20巻総目次 (1971年度)

論 説	号	ページ(通巻)
(統)戦時労働市場に関する研究……………三 好 正 巳	1…	1(1)— 66(66)
——「農工調整」問題を中心として——		
独占段階における独自の・資本制的生産様式の 形成(統)……………坂 本 和 一	1…	67(67)—138(138)
——八幡製鉄所を事例とする具体的分析(二)——		
独占利潤論の論理構成……………坂 本 和 一	2…	1(175)— 71(245)
——『資本論』の論理規定具体化の一つの試み——		
搾取論・剰余価値論の論理……………甲 賀 光 秀	2…	72(246)— 99(273)
国家・外国貿易と再生産……………建 林 正 喜	3…	1(317)— 31(347)
——国家独占資本主義分析のための準備ノート——		
経済地理学方法論における「経済地域」について……杉 野 圀 明	3…	32(348)— 89(405)
独占段階における独自の・資本制的生産様式の 形成(統)……………坂 本 和 一	3…	90(406)—169(485)
——八幡製鉄所を事例とする具体的分析(三)——		
独占利潤の法則と世界市場恐慌……………建 林 正 喜	4…	1(495)— 38(532)
独占段階における独自の・資本制的生産様式の 形成(統)……………坂 本 和 一	4…	39(533)— 95(589)
——八幡製鉄所を事例とする具体的分析(四)——		
戦時賃銀統制に関する研究(その一)……………三 好 正 巳	5・6…	1(623)— 40(662)
——国家独占資本主義賃銀統制の必然性について——		
現代巨大企業における社会的労働過程の プロセス構造……………坂 本 和 一	5・6…	41(663)—105(727)
研 究		
ウィリアム・ベティの経済理論(中)……………稲 村 勲	2…	100(274)—139(313)
——市民革命経済理論の形成——		
関西地方在住の炭鉱離職者の就労と生活状態に関する 調査報告(統)……………戸 木 田 嘉 久 川 端 久 夫	5・6…	106(728)—155(777)
研究ノート		
県民所得統計の発展と県民所得標準方式(統)……………後 藤 文 治	4…	96(590)—121(615)
資 料		
独占資本主義確立過程の工業構成(その一)……………伊 藤 武 夫	5・6…	156(778)—198(820)
——『工場統計表』からみた「大正期」民営工業の発達趨勢——		

翻 訳

エヌ・エス・シューホフ「社会主義経済の目的関数の

問題によせて——いくつかの歴史的的局面——」……………小 野 一 郎 1…139(139)—174(174)

書 評

中国官僚独占資本主義の本質問題について……………松 野 昭 二
芝 池 靖 夫 5・6…199(821)—220(842)

共同研究室

昭和四六年度第一回研究会

「(統)・戦時労働市場について」……………三 好 正 巳 2…139(313)—139(313)

昭和四六年度第二回研究会

「社会主義のもとでの「使用価値と価値」……………芦 田 文 夫 2…139(313)—139(313)

昭和四六年度第三回研究会

「ソ連邦における社会主義五〇年の実践と当面する

諸問題」……………小 檜 山 政 克 2…139(313)—141(315)

昭和四六年度第四回研究会

「分配論について」……………甲 賀 光 秀 2…141(315)—141(315)

昭和四六年度第五回研究会

「近代天皇制論」……………後 藤 靖 3…170(486)—177(493)

昭和四六年度第六回研究会

「社会主義経済と最適計画化」……………小 野 一 郎 4…122(616)—127(621)

昭和四六年度第七回研究会

「巨大結合資本について」……………小 牧 聖 徳 5・6…221(843)—224(846)

昭和四六年度第八回研究会

「いわゆる「限界革命」百年」……………浜 崎 正 規 5・6…224(846)—228(850)

昭和四六年度第九回研究会

「心身関係論」……………里 見 軍 之 5・6…228(850)—231(853)

昭和四六年度第一〇回研究会

「新版「ヘーゲル復興」の動向」……………細 見 英 5・6…231(853)—236(858)

昭和四六年度第一一回研究会

「二十世紀アメリカ文学素描」……………日 高 正 好 5・6…236(858)—237(859)

昭和四六年度第一二回研究会

「知性が抒情に流れる時」……………松 田 利 定 5・6…238(860)—239(861)

昭和四六年度第一三回研究会

「「財政硬直化」問題と日本資本主義」……………内 山 昭 5・6…239(861)—243(865)

昭和四六年度第一四回研究会

「恐慌論における固定資本の役割」……………田 中 宏 道 5・6…243(865)—248(870)

本年度会員業績……………5・6…248(870)—249(871)

立命館経済学 第21巻総目次 (1972年度)

	号	ページ(通巻)
論 説		
「均衡蓄積軌道」について……………	甲 賀 光 秀	1… 1(1)— 26(26)
経営者のあり方(一)……………	足 立 政 男	2… 1(125)— 24(148)
——老舗の家訓・店則から見た——		
現代貨幣資本の検討……………	小 牧 聖 徳	2… 25(149)— 56(180)
——国家独占資本主義の貨幣資本供給——		
失業意識調査と最近の就業希望者の特徴……………	関 弥 三 郎	3・4… 1(245)— 31(275)
戦時賃銀統制に関する研究(その二)……………	三 好 正 巳	3・4… 32(276)— 92(336)
——国家独占資本主義賃銀統制の内容——		
経営者の在り方(二)……………	足 立 政 男	5… 1(441)— 41(481)
——老舗の家訓・店則から見た——		
北九州における工業立地と土地利用問題……………	杉 野 圀 明	6… 1(581)—193(773)
研 究		
ウィリアム・ベティの経済理論(下の一)……………	稲 村 勲	1… 27(27)— 70(70)
——市民革命経済理論の形成——		
正規母集団であることの検定について……………	山 田 彌	2… 57(181)— 66(192)
ウィリアム・ベティの経済理論(完)……………	稲 村 勲	6…194(774)—217(797)
——市民革命経済理論の形成——		
研究ノート		
『資本論』における産業資本の直接的生産過程論……………	坂 本 和 一	3・4… 93(337)—145(389)
——『資本論』第一部, 第二, 三, 四篇の一解釈——		
計量経済学批判における若干の問題点……………	山 田 彌	5… 42(482)— 59(499)
資 料		
社会主義のもとでの「使用価値と価値」(三)……………	芦 田 文 夫	1… 71(71)— 95(95)
日本資本主義確立期の「会社」および 「役員名簿」(一)……………	後 藤 靖	5… 60(500)—123(563)
翻 訳		
ア・ゲ・グランベルグ「社会厚生目的関数と 実用国民経済モデルにおける最適性基準」(上)……………	小 野 一 郎	2… 69(193)— 97(221)
西ドイツ経済の軍事化……………	振 津 純 雄	3・4…146(390)—194(438)
書 評		
狭田喜義『職能給の理論と方法』……………	三 好 正 巳	1… 96(96)—124(124)

共同研究室

昭和四七年度第一回研究会

「恐慌論について」……………甲 賀 光 秀 2… 98(222)— 98(222)

昭和四七年度第二回研究会

「国家独占資本主義研究の新しい動向によせて」……………戸 木 田 嘉 久 2… 98(222)—114(238)

昭和四七年度第三回研究会

「訪米（Harvard 大学を中心とする）の問題意識」……………浜 崎 正 規 2…114(238)—114(238)

昭和四七年度第四回研究会

「マルクス価値論の成立過程」……………岡 崎 栄 松 3・4…195(439)—195(439)

昭和四七年度第五回研究会

「ドイツ産業資本成立過程の研究をめぐって」……………川 本 和 良 3・4…195(439)—196(440)

昭和四七年度第六回研究会

「社会主義的所有権と『民主主義』」……………芦 田 文 夫 3・4…196(440)—196(440)

昭和四七年度第七回研究会

「ヨーロッパ共同体の農業政策」……………清 水 貞 俊 5…124(564)—125(565)

昭和四七年度第八回研究会

「『諸形態』と本源的経営様式論」……………田 坂 敏 雄 5…125(565)—125(565)

「『資本蓄積の一環としての恐慌』」……………山 本 幹 夫 5…126(566)—126(566)

昭和四七年度第九回研究会

「貧困化論研究の一視点」……………伍 賀 一 道 5…126(566)—126(566)

「規模別賃金格差論の理論的考察」……………横 山 政 敏 5…126(566)—130(570)

昭和四七年度第十回研究会

「計量経済分析の基本的性格について」……………山 田 彌 5…130(570)—130(570)

昭和四七年度第一一回研究会

「ソビエトの諸研究所を廻って」……………芦 田 文 夫 6…217(797)—217(797)

昭和四七年度第一二回研究会

「現代巨大企業の独自の生産単位について」……………坂 本 和 一 6…217(797)—221(801)

国家独占資本主義研究会

…………… 5…130(570)—140(580)

本年度会員業績

…………… 6…221(801)—222(802)

立命館経済学 第22巻総目次(1973年度)

	号	ページ(通巻)
論 説		
株仲ケ間の一考察……………	足立政男	1… 1(1)—62(62)
——京都における老舗の経営から見た——		
インフレーション経済構造……………	小牧聖徳	1… 63(63)—86(86)
『総供給価格』考……………	建林正喜	2… 1(109)—17(125)
——E—K分析からD—Z分析へ——		
伝統こけしの経済的研究……………	杉野 罔明	2… 18(126)—107(215)
新古典派成長論の政策的含意……………	置塩 信雄	3・4… 3(275)—35(307)
二重経済の諸問題……………	北村 元一	3・4… 36(308)—51(323)
『資本論』と「競争」論……………	高木 幸二郎	3・4… 52(324)—72(344)
フィリップス曲線を含む不均衡動学モデル……………	安井 修二	3・4… 73(345)—92(365)
社会主義経済と最適経済機能システム論……………	小野 一郎	3・4… 93(366)—128(400)
——経済学方法論にかかわって——		
現代社会主義論の課題……………	三好 正巳	3・4… 129(401)—158(430)
資本価値の破壊に関する若干の問題……………	杉野 罔明	3・4… 159(431)—185(457)
現代巨大生産単位における労働者の存在構造……………	坂本 和一	3・4… 186(458)—223(495)
——現在日本の銑鋼一貫製鉄所の場合——		
平田清明氏の価値論……………	上野 俊樹	3・4… 224(496)—257(529)
現段階における農業危機……………	上原 信博	5・6… 3(559)—35(591)
帝国主義論と「二つの道」論……………	日南 田静真	5・6… 36(592)—76(632)
——スクヴォルツォーフ=スチェパーノフの場合——		
再生産論と地代論……………	保志 恂	5・6… 77(633)—109(665)
——農業危機把握と止揚の理論的—基準——		
労働貴族論にかんする若干の覚書……………	戸木 田嘉久	5・6… 110(666)—138(694)
戦後日本資本主義と林業・山村問題の展開構造……………	奥地 正	5・6… 139(695)—167(723)
研 究		
「虚偽の社会的価値」の理論的根拠……………	内山 昭	5・6… 168(724)—188(744)
——井上晴丸教授の所説にふれて——		
紹 介		
A. ライオンフート『ケインズ派経済学とケインズの経済学』(→)……………	小野 進	2… 108(216)—159(267)
——貨幣理論の研究——		
「現代自主管理論の動向——マンデルの自主管理論——」……………	津島 陽子	3・4… 258(530)—270(542)

翻 訳

ア・ゲ・グランベルグ「社会厚生目的関数と

实用国民経済モデルにおける最適性基準」(下)……小野一郎	1… 87(87)—108(108)
西ドイツ農業における国家独占資本主義……………振津純雄	5・6…189(745)—213(770)

建林正喜教授退任記念号

経済学研究四十年を回顧して……………建林正喜	3・4…271(543)—276(548)
略歴・著作目録……………	3・4…277(549)—282(554)

井上晴丸教授追悼号

晴丸さんの思い出……………建林正喜	5・6…229(785)—237(793)
井上晴丸先生の学問的業績……………大藪輝雄	5・6…238(794)—259(815)
略歴・著作目録……………	5・6… i(i)—xxiv(xxiv)

共同研究室

昭和四八年度第一回研究会

「ハーバード大学生生活のあれこれ」……………浜崎正規	2…159(267)—159(267)
----------------------------	---------------------

昭和四八年度第二回研究会

「マルクス『近代的独占』論の意義と限界」……………若林洋夫	2…159(267)—159(267)
-------------------------------	---------------------

昭和四八年度第三回研究会

「外国貿易論研究の一視角——経済学批判体系プラン 後半項目のまとめ——」……………岩田勝雄	2…159(267)—163(271)
--	---------------------

昭和四八年度第四回研究会

「従来の研究について 平田清明氏の価値論」……………上野俊樹	3・4…283(555)—283(555)
--------------------------------	-----------------------

昭和四八年度第五回研究会

「ヨーロッパ工業見聞記」……………川本和良	3・4…283(555)—283(555)
-----------------------	-----------------------

昭和四八年度第六回研究会

「日本林業の現局面について」……………奥地正	3・4…283(555)—283(555)
------------------------	-----------------------

昭和四八年度第七回研究会

「『虚偽の社会的価値』の理論的根拠」……………内山昭	5・6…214(771)—214(771)
----------------------------	-----------------------

昭和四八年度第八回研究会

「経済学研究四十年をふりかえって」……………建林正喜	5・6…214(771)—214(771)
----------------------------	-----------------------

昭和四八年度第九回研究会

「トポロジーとは」……………荒井正治	5・6…215(771)—221(777)
本年度会員業績……………	5・6…221(777)—223(779)

立命館経済学 第23巻総目次 (1974年度)

論 説	号	ページ(通巻)
乗数理論の「うそ」と「まこと」……………建 林 正 喜	1…	1(1)— 35(35)
現代巨大生産単位の生産方式……………坂 本 和 一	1…	36(36)—101(101)
——現代の大量生産方式について——		
現代自主管理論と民主主義の諸問題……………津 島 陽 子	1…	102(102)—126(126)
——バンカール民主主義論——		
現実資本と貨幣資本の現代的発現……………小 牧 聖 徳	2…	1(183)— 26(208)
——社会的動向と主体的発現——		
アジア的生産様式の基本的構造について……………杉 野 圀 明	2…	27(209)— 45(227)
『独占資本主義分析』試論……………甲 賀 光 秀	3…	1(303)— 36(338)
国有林における労働組織の形成と展開(一)……………奥 地 正	4…	1(447)— 44(490)
——東北・秋田国有林を中心に——		
現代巨大企業の生産機構……………坂 本 和 一	4…	45(491)— 96(542)
遠慮近憂の商法と用心の経営……………足 立 政 男	5・6…	1(783)— 27(809)
——近世における老舗の家訓から見た——		
国有林における労働組織の形成と展開(二)……………奥 地 正	5・6…	28(810)— 63(845)
——東北・秋田国有林を中心に——		
研 究		
タイ地主制下の米価問題……………田 坂 敏 雄	3…	37(339)— 69(371)
第二次大戦後の米国における産業循環の法則と 各局面の形態について……………田 中 宏 道	5・6…	64(846)—104(886)
コンビナート社外工労働者の集積基盤……………伍 賀 一 道	5・6…	105(887)—144(926)
——水島コンビナートの事例的研究——		
研究ノート		
県民所得統計の発展と県民所得標準方式(終)……………後 藤 文 治	4…	97(543)—118(564)
紹 介		
L・G・レイノルズ『経済学の三つの世界』……………小 野 進	1…	127(127)—181(181)
カール・B・ターナー 『ソヴェートにおけるケインズ批判の変遷』(一)……………小 野 進	2…	46(228)— 99(281)
A・ライオンフーフト 『ケインズ派経済学とケインズの経済学』(二)……………小 野 進	3…	70(372)—105(407)
——貨幣理論の研究——		
翻 訳		
パルヴス『世界市場と農業恐慌』(一)……………大 藪 輝 雄 鈴 木 敏 正	3…	106(408)—135(437)

パルヴス『世界市場と農業恐慌』（二）……………	大 藪 輝 雄 鈴 木 敏 正	4…119(565)—151(597)
国家独占資本主義におけるブルジョア経済学の機能…	振 津 純 雄	4…152(598)—204(650)
張 世英『ヘーゲルの論理学』（一）……………	小 野 進	5・6…145(927)—187(969)
書 評		
坂本和一著『現代巨大企業の生産過程』……………	若 林 洋 夫	2…100(282)—113(295)
共同研究室		
昭和四九年度第一回研究会		
「社会福祉と自治体財政」……………	坂 野 光 俊	2…113(295)—113(295)
昭和四九年度第二回研究会		
「バブーフと現代」……………	小 檜 山 政 克	2…113(295)—118(300)
昭和四九年度第三回研究会		
「戦後労働運動の時期区分について」……………	塩 田 庄 兵 衛	3…135(437)—138(440)
昭和四九年度第四回研究会		
「階級論ノート作成のための準備報告」……………	三 好 正 巳	3…138(440)—143(445)
昭和四九年度第五回研究会		
「初期エンゲルスの価値論および分配論について」…	岡 崎 栄 松	4…205(651)—207(653)
——【国民経済学批判大綱】（1844年）を中心として——		
昭和四九年度第六回研究会		
「現段階におけるソ連社会主義の生産力的基盤 および生産関係の発展水準について」……………	小 野 一 郎	4…207(653)—209(655)
——現発展段階の位置づけに関連して——		
昭和四九年度第七回研究会		
「タイにおける米価形成の特質」……………	田 坂 敏 雄	4…210(656)—210(656)
昭和四九年度第八回研究会		
「坂本和一著『現代巨大企業の生産過程』を めぐって」……………	坂 本 和 一	5・6…188(970)—188(970)
昭和四九年度第九回研究会		
「ソ連における日本研究の現状」……………	後 藤 靖	5・6…188(970)—188(970)
昭和四九年度第十回研究会		
「大不況期の過剰資本のあり方」……………	山 本 幹 夫	5・6…188(970)—188(970)
昭和四九年度第十一回研究会		
「コンビナート社外工労働者の集積基盤に関する 一考察」……………	伍 賀 一 道	5・6…188(970)—188(970)
昭和四九年度第十二回研究会		
「第二次大戦後のアメリカの産業循環と形態」……	田 中 宏 道	5・6…188(970)—188(970)
昭和四九年度第十三回研究会		
「近代経済学における最近の Marx 批判を めぐって」……………	甲 賀 光 秀	5・6…188(970)—198(980)
本年度会員業績……………		5・6…198(980)—200(982)

立命館経済学 第24巻総目次(1975年度)

論 説	号	ページ(通巻)
実体分布と度数分布……………関 弥 三 郎	1…	1(1)—31(31)
P. A. Samuelson らの Marx 批判について……………甲 賀 光 秀	1…	32(32)—118(118)
無理をしない商法と経営……………足 立 政 男	2…	1(187)—42(228)
——近世における京都の老舗の家訓・店則から見て——		
社会主義社会の過渡期的性格……………小 野 進	2…	43(229)—92(278)
——毛沢東の社会主義政治経済学への画期的な貢献——		
巨大企業分析と「生産の集積」概念の展開……………坂 本 和 一	3…	1(367)—34(400)
欧州共同体の地域経済問題……………清 水 貞 俊	4…	1(489)—42(530)
寡占的諸行動とマクロ的影響について……………北 野 正 一	4…	43(531)—74(562)
——寡占価格論への一接近——		
結合生産・価値・剰余価値……………甲 賀 光 秀	5・6…	1(653)—45(697)
——Marx 剰余価値論への新しいタイプの批判について——		
産業資本主義段階における近代的独占の存在形態(-)…若 林 洋 夫	5・6…	46(698)—108(760)
——北東イングランド石炭独占の歴史的な性格——		
研 究		
19世紀末「大不況期」の過剰資本と生産の集積……………山 本 幹 夫	3…	35(401)—66(432)
——ドイツ石炭・鉄鋼業を事例として——		
重化学工業資本の強蓄積と租税政策……………藤 岡 純 一	3…	67(433)—91(457)
戦後における企業内教育の展開……………三 富 紀 敬	5・6…	109(761)—162(814)
1920年代造船業における資本制的労働過程……………清 水 憲 一	5・6…	163(815)—205(857)
——川崎造船所を中心に——		
翻 訳		
宮效聞他編著『社会主義企業管理』……………小 野 進	1…	119(119)—186(186)
——宮效聞等編著<談話社会主義企業管理>——		
復旦大学経済学部他編著『社会主義政治経済学』……………小 野 進	2…	93(279)—153(339)
バルヴス「世界市場と農業恐慌」(三)……………大 藪 輝 雄 鈴 木 敏 正	3…	92(458)—116(482)
フランスにおける労働者とその家族の権利(-)……………戸 木 田 嘉 久	4…	75(563)—106(594)
——フランス労働総同盟『ポケット法律便覧』から——		
バルヴス「世界市場と農業恐慌」(四)……………大 藪 輝 雄 鈴 木 敏 正	4…	107(595)—138(626)
フランスにおける労働者とその家族の権利(二)……………戸 木 田 嘉 久	5・6…	206(858)—239(891)
——フランス労働総同盟『ポケット法律便覧』から——		

海外留学記

EC 経済の最近の若干の問題点 ……………清水 貞 俊 2…154(340)—172(358)

共同研究室

昭和五十年第一回研究会

「ヨーロッパ経済の一断面」……………清水 貞 俊 2…172(358)—172(358)

昭和五十年第二回研究会

「利潤と剰余価値」……………北 野 正 一 2…172(358)—180(366)

昭和五十年第三回研究会

「重化学工業資本の強蓄積と租税政策」……………藤 岡 純 一 4…164(652)—164(652)

昭和五十年第四回研究会

「県民所得統計発展の現状と問題点」……………後 藤 文 治 3…116(482)—121(487)

昭和五十年第五回研究会

「『社会資本』についての一試論」……………島 津 秀 典 4…139(627)—156(644)

昭和五十年第六回研究会

「フランスにおける労働組合運動の素描」……………戸 木 田 嘉 久 4…156(644)—163(651)

昭和五十年第七回研究会

「ドイツ社会政策史研究によせて」……………川 本 和 良 4…163(651)—164(652)

——ルール大学留学報告——

昭和五十年第八回研究会

「一九二〇年代造船業の資本制的生産過程」……………清 水 憲 一 5・6…239(891)—239(891)

昭和五十年第九回研究会

「寡占価格論への一接近」……………北 野 正 一 5・6…239(891)—239(891)

昭和五十年第十回研究会

「小野進氏の『社会主義論』批判」……………芦 田 文 夫 5・6…239(891)—264(916)

本年度会員業績……………5・6…264(916)—266(918)

立命館経済学 第25巻総目次(1976年度)

論 説	号	ページ(通巻)
「有効需要の原理」とIS-LM分析……………小野進	1…	1(1)—82(82)
——ケインズ理論の現代的解釈によせて——		
利潤と剰余労働……………北野正一	1…	83(83)—108(108)
——固定設備の耐用年数の決定を中心に——		
欧州共同体の地域経済問題(二)……………清水貞俊	1…	109(109)—153(153)
銀行信用・利子生み資本の論理的前提……………小牧聖徳	2・3…	1(205)—32(236)
——信用論批判——		
社会主義経済管理における民主主義の		
原理とその展開の構造について……………小野一郎	2・3…	33(237)—66(270)
産業資本主義段階における近代的独占の存在形態(二)…若林洋夫	2・3…	67(271)—156(360)
——北東イングランド石炭独占の歴史的 성격——		
「高度成長」と社会「安定」装置……………三好正巳	4…	1(439)—41(479)
ヒルファディングの『金融資本論』の背景と		
金融資本概念について……………田中宏道	4…	42(480)—77(515)
人づくりこそ企業づくりである……………足立政男	5・6…	3(637)—34(668)
——京都における老舗の家訓に学ぶ——		
現代社会政策論の視座と対象……………三好正巳	5・6…	35(669)—64(698)
Harrodの長期不安定性について……………北野正一	5・6…	65(699)—85(719)
1840年代後半における		
マルクスの経済学研究の特徴について……………津島陽子	5・6…	86(720)—132(766)
研 究		
「完全雇用」保障計画と公共職業訓練……………三富紀敬	2・3…	157(361)—185(389)
——『賃労働の理論』の批判的検討によせて——		
シャープ勤告と戦後日本の資本蓄積……………藤岡純一	2・3…	186(390)—214(418)
「高度成長」期における農山村の変容……………木村一夫	4…	78(516)—99(537)
——岐阜県揖斐郡旧宮地村の調査——		
資本集中と過剰資本の累積……………山本幹夫	4…	100(538)—119(557)
戦後日本資本主義の生産力構造と公共投資……………東郷久	5・6…	133(767)—154(788)
——「高度成長」下の港湾投資対象を例として——		
日本資本主義の発展とシャープ勤告……………藤岡純一	5・6…	155(789)—178(812)
1920年代における造船大企業の蓄積構造(上)……………清水憲一	5・6…	179(813)—225(859)
——川崎造船所の「破綻」を事例として——		

研究ノート

最近のソ連学界における「経済的社会構成体」の

研究……………小 檜 山 政 克 2・3…215(419)—227(431)

わが国における公式国民所得統計の発展の沿革に

関する年表……………後 藤 文 治 5・6…226(860)—238(872)

資 料

日本資本主義確立期の資本の存在形態(-)……………後 藤 靖 4…120(558)—165(603)

志布志湾漁業経済分析資料(その一)……………杉 野 圀 明 5・6…239(873)—290(923)

紹 介

最近の西ドイツ・フランス・アメリカの自主管理運動

について……………津 島 陽 子 4…166(604)—179(617)

翻 訳

フランスにおける労働者とその家族の権利(三)……………戸 木 田 嘉 久 1…154(154)—182(182)

——フランス労働総同盟【ポケット法律便覧から】——

イングラム「タイの米価問題」……………田 坂 敏 雄 1…183(183)—203(203)

書 評

小野一郎・篠原三郎編『社会主義的所有と管理』……………長 砂 實 4…180(618)—192(630)

木村静雄教授退任記念号

立命館在職三十五年をふりかえって……………木 村 静 雄 5・6…291(925)—296(930)

略歴・著作目録……………5・6…297(931)—300(934)

共同研究室

昭和五一年度第一回研究会

「最近のソ連学界における「経済的社会構成体」の

研究」……………小 檜 山 政 克 2・3…228(432)—228(432)

昭和五一年度第二回研究会

「経済雑誌の誕生」……………高 内 俊 一 2・3…228(432)—231(435)

昭和五一年度第三回研究会

「日本電気・電子機器製造業における巨大企業と

寡占的市場構造の形成」……………坂 本 和 一 2・3…231(435)—234(438)

昭和五一年度第四回研究会

「ヘーゲル疎外論・その現実的基礎と論理」……………向 井 俊 彦 2・3…234(438)—234(438)

昭和五一年度第五回研究会

「「所有論」から「管理論」へ」……………芦 田 文 夫 2・3…234(438)—234(438)

昭和五一年度第六回研究会

「マルクス恐慌論の方法」……………角 田 修 一 4…193(631)—195(633)

昭和五一年度第七回研究会

「シャープ勧告と戦後日本の資本蓄積」……………藤 岡 純 一 4…195(633)—195(633)

「「高度成長下」の公共投資の特質」……………東 郷 久 4…195(633)—195(633)

昭和五一年度第八回研究会			
「独占形成過程の資本過剰」……………	山 本 幹 夫	4…195(633)—195(633)	
昭和五一年度第九回研究会			
「ヒルファーディングの『金融資本論』の背景と 金融資本概念について」……………	田 中 宏 道	4…195(633)—195(633)	
昭和五一年度第十回研究会			
「戦後日本における現実資本と貨幣資本の展開」……………	小 牧 聖 徳	5・6…301(935)—305(939)	
昭和五一年度第十一回研究会			
「1920年代における造船巨大企業の蓄積構造」……………	清 水 憲 一	5・6…305(939)—306(940)	
昭和五一年度第十二回研究会			
「現代資本主義論」……………	浜 崎 正 規	5・6…306(940)—306(940)	
本年度会員業績……………		5・6…306(940)—309(943)	

立命館経済学 第26巻総目次（1977年度）

	号	ページ(通巻)
論 説		
現代社会政策論の起点……………	三 好 正 巳	1… 1(1)—32(32)
七〇年代地方財政の特徴について……………	坂 野 光 俊	1… 33(33)—78(78)
価格不確実性下の完全競争企業……………	松 川 周 二	1… 79(79)—106(106)
人口流出と地域的産業構成の変化……………	杉 野 罔 明	2… 1(185)—55(239)
産業資本主義段階における近代的独占の存在形態(三)…若 ——北東イングランド石炭独占の歴史的 성격——	林 洋 夫	2… 56(240)—124(308)
プルードン信用論の展開……………	津 島 陽 子	2…125(309)—192(376)
——交換銀行論とその経済学的基礎理論について——		
寄与率についての一考察……………	関 弥 三 郎	3… 1(415)—48(462)
戦後日本における現実資本と貨幣資本の展開……………小 ——量的指標と法則の貫徹——	牧 聖 徳	4… 1(591)—30(620)
国家と労働者階級……………	三 好 正 巳	4… 31(621)—61(651)
——植民地労働者と民族自決権——		
三月前期のプロイセンにおける「社会問題」と 社会政策および中間層政策の展開(一)……………	川 本 和 良	5… 1(713)—29(741)
景気循環の一モデル……………	北 野 正 一	5… 30(742)—57(769)
外国貿易の必然性再考……………	岩 田 勝 雄	6… 1(869)—30(898)
三月前期のプロイセンにおける「社会問題」と 社会政策および中間層政策の展開(二)……………	川 本 和 良	6… 31(899)—73(941)
研 究		
タイ農民層分解の論理……………	田 坂 敏 雄	3… 49(463)—80(494)
民生委員の階級的基盤……………	三 富 紀 敬	3… 81(495)—124(538)
現代日本企業税制の諸要因……………	藤 岡 純 一	5… 58(770)—81(793)
独占段階の過剰資本……………	山 本 幹 夫	6… 74(942)—100(968)
財政危機下の総需要抑制策と景気浮揚策に関する 一考察……………	東 郷 久	6…101(969)—120(988)
独占価格の実態と方法論的諸問題……………	佐々木 秀太	6…121(989)—155(1023)
研究ノート		
雇用理論に関するノート……………	河 野 快 晴	4… 62(652)—78(668)
資 料		
日本資本主義確立期の資本の存在形態(二)……………	後 藤 靖	1…107(107)—155(155)
日本資本主義確立期の資本の存在形態(三)……………	後 藤 靖	3…125(539)—173(587)
日本資本主義確立期の資本の存在形態(四)……………	後 藤 靖	4… 79(669)—121(711)

志布志湾漁業経済分析資料(その二)……………	杉野 圀 明	5… 82(794)—133(845)
翻 訳		
R. トレンズ「国内貿易について」……………	杉野 圀 明	1…156(156)—172(172)
書 評		
芦田文夫著『社会主義的所有と価値論』……………	岡 本 正	1…173(173)—184(184)
『見田石介著作集 第一巻・ヘーゲル論理学と 社会科学』……………	角 田 修 一	2…193(377)—212(396)
共同研究室		
昭和五二年度第一回研究会		
「わが国における公式国民所得統計の発展」……………	後 藤 文 治	2…213(397)—215(399)
昭和五二年度第二回研究会		
「不確実性下の企業行動理論」……………	松 川 周 二	2…215(399)—217(401)
昭和五二年度第三回研究会		
「最近の地方財政危機について」……………	坂 野 光 俊	2…217(401)—221(405)
昭和五二年度第四回研究会		
「ケインズ経済学の再解釈をめぐって」……………	河 野 快 晴	2…221(405)—227(411)
昭和五二年度第五回研究会		
「伸び率・寄与率・構成比率」……………	関 弥 三 郎	2…227(411)—229(413)
昭和五二年度第六回研究会		
「独占と景気循環の変容」……………	北 野 正 一	3…174(588)—176(590)
昭和五二年度第七回研究会		
「現代ソ連経済と民主主義」……………	小 野 一 郎	3…176(590)—176(590)
昭和五二年度第八回研究会		
「社会思想の論理構造序説」……………	浜 崎 正 規	5…134(846)—137(849)
昭和五二年度第九回研究会		
「近代天皇制研究の動向と問題点」……………	後 藤 靖	5…137(849)—142(854)
昭和五二年度第十回研究会		
「英国留学を終えて」……………	小 野 進	5…142(854)—153(865)
昭和五二年度第十一回研究会		
「総需要抑制策と景気浮揚策について」……………	東 郷 久	5…153(865)—153(865)
「独占価格の実態と分析方法の諸問題」……………	佐々木 秀 太	5…153(865)—153(865)
昭和五二年度第十二回研究会		
「過剰資本と独占支配」……………	山 本 幹 夫	5…153(865)—153(865)
昭和五二年度第十三回研究会		
「『罪と罰』(ドストエフスキー)の背景」……………	奥 村 剋 三	5…153(865)—155(867)
本年度会員業績……………		6…156(1030)—159(1033)

立命館経済学 第27巻総目次（1978年度）

	号	ページ(通巻)
論 説		
経済学史の意義とその方法(一)……………	上野俊樹	1… 1(1)—28(28)
産業資本主義段階における近代的独占の存在形態(四)…	若林洋夫	1… 29(29)—89(89)
——北東イングランド石炭独占の歴史的 성격——		
スタグフレーション分析に関する一試論……………	河野快晴 松川周二	1… 90(90)—120(120)
——OECDマクラッケン・グループ報告書によせて——		
景気循環における新旧技術の導入と廃棄について…………	北野正一	2… 1(165)—24(188)
産業資本主義段階における近代的独占の 存在形態(五・完)……………	若林洋夫	2… 25(189)—91(255)
——北東イングランド石炭独占の歴史的 성격——		
アダム・スミスの自然価格論について(上)……………	岡崎栄松	3… 1(417)—52(468)
——生産価格論の学史的考察——		
寡占企業の最適広告支出に関する小論……………	松川周二	3… 53(469)—62(478)
労働価値論と需要供給の問題……………	小檜山政克	4… 1(603)—18(620)
アダム・スミスの自然価格論について(中)……………	岡崎栄松	4… 19(621)—73(675)
——生産価格論の学史的考察——		
国有林における労働組織の形成と展開(三)……………	奥地正	4… 74(676)—118(720)
——東北・秋田国有林を中心に——		
「地域主義」なるものへの批判……………	杉野罔明	5… 1(783)—37(819)
——杉岡碩夫氏の所説について——		
アダム・スミスの自然価格論について(下)……………	岡崎栄松	5… 38(820)—94(876)
——生産価格論の学史的考察——		
欧州経済通貨同盟の発展……………	清水貞俊	6… 1(919)—57(975)
国際価値論の諸論点について……………	岩田勝雄	6… 58(976)—85(1003)
国有林における労働組織の形成と展開(四)……………	奥地正	6… 86(1004)—120(1038)
——東北・秋田国有林を中心に——		
研 究		
訓練付一時帰休の経済的基盤と諸結果……………	三富紀敬	2… 92(256)—147(311)
農協による経営受託……………	木村一夫	3… 63(479)—109(525)
——大垣南機械化営農組合および第一機械化営農組合の場合——		
価格決定機構と産業組織……………	山本幹夫	3… 110(526)—161(577)
——西陣織物工業の事例的研究——		
行政事務再配分における総合化原則……………	藤岡純一	5… 95(877)—113(895)
——現代地方財政論序説——		

研究ノート

J. K. ガルブレイス『不確実性の時代』考……………	浜 崎 正 規	3…162(578)—184(600)
——主要著作との位置づけをめぐって——		
現代資本主義の生産力発展段階……………	坂 本 和 一	6…121(1039)—131(1049)
資 料		
日本資本主義確立期の資本の存在形態(五)……………	後 藤 靖	1…121(121)—163(163)
日本資本主義確立期の資本の存在形態(六)……………	後 藤 靖	2…149(313)—213(377)
日本資本主義確立期の資本の存在形態(七)……………	後 藤 靖	4…119(721)—175(777)
志布志湾漁業経済分析資料(その二)……………	杉 野 圀 明	5… 82(794)—133(845)
紹 介		
スティーヴン・ルークス『社会科学における KEY CONCEPT としての個人主義』……………	小 野 進	2…214(378)—250(414)
翻 訳		
J. R. マカロック著『石炭税制改革論』(上)……………	若 林 洋 夫	5…114(896)—134(916)
共同研究室		
昭和五三年度第一回研究会		
「カルブレイスの学説史方法論」……………	浜 崎 正 規	2…250(414)—250(414)
昭和五三年度第二回研究会		
「言語と文化比較」……………	猪 谷 寛	2…250(414)—253(417)
昭和五三年度第三回研究会		
「アダム・スミスの自然価格概念について」……………	岡 崎 栄 松	2…254(418)—254(418)
昭和五三年度第四回研究会		
「社会主義経済管理構造の多様性をうみだすもの」…	芦 田 文 夫	3…185(601)—185(601)
昭和五三年度第五回研究会		
「京都における老舗の経営哲学」……………	足 立 政 男	3…185(601)—185(601)
昭和五三年度第六回研究会		
「北東イングランド石炭鉱業史研究の諸問題」……………	若 林 洋 夫	4…176(778)—180(782)
昭和五三年度第七回研究会		
「資本蓄積と流通必要金量」……………	竹 味 能 成	4…180(782)—180(782)
「特別剰余価値・超過利潤・独占利潤」……………	佐々木 秀太	4…180(782)—180(782)
昭和五三年度第八回研究会		
「価格決定と配業組織」……………	山 本 幹 夫	5…135(917)—135(917)
「訓練付一時帰休の経済的基盤と諸結果」……………	三 富 紀 敬	5…135(917)—135(917)
昭和五三年度第九回研究会		
「資金運用部資金制度についての一考察」……………	梅 原 英 治	5…135(917)—135(917)
「行政事務再配分における総合化原則」……………	藤 岡 純 一	5…135(917)—135(917)
昭和五三年度第十回研究会		
「現代資本主義の生産力発展段階」……………	坂 本 和 一	5…135(917)—135(917)

昭和五三年度第十一回研究会

「一般消費税導入をめぐる諸論点」……………加藤 睦 夫	6…132(1050)—133(1051)
本年度会員業績……………	6…134(1052)—136(1054)

立命館経済学 第28巻総目次(1979年度)

論 説	号	ページ(通巻)
公信用の展開……………小 牧 聖 徳	1…	1(1) — 23(23)
——信用, 利子生み資本および国家との関連——		
景気循環の形態に関する比較動学的分析……………北 野 正 一	1…	24(24) — 54(54)
「地域主義」に対する批判(上)……………杉 野 圀 明	2…	1(169) — 30(198)
——玉野井芳郎氏の所説について——		
三月前期のプロイセンにおける「社会問題」と 社会政策および中間層政策の展開(三)……………川 本 和 良	2…	31(199) — 72(240)
老舗外与株式会社の歴史と経営哲学……………足 立 政 男	3・4・5…	3(331) — 40(368)
平均利潤率の形成と需要供給の関係について……………小 檜 山 政 克	3・4・5…	41(369) — 56(384)
「地域主義」に対する批判(下)……………杉 野 圀 明	3・4・5…	57(385) — 89(417)
——玉野井芳郎氏の所説について——		
近代経済学における科学性・客観性論……………浜 崎 正 規	3・4・5…	90(418) — 135(463)
価値法則の国際的展開についての一考察……………岩 田 勝 雄	3・4・5…	136(464) — 160(488)
生活手段の資本主義的形態とその廃棄……………角 田 修 一	3・4・5…	161(489) — 194(522)
独占的諸行動と均衡経路の不安定性……………北 野 正 一	3・4・5…	195(523) — 261(589)
産業構造研究の基礎視角……………甲 賀 光 秀	3・4・5…	262(590) — 285(613)
近代天皇制について……………後 藤 靖	6…	1(661) — 17(677)
——鎌倉孝夫氏の批判に答える——		
販売促進政策と企業成長……………松 川 周 二	6…	18(678) — 47(707)
研 究		
価格体系と価値法則……………佐々 木 秀 太	2…	73(241) — 92(260)
構造不況と産業組織……………山 本 幹 夫	6…	48(708) — 100(760)
——造船業における市場構造の変化と設備過剰——		
『資本論』における流通必要金量概念と資本破壊……………竹 味 能 成	6…	101(761) — 120(780)
研究ノート		
ケインズ経済学の意義と限界(Ⅰ)……………山 田 彌 一 北 野 正 快 河 野 晴 二 松 川 周 二	1…	55(55) — 76(76)
——スキデルスキー編『ケインズ時代の終焉』をめぐって——		
ケインズ経済学の意義と限界(Ⅱ)……………山 田 彌 一 北 野 正 快 河 野 晴 二 松 川 周 二	2…	93(261) — 156(324)
——スキデルスキー編『ケインズ時代の終焉』をめぐって——		
資 料		
現代アメリカ鉄鋼業の生産構造……………坂 本 和 一	1…	77(77) — 139(139)

志布志湾漁業経済分析資料(その三)……………杉野 罔 明	6…121(781)—168(830)
翻 訳	
J. R. マカロック著『石炭税制改革論』(下)……………若林 洋 夫	1…140(140)—168(168)
共同研究室	
昭和五四年度第一回研究会	
「欧州経済通貨同盟の発展」……………清水 貞 俊	2…157(325)—157(325)
——EMS発足にあたって——	
昭和五四年度第二回研究会	
「合衆国プランテーションの構造変化」……………藤岡 惇	2…157(325)—160(328)
——一九三〇年代以降を中心に——	
昭和五四年度第三回研究会	
「西ドイツにおける財政危機論の一端」……………坂野 光 俊	6…171(831)—171(831)
——付, フランクフルト大学留学記——	
昭和五四年度第四回研究会	
「最近の日本鉄鋼業の諸行動の特徴について」……………北野 正 一 佐々木 秀 太	6…171(831)—171(831)
三 富 紀 敬	
昭和五四年度第五回研究会	
「天皇制国家論について」……………後藤 靖	6…171(831)—171(831)
——鎌倉孝夫氏の批判にこたえて——	
昭和五四年度第六回研究会	
「現代の貨幣理論と現実資本の法則的展開」……………小牧 聖 徳	6…171(831)—173(833)
昭和五四年度第七回研究会	
「社会主義社会と現代ソ連社会主義発展区分」……………小野 一 郎	6…173(833)—173(833)
昭和五四年度第八回研究会	
「『資本論』における流通必要金量概念と 資本破壊」……………竹 味 能 成	6…174(834)—174(834)
「財政危機と資金運用部資金」……………浅田 和 史	6…174(834)—174(834)
昭和五四年度第九回研究会	
「ケインズ経済学における政策論の位置」……………松川 周 二	6…174(834)—174(834)
——二〇～三〇年代のケインズの著作を中心に——	
昭和五四年度第十回研究会	
「現代資本主義の労働関係」……………三好 正 巳	6…175(835)—175(835)
——フランスにおける労働法制との比較において——	
本年度会員業績……………	6…175(835)—178(838)
(新制)経済学部三十周年年譜……………	3・4・5…286(614)—290(618)
立命館経済学著者別目録……………	3・4・5…291(619)—332(660)

立命館経済学 第29巻総目次 (1980年度)

論 説	号	ページ(通巻)
労働制度と労働者の権利……………三 好 正 巳	1…	1(1)— 35(35)
——「経済的民主主義」をめぐる——		
南北戦争後のプランテーション経済をめぐる最近の		
研究動向……………藤 岡 惇	1…	36(36)— 61(61)
国家独占資本主義論と資本蓄積……………杉 野 圀 明	2…	1(119)— 57(175)
三月前期のプロイセンにおける「社会問題」と		
社会政策および中間層政策の展開(四)……………川 本 和 良	2…	58(176)— 79(197)
雇用増と実質賃金率増との同時達成策について(Ⅰ)…北 野 正 一	2…	80(198)—140(258)
政策科学と計量経済モデル(-)……………山 田 彌	3…	1(287)— 27(313)
史的唯物論における生活手段の概念……………角 田 修 一	3…	28(314)— 61(347)
——生活手段の経済学的規定の意義によせて——		
雇用増と実質賃金率増との同時達成策について(Ⅱ)…北 野 正 一	3…	62(348)— 84(370)
レッドパージ……………塩 田 庄 兵 衛	4…	3(465)— 29(491)
日本資本主義の「八〇年代論」……………高 内 俊 一	4…	30(492)— 57(519)
地租改正と私的所有権の性格について……………後 藤 靖	4…	58(520)— 80(542)
最適通貨圏論考……………清 水 貞 俊	4…	81(543)—100(562)
三月前期のプロイセンにおける「社会問題」と		
社会政策および中間層政策の展開(五)……………川 本 和 良	4…	101(563)—132(594)
国際的分業について……………岩 田 勝 雄	4…	133(595)—153(615)
地主的土地清掃と南部民衆運動の交錯……………藤 岡 惇	4…	154(616)—182(644)
日本銀行金買入法小論……………伊 藤 正 直	4…	183(645)—210(672)
実質消費支出の統計的性質について……………関 弥 三 郎	5…	3(699)— 32(728)
貧困化論のための覚え書……………三 好 正 巳	5…	33(729)— 59(755)
転換期の住宅問題……………奥 地 正	5…	60(756)— 84(780)
市民所得統計を中心とした都市圏産業連関表の		
推計と若干の応用分析……………鈴 木 登	5…	85(781)—121(817)
中国における「資本主義」復活理論……………小 野 進	5…	122(818)—153(849)
中京工業地帯と工業用地問題(上)……………杉 野 圀 明	5…	154(850)—183(879)
政府の景気安定化政策について……………北 野 正 一	5…	184(880)—229(925)
スタグフレーション理論および政策に関する一展望…河 野 快 晴	5…	230(926)—299(995)
戦後アメリカ巨大企業の組織変革……………坂 本 和 一	6…	1(1015)— 74(1088)
——マトリックス組織の形成とその意義——		

- 「社会的共同業務」と国家(上)……………上野俊樹 6… 75(1089)—122(1136)
 ——国家の階級性と公共性の理解の前進のために——

研究

財政危機下における資金運用部資金の

- 財政投融资計画外運用について……………梅原英治 1… 62(62)—95(95)
 国債管理政策の二つの形態……………浅田和史 2… 141(259)—164(282)
 現代産業と産業組織分析の方法……………山本幹夫 3… 85(371)—120(406)

——産業組織の再編と市場成果規準——

- 工場制下の労働と家族……………湯浅良雄 3… 121(407)—164(450)
 ——イギリス一八三三年工場法と家族——

『金融資本論』における株式会社、独占と

- 金融資本(上)……………佐々木秀太 6… 123(1137)—150(1164)
 一九世紀中葉イギリスの労働者生活と生命保険(上)…横山寿一 6… 151(1165)—177(1191)

研究ノート

社会主義社会の歴史的 position と発展段階区分についての

- 覚え書……………小野一郎 1… 96(96)—109(109)

書評

- 小野一郎著『現代社会主義経済論』……………宮鍋 熾 1… 110(110)—117(117)
 向井俊彦著『唯物論とヘーゲル研究』……………鯨坂 真 3… 165(451)—176(462)

足立政男教授退任記念号

- 足立教授の学問について……………後藤 靖 4… 211(673)—216(678)
 立命館在職三十二年の回顧……………足立政男 4… 217(679)—226(688)
 略歴・著作目録…………… 4… 227(689)—234(696)

後藤文治教授退任記念号

- 後藤さん「定年」と伺って……………建林正喜 5… 300(996)—304(1000)
 経済学と私……………後藤文治 5… 305(1001)—313(1009)
 略歴・著作目録…………… 5… 314(1010)—318(1014)

共同研究室

昭和五五年度第一回研究会

- 「生活手段の資本主義的形態とその廃棄」……………角田修一 2… 165(282)—165(282)

昭和五五年度第二回研究会

「地域産業連関計量モデルによる地域分散政策の

- 効果測定」……………鈴木 登 2… 165(283)—167(285)

昭和五五年度第三回研究会

- 「一九二〇年代の日本金融構造」……………伊藤正直 2… 167(285)—168(286)

昭和五五年度第四回研究会

- 「雇用増と実質賃金率増との同時達成策について」北野正一 2… 168(286)—168(286)

昭和五五年度第五回研究会

「イギリス一八三三年工場法と児童労働問題」……………湯 浅 良 雄 6…178(1192)—178(1192)

「ビクトリア中期の労働者生活と生命保険」……………横 山 寿 一 6…178(1192)—178(1192)

昭和五五年度第六回研究会

「転換期の住宅問題」……………奥 地 正 6…178(1192)—178(1192)

昭和五五年度第七回研究会

「現代アメリカ巨大企業とその研究状況」……………坂 本 和 一 6…178(1192)—178(1192)

昭和五五年度第八回研究会

「スタグフレーションの理論的構造」……………松 川 周 二 6…178(1192)—178(1192)

昭和五五年度第九回研究会

「一つの自然史としての社会経済史」……………梯 明 秀 6…178(1192)—178(1192)

昭和五五年度第十回研究会

「戒能通厚著『イギリス土地所有法研究』」……………栗 原 真 人 6…178(1192)—178(1192)

昭和五五年度第十一回研究会

「イギリス経済の危機と鉄鋼国有化」……………家 長 隆 6…178(1192)—178(1192)

昭和五五年度第十二回研究会

「貨幣の前貸しと資本の前貸し」……………浅 田 和 史 6…178(1192)—178(1192)

「日本財政の危機と「財政再建」政策」……………梅 原 英 治 6…179(1193)—179(1193)

本年度会員業績……………6…179(1193)—182(1196)

立命館経済学 第30巻総目次 (1981年度)

論 説	号	ページ(通巻)
全般的危機論の検討……………田 中 宏 道	1… 1(1)— 34(34)	
中京工業地帯と工業用地問題(下)……………杉 野 罔 明	1… 35(35)— 67(67)	
——高度経済成長期における工業立地とそれをめぐる社会経済的諸問題——		
経済学史の意義とその方法(二)……………上 野 俊 樹	1… 68(68)— 99(99)	
アメリカ巨大企業 GE 社 (General Electric Co.) の		
組織変革(一)……………坂 本 和 一	2… 1(179)— 94(272)	
——事業部制組織・マトリックス組織・戦略事業単位——		
「社会的共同業務」と国家(上の二)……………上 野 俊 樹	2… 95(273)—136(314)	
——国家の階級性と公共性の理解の前進のために——		
イギリス石炭鉱業と初期鉱山立法……………若 林 洋 夫	2…137(315)—188(366)	
——一八四二年『児童雇用委員会』報告とアシュレイ法案を中心として——		
政策科学と計量経済モデル(二)……………山 田 彌	2…189(367)—222(400)	
兵器の共同研究・開発・生産……………木 原 正 雄	3・4・5… 1(485)— 27(511)	
——核時代の経済——		
勤労者家計の統計的研究……………関 弥 三 郎	3・4・5… 28(512)— 57(541)	
二つの独占理論……………小 檜 山 政 克	3・4・5… 58(542)— 85(569)	
——白杉庄一郎氏とルダコワ女史——		
欧州通貨制度 (EMS) の発足とその運営について…清水 貞 俊	3・4・5… 86(570)—123(607)	
西ドイツ経済専門家委員会答申の政策論理……………坂 野 光 俊	3・4・5…124(608)—168(652)	
価値諸範疇の体系性について……………杉 野 罔 明	3・4・5…169(653)—190(674)	
マルクス経済学における企業論の具体化……………坂 本 和 一	3・4・5…191(675)—224(708)	
経済学史の意義とその方法(三)……………上 野 俊 樹	3・4・5…225(709)—262(746)	
資本制の存続条件としての産業予備軍……………甲 賀 光 秀	3・4・5…263(747)—293(777)	
石油危機における価格構造変化の多部門分析……………山 田 彌	3・4・5…294(778)—332(816)	
国際収支の均衡と貿易の均衡……………岩 田 勝 雄	3・4・5…333(817)—367(851)	
景気安定化政策と国債問題……………北 野 正 一	3・4・5…368(852)—410(894)	
資本主義の基本矛盾について……………角 田 修 一	3・4・5…411(895)—450(934)	
大正期・昭和初期の信用組合論……………伊 藤 正 直	3・4・5…451(935)—491(975)	
Aggregate された輸入需要関数における関数形と		
価格の同時特定化について……………本 田 豊	3・4・5…492(976)—504(988)	
現代資本主義における労働者権利(一)……………三 好 正 巳	6… 1(989)— 24(1012)	
——労働政策論の課題と方法——		
経済学史の意義とその方法(完)……………上 野 俊 樹	6… 25(1013)— 82(1070)	

北東イングランド地域産業史分析序説……………若 林 洋 夫 6… 83(1071)—150(1138)

研 究

高度成長下における財政の社会・経済機能……………藤 岡 純 一 1…100(100)—131(131)

一九世紀中葉イギリスの労働者生活と生命保険(下)横 山 寿 一 1…132(132)—177(177)

——簡易生命保険の生成と展開——

『金融資本論』における株式会社, 独占と

金融資本(下)……………佐 々 木 秀 太 2…223(401)—256(434)

「流通手段の前貸と資本の前貸」について……………浅 田 和 史 2…257(435)—299(477)

——久留間建氏の所説の検討——

低成長期における鉄鋼巨大企業の生産管理……………山 本 幹 夫 6…151(1139)—188(1176)

——鉄鋼一貫生産体制の新たな展開——

構造不況地域における離職者の動向と雇用問題……………湯 浅 良 雄 6…189(1177)—240(1228)

——京都府舞鶴市を事例として——

研究ノート

「窓口指導論」の課題……………河 野 快 晴 6…241(1229)—251(1239)

書 評

坂寄俊雄・塩田庄兵衛編『労働問題の

今日的課題』……………向 井 喜 典 6…252(1240)—296(1284)

立命館大学創立80周年記念論文集

記念論文集の刊行にあたって……………天 野 和 夫 3・4・5… i — ii

八〇周年記念論文集によせて……………小 檜 山 政 克 3・4・5… iii — iv

共同研究室

昭和五六年度第一回研究会

「部落問題研究をめぐる最近の動向」……………馬 原 鉄 男 2…299(477)—301(479)

昭和五六年度第二回研究会

「最近の所有論, 社会構成体論の研究動向に

ついて」……………後 藤 靖 夫 2…301(479)—302(480)

——角田論文・向井論文・須藤論文——

昭和五六年度第三回研究会

「労働者階級の構成, 貧困化, 主体形成をめぐる

理論状況について」……………戸 木 田 嘉 久 2…302(480)—305(483)

昭和五六年度第四回研究会

「『高度経済成長』と政府の経済計画」……………真 鍋 能 章 2…305(483)—305(483)

昭和五六年度第五回研究会

「石油危機と日本経済」……………本 田 豊 6…297(1285)—299(1287)

昭和五六年度第六回研究会

「特定不況地域の雇用問題」……………湯 浅 良 雄 6…299(1287)—299(1287)

——「特定不況地域離職者臨時措置法」の京都府・舞鶴市における展開——

「低成長期における鉄鋼巨大企業の生産管理」……山本幹夫 ——鉄鋼一貫生産体制の新たな展開——	6…299(1287)—299(1287)
昭和五六年度第七回研究会	
「プロイセン工場法成立史」……川本和良	6…299(1287)—299(1287)
昭和五六年度第八回研究会	
「社会保険と営利保険の交錯」……横山寿一 ——イギリス初期社会保険の「認可組合」制度と簡易生命保険団体——	6…299(1287)—299(1287)
昭和五六年度第九回研究会	
「土地制度史学会共通論題への若干のコメント」…後藤靖	6…300(1288)—307(1295)
本年度会員業績……	6…307(1295)—310(1298)
立命館経済学総目次第一巻第一号—第三十巻第六号・著者別索引……	6…311(1299)—371(1359)

立命館経済学 第31巻総目次 (1982年度)

論 説	号	ページ(通巻)
いわゆる土地国有化の理論的基礎(上)……………奥 地 正	1…	1(1)— 22(22)
——若干の整理と覚え書——		
アメリカ巨大企業 GE 社 (General Electric Co.) の		
組織変革(2)……………坂 本 和 一	1…	23(23)— 80(80)
——事業部制組織・マトリックス組織・戦略事業単位——		
貨幣資本と現実資本の運動法則……………小 牧 聖 徳	2…	1(149)— 27(175)
——不換制度のもとでの展開とその指標——		
アメリカ巨大企業 GE 社 (General Electric Co.) の		
組織変革(3・完)……………坂 本 和 一	2…	28(176)— 64(212)
——事業部制組織・マトリックス組織・戦略事業単位——		
現代資本主義の生産力・生産関係・階級間対抗……………甲 賀 光 秀	2…	65(213)— 99(247)
日本繊維産業と外国貿易……………岩 田 勝 雄	3…	1(281)— 43(323)
いわゆる土地国有化の理論的基礎(中)……………奥 地 正	3…	44(324)— 77(357)
——若干の整理と覚え書——		
現代資本主義における労働者権利(2)……………三 好 正 巳	3…	78(358)—104(384)
——労働政策論の課題と方法——		
合衆国南部の「サンベルト」化の経済的意味(上)……………藤 岡 惇	3…	105(385)—142(422)
「社会主義経済と国家」にかんする覚え書(上)……………芦 田 文 夫	4…	1(425)— 36(460)
中京工業地帯における工業用水問題(Ⅰ)……………杉 野 罔 明	4…	37(461)— 59(483)
IBM 社の組織変革(1)……………坂 本 和 一	4…	60(484)— 97(521)
日本繊維資本と対外関係(Ⅰ)……………岩 田 勝 雄	4…	98(522)—123(547)
「発展の人間学」論考(上)……………濱 崎 正 規	5・6…	1(557)— 14(570)
中京工業地帯における工業用水問題(Ⅱ)……………杉 野 罔 明	5・6…	15(571)— 38(594)
IBM 社の組織変革(2)……………坂 本 和 一	5・6…	39(595)— 80(636)
日本繊維資本と対外関係(Ⅱ)……………岩 田 勝 雄	5・6…	81(637)—126(682)
輸出超過, 財政支出のクラウドディングアウト効果に ついて……………本 田 豊	5・6…	127(683)—147(703)
——2国モデルの場合——		
研 究		
社会保険と営利保険の交錯……………横 山 寿 一	1…	81(81)—121(121)
——1911年イギリス「国民保険法」下の「認可組合」制度と簡易生命保険団体——		

1920年代アメリカにおける自動車労働者の労働と

- 生活……………佐藤卓利 5・6…148(704)—172(728)
 ——全米自動車労働組合（UAW）成立前史——

研究ノート

- 「日銀信用」に関する一展望……………河野快晴 1…122(122)—147(147)

書評

- 戸木田嘉久著『現代資本主義と労働者階級』……………高木督夫 2…100(248)—109(257)
 塩田庄兵衛著『日本社会運動史』……………松尾洋 5・6…173(729)—182(738)

学界動向

- 1982年度歴史学研究会大会……………後藤靖 2…110(258)—116(264)

共同研究室

昭和57年度第1回研究会

- 「金融政策の今日的役割と理論・実証的課題」……………河野快晴 2…117(265)—122(270)

昭和57年度第2回研究会

- 「日本経済の民主的改革をめぐって」……………甲賀光秀 2…122(270)—122(270)
 「日本経済の民主的改革に関する数量的検討」……………山田彌 2…122(270)—122(270)
 「民主的改革から社会主義へ」……………芦田文夫 2…122(270)—122(270)

昭和57年度第3回研究会

- 「現代日本の支配構造」……………後藤靖 2…122(270)—132(280)

昭和57年度第4回研究会

- 「日本農業の民主的再建をめぐって」……………大藪輝雄 3…143(423)—143(423)

昭和57年度第5回研究会

- 「自動車産業における職場組織と労資関係の
 改革」……………湯浅良雄 3…143(423)—143(423)
 ——危機におけるイギリス労資関係の構造——

昭和57年度第6回研究会

- 「『経済学とイデオロギー』によせて」……………上野俊樹 4…124(548)—129(553)

昭和57年度第7回研究会

- 「経済発展の理論についての一試論」……………濱崎正規 4…129(553)—129(553)
 ——佐和隆光氏の所論をめぐって——

昭和57年度第8回研究会

- 「ソ連・東欧圏の地域経済問題」……………杉野罔明 4…129(553)—131(555)
 ——見たまま感じたまま——

昭和57年度第9回研究会

- 「生成理論の基本的仮説について」……………三宅正隆 5・6…183(739)—188(744)

昭和57年度第10回研究会

- 「アメリカ自動車労働者の生活と失業者運動」……………佐藤卓利 5・6…188(744)—188(744)
 ——全米自動車労組（U. A. W）成立の社会的背景——

昭和57年度第11回研究会

「戸坂潤の日本ファシズム論について」……………後藤 靖 5・6…188(744)—192(748)

昭和57年度第12回研究会

「分配公正論をめぐる」……………鈴木 登 5・6…192(748)—199(755)

——その系譜的整理——

昭和57年度第13回研究会

「今日の貧困化論」……………三好正巳 5・6…199(755)—209(765)

——戸木田嘉久著『現代資本主義と労働者階級』をめぐる——

立命館経済学 第32巻総目次（1983年度）

	号	ページ(通巻)
論 説		
貿易摩擦下の金融政策の国際的波及効果について……本 田 豊	1…	1(1)— 15(15)
合衆国南部の「サンベルト」化の経済的意味(下)……藤 岡 惇	1…	16(16)— 68(68)
現代韓国経済分析序論……岩 田 勝 雄	2…	1(127)— 20(146)
中京工業地帯における工業用水問題(Ⅲ)……杉 野 罔 明	2…	21(147)— 44(170)
IBM 社の組織変革(3)……坂 本 和 一	2…	45(171)— 90(216)
マルクス・エンゲルスのポナパルティズム概念の 展開について(1)……後 藤 靖	3…	1(281)— 37(317)
ケインズの資本主義経済観の形成と展開(1)……松 川 周 二	3…	38(318)— 66(346)
——ケインズ経済学研究序説Ⅰ——		
現代資本主義と労働基準(1)……三 好 正 巳	4…	1(425)— 25(449)
IBM 社の組織変革(4)……坂 本 和 一	4…	26(450)— 47(471)
ケインズの資本主義経済観の形成と展開(2)……松 川 周 二	4…	48(472)— 66(490)
——ケインズ経済学研究序説Ⅰ——		
信用資本についての考察……小 牧 聖 徳	5・6…	1(559)— 19(577)
現代資本主義と労働基準(2)……三 好 正 巳	5・6…	20(578)— 50(608)
IBM 社の組織変革(5)……坂 本 和 一	5・6…	51(609)— 93(651)
ケインズの資本主義経済観の形成と展開(3)……松 川 周 二	5・6…	94(652)—124(682)
——ケインズ経済学研究序説Ⅰ——		
研 究		
貨幣・信用恐慌の発現過程における再生産と信用……竹 味 能 成	1…	69(69)— 82(82)
全米自動車労働組合(UAW)の成立……佐 藤 卓 利	2…	91(217)—122(248)
——失業者運動との関連で——		
金融資本概念の理論的考察(上)……佐々 木 秀 太	3…	67(347)— 92(372)
金融資本概念の理論的考察(下)……佐々 木 秀 太	4…	67(491)— 92(516)
日本における障害者雇用政策の今日的展開……上 掛 利 博	5・6…	125(683)—157(715)
——国家独占資本主義の危機の視点から——		
資 料		
京都における製造企業の現況……若 林 洋 夫	1…	83(83)—123(123)
日本資本主義確立期の資本家名簿(1)……後 藤 靖	2…	123(249)—153(279)
日本資本主義確立期の資本家名簿(2)……後 藤 靖	3…	93(373)—142(422)
日本資本主義確立期の資本家名簿(3)……後 藤 靖	4…	93(517)—133(557)
京都における製造企業の現況(2)……若 林 洋 夫	5・6…	158(716)—205(763)
——市町村・行政区別/産業中分類/100人以上事業所一覧——		

共同研究室

昭和58年度第1回研究会

「韓国経済見たまま」……………岩 田 勝 雄 2…154(280)—154(280)

昭和58年度第2回研究会

「ケインズ経済学の理論構造」……………松 川 周 二 2…154(280)—154(280)
 ——ケインズ再解釈の方向——

昭和58年度第3回研究会

「貨幣信用恐慌の発現過程における再生産と信用」…竹 味 能 成 2…154(280)—154(280)

昭和58年度第4回研究会

「大恐慌化の失業者運動と全米自動車労組(UAW)の成立」(1929—1936)……………佐 藤 卓 利 3…143(423)—143(423)

昭和58年度第5回研究会

「経済調整下の上海」……………松 野 昭 二 3…143(423)—143(423)

昭和58年度第6回研究会

「フランス見たまま」……………荒 井 正 治 4…134(558)—134(558)

昭和58年度第7回研究会

「ミシシッピデルタにおける公民権運動の展開と帰結」……………藤 岡 惇 4…134(558)—134(558)
 ——Sunflower Washington Hormes 郡の調査をふまえて——

昭和58年度第8回研究会

「近畿型地主経営の展開過程」……………伊 藤 正 直 5・6…206(764)—206(764)
 ——岡山県牛窓町服部家を対象として——

昭和58年度第9回研究会

「国家と経済的メカニズム」……………芦 田 文 夫 5・6…206(764)—207(765)
 ——資本主義と社会主義の比較体制論的アプローチ——

昭和58年度第10回研究会

「宇野弘蔵氏の恐慌論批判」……………西 原 誠 司 5・6…207(765)—207(765)

昭和58年度第11回研究会

「日本資本主義の構造変化と国土開発政策」……………奥 地 正 5・6…207(765)—208(766)

昭和58年度第12回研究会

「我国の国独資論における危機把握について」……………田 中 宏 道 5・6…208(766)—211(769)

本年度会員業績……………5・6…211(769)—214(772)

立命館経済学 第33巻総目次（1984年度）

論 説	号	ページ(通巻)
我国の独占資本主義論・国家独占資本主義論における		
危機把握について(1)……………	田中宏道	1… 1(1)—17(17)
IBM社の組織変革(6)……………	坂本和一	1… 18(18)—59(59)
韓国の貿易と国際収支……………	岩田勝雄	1… 60(60)—92(92)
現代資本主義の労働制度(1)……………	三好正巳	2… 1(161)—31(191)
——国家独占資本主義の社会政策論のために——		
IBM社の組織変革(7)……………	坂本和一	2… 32(192)—93(253)
ミシシッピデルタにおける公民権運動の展開と		
帰結(上)……………	藤岡 惇	2… 94(254)—125(285)
——「フリーダムサマー」20周年によせて——		
発展途上国の開発政策と経済成長……………	本田 豊	3… 1(321)—16(336)
「社会主義経済と国家」にかんする覚書(中の1)……………	芦田 文夫	3… 17(337)—47(367)
——「経済的メカニズム」論とのかかわりで——		
ミシシッピデルタにおける公民権運動の展開と		
帰結(下)……………	藤岡 惇	3… 48(368)—68(388)
——「フリーダムサマー」20周年によせて——		
ケインズの資本主義経済観の形成と展開(完)……………	松川周二	3… 69(389)—104(424)
——ケインズ経済学研究序説I——		
パーシエ式物価指数の寄与度・寄与率……………	関 彌三郎	4… 1(459)—15(473)
現代資本主義の労働制度(2)……………	三好正巳	4… 16(474)—51(509)
——国家独占資本主義の社会政策論のために——		
IBM社の組織変革(8)……………	坂本和一	4… 52(510)—116(574)
資本輸出の諸問題について……………	岩田勝雄	5… 1(613)—23(635)
「社会主義経済と国家」にかんする覚書(中の2)……………	芦田 文夫	5… 24(636)—76(688)
——「経済的メカニズム論」とのかかわりで——		
寄与度・寄与率の理論と応用……………	関 彌三郎	6… 3(759)—45(801)
近代経済学における日常性と科学性……………	鈴木 登	6… 46(802)—73(829)
——その普遍性・客観性・実証性をめぐっての素描——		
Stagnation 仮説の検討……………	甲 賀光秀	6… 74(830)—107(863)
寡占部門の投資行動規制による景気安定化について……………	北野正一	6… 108(864)—138(894)
ケインズ経済学の理論的發展……………	松川周二	6… 139(895)—172(928)
——その若干の予備的考察——		

構造変化と政策効果……………山 田 彌	6…173(929)—223(979)
——二つの計量モデルによるシミュレーション分析——	
途上国経済援助による世界経済活性化の可能性に ついて……………本 田 豊	6…224(980)—243(999)
日本における政府短期証券市場の現状と展望……………河 野 快 晴	6…244(1000)—267(1023)
研 究	
宇野弘蔵氏の恐慌論批判……………西 原 誠 司	2…126(286)—153(313)
——その批判的諸潮流との関連で——	
交通経済学体系と方法論上の問題点……………森 田 優 己	4…117(575)—134(592)
貨幣・信用恐慌と中央銀行準備金……………竹 味 能 成	5… 77(689)— 90(702)
研究ノート	
ソ連およびドイツ民主共和国における経済地理学の 現状について……………杉 野 圀 明	1… 93(93)—112(112)
資 料	
日本資本主義確立期の資本家名簿(4)……………後 藤 靖	1…113(113)—155(155)
日本資本主義確立期の資本家名簿(5)……………後 藤 靖	5… 91(703)—141(753)
紹 介	
董輔祁『孫治方の社会主義経済論を論ず』……………松 野 昭 二	3…105(425)—136(456)
翻 訳	
M. K. バンドマン著『圏域生産コムプレックス』……………杉 野 圀 明	4…135(593)—153(611)
学位論文審査報告	
戸木田嘉久『現代資本主義と労働者階級』……………	1…156(156)—160(160)
共同研究室	
昭和59年度第 1 回研究会	
「合理的期待仮説の実証的検討」……………川 崎 誠 一	2…154(314)—159(319)
——西独ビジネス・サーベイを用いて——	
昭和59年度第 2 回研究会	
「価値法則と独占価格の関連および社会の総需要の 構造について」……………小 檜 山 政 克	2…159(319)—160(320)
——小檜山政克『価値法則と独占価格』の第 6, 7 章を中心として——	
昭和59年度第 3 回研究会	
「交通経済の基礎視角」……………森 田 優 己	3…137(457)—137(457)
昭和59年度第 4 回研究会	
「拙著『イギリス石炭鉱業の史的分析』(草稿)の構 成と主要論点」……………若 林 洋 夫	3…137(457)—138(458)
昭和59年度第 5 回研究会	
「社会主義における経済と政治」……………芦 田 文 夫	4…154(612)—154(612)
——「経済的メカニズム」論と「政治的システム」論をてがかりに——	

昭和59年度第6回研究会

「貨幣・信用恐慌と中央銀行準備金」……………竹 味 能 成 4…154(612)—154(612)

「恐慌論の方法と原理論の方法の関連について」……………西 原 誠 司 4…154(612)—154(612)

昭和59年度第7回研究会

「ケインズ経済学の理論的發展」……………松 川 周 二 4…154(612)—154(612)

昭和59年度第8回研究会

「1984年の北京・上海」……………松 野 昭 二 5…142(754)—142(754)

「国際間における価値法則の修正について」……………杉 本 良 雄 5…142(754)—142(754)

昭和59年度第9回研究会

「パーシェ式物価指数の寄与度・寄与率」……………関 彌 三 郎 5…142(754)—144(756)

本年度会員業績……………6…268(1024)—271(1027)

立命館経済学 第34巻総目次 (1985年度)

論 説	号	ページ(通巻)
現代産業合理化論序説(1)……………三 好 正 巳	1 …	1 (1) — 22 (22)
IBM 社の組織変革(9・完)……………坂 本 和 一	1 …	23 (23) — 63 (63)
ラスパイレ式物価指数の寄与度・寄与率……………関 弥 三 郎	2 …	1 (133) — 23 (155)
経済地理学方法論の根本問題……………杉 野 圀 明	2 …	24 (156) — 66 (198)
不均衡調整メカニズムと下方硬直賃金……………大 西 広	2 …	67 (199) — 78 (210)
貨幣の前貸, 資本の前貸および貨幣資本の前貸の 問題点……………小 牧 聖 徳	3 …	1 (251) — 19 (269)
戦後期における日本資本主義と生産力基盤問題(上)…杉 野 圀 明	3 …	20 (270) — 72 (322)
賃上げの有効領域……………大 西 広	3 …	73 (323) — 80 (330)
京都市経済の衰退傾向……………若 林 洋 夫	4 …	1 (401) — 23 (423)
国際的経済関係形成の諸契機と国際経済論……………岩 田 勝 雄	4 …	24 (424) — 43 (443)
ケインズの経済政策論の形成と展開(1)……………松 川 周 二	4 …	44 (444) — 68 (468)
——ケインズ経済学研究序説Ⅱ——		
戦前期日本におけるマルクス主義経済地理学(上)…………杉 野 圀 明	5 …	1 (537) — 46 (582)
日本の経済発展過程の理論化をめぐる方法的諸問題…小 野 進	5 …	47 (583) — 92 (628)
京都市における財政危機の構造……………若 林 洋 夫	5 …	93 (629) — 126 (662)
日本資本主義形成期の華族の財産所有状況……………後 藤 靖	6 …	1 (703) — 40 (742)
戦前期日本におけるマルクス主義経済地理学(下)…………杉 野 圀 明	6 …	41 (743) — 80 (782)
現代の「技術革新」とその歴史的位置……………坂 本 和 一	6 …	81 (783) — 120 (822)
研 究		
商業資本の下における「生きている矛盾」の展開形態 について……………西 原 誠 司	1 …	64 (64) — 93 (93)
DGB 81年基本綱領と西ドイツ労働組合運動(上)…………布 川 日 佐 史	5 …	127 (663) — 151 (687)
世界市場における価値法則と国際価値論(Ⅰ)……………杉 本 良 雄	6 …	121 (823) — 134 (836)
——木下悦二教授の所説の検討——		
DGB 81年基本綱領と西ドイツ労働組合運動(下)…………布 川 日 佐 史	6 …	135 (837) — 155 (857)
資 料		
日本資本主義確立期の資本家名簿(6)……………後 藤 靖	2 …	79 (211) — 117 (249)
日本資本主義確立期の資本家名簿(7)……………後 藤 靖	3 …	81 (331) — 129 (379)
日本資本主義確立期の資本家名簿(8)……………後 藤 靖	4 …	69 (469) — 111 (511)
紹 介		
服部文男著『マルクス主義の形成』について……………岡 崎 栄 松	1 …	94 (94) — 116 (116)
今日の〈大寨村〉……………陳 家 驥	4 …	112 (512) — 119 (519)

翻 訳

M. ブラウンリッジ, M. A. グレイグ著『観光業と

地域開発』……………森 田 優 己 1… 117(117) — 132(132)

書 評

三好正巳編著『現代日本の労働政策』……………加 藤 佑 治 4… 120(520) — 135(535)

若林洋夫著『イギリス石炭鉱業の史的分析』……………富 沢 賢 治 5… 152(688) — 161(697)

学界動向

第19回 IARIW 総会に出席して……………鈴 木 登 3… 130(380) — 148(398)

共同研究室

1985年度第1回研究会

「経済不均衡下の賃金政策の有効領域」……………大 西 広 2… 118(250) — 118(250)

1985年度第2回研究会

「日本経済の構造変化と経済政策効果」……………山 田 弥 2… 118(250) — 118(250)

1985年度第3回研究会

「労働価値論と現代」……………上 野 俊 樹 3… 149(399) — 150(400)

1985年度第4回研究会

「DGB '81年基本綱領と西ドイツ労働組合運動」……………布 川 日 佐 史 3… 150(400) — 150(400)

1985年度第5回研究会

「戦後日本の階級構成について」……………後 藤 靖 5… 162(698) — 163(699)

1985年度第6回研究会

「パリの変貌——20年ののち——」……………奥 村 功 5… 163(699) — 163(699)

1985年度第7回研究会

「部落差別と法規制」……………馬 原 鉄 男 5… 163(699) — 165(701)

1985年度第8回研究会

「坂本和一著『IBM』をめぐって」……………仲 田 正 機 6… 156(858) — 156(858)

「藤岡 惇著『アメリカ南部の変貌』をめぐって」……………長 田 豊 臣 6… 156(858) — 156(858)

本年度会員業績…………… 6… 156(858) — 159(861)

立命館経済学 第35巻総目次 (1986年度)

論 説	号	ページ(通巻)
戦後日本の統一戦線運動……………塩 田 庄 兵 衛	1… 1(1)―	43(43)
京都市産業経済の趨勢と問題点(上)……………若 林 洋 夫	1… 44(44)―	90(90)
——「都市衰退」傾向諸相の分析——		
産業合理化と労働改革(上)……………三 好 正 巳	2… 1(181)―	22(202)
京都市産業経済の趨勢と問題点(下)……………若 林 洋 夫	2… 23(203)―	72(252)
——「都市衰退」傾向諸相の分析——		
公的援助・直接投資と発展途上国の経済成長……………本 田 豊	3… 1(339)―	25(363)
産業合理化と労働改革(下)……………三 好 正 巳	3… 26(364)―	54(392)
女性研究者運動の歴史と課題……………坂 東 昌 子	4… 3(513)―	26(536)
労働運動の現段階と「未組織の組織化」問題……………大 木 一 訓	4… 27(537)―	42(552)
——一つの覚え書き——		
地域生協の課題……………田 井 修 司	4… 43(553)―	64(574)
——事業経営の視点から——		
産業構造の「転換」と労働組合運動の課題……………戸 木 田 嘉 久	4… 65(575)―	86(596)
——多国籍企業化・ME「合理化」とも関連して——		
職場労使関係と労働組合運動……………三 好 正 巳	4… 87(597)―	111(621)
地方財政改革「運動」の変化とその背景……………坂 野 光 俊	4… 112(622)―	154(664)
核兵器廃絶の展望と日本の原水爆禁止運動……………安 齋 育 郎	4… 155(665)―	183(693)
障害者共同作業所づくり運動と福祉政策……………上 掛 利 博	4… 184(694)―	209(719)
ブリントの統計学理論について……………有 田 正 三	5… 3(753)―	18(768)
初期の「統計法」の一典型……………浦 田 昌 計	5… 19(769)―	48(798)
——1897年のハンガリー統計局法——		
H. グローマンの統計方法論……………長 屋 政 勝	5… 49(799)―	85(835)
線型回帰分析の推定誤差と係数の信頼性……………稲 葉 和 夫	5… 86(836)―	110(860)
サービス経済論の系譜的展望……………鈴 木 登	5… 111(861)―	163(913)
——その理論と計測をめぐる諸問題——		
経済発展論(上)……………小 野 進	5… 164(914)―	221(971)
——A. ガーシエンクロンと A. マーシャルそして日本の経済発展への適用とその限界——		
ケインズ経済学における理論と政策……………松 川 周 二	5… 222(972)―	250(1000)
——その形成と展開についての覚書——		
ケインズの道徳哲学と賢人思想……………大 西 広	5… 251(1001)―	290(1040)
——『若き日の信条』におけるケインズの「反省」——		
輸出・輸入物価に対する為替変動の寄与度・寄与率…関 彌 三 郎	6… 1(1053)―	16(1068)

経済発展論(下)……………	小野進	6… 17(1069)— 58(1110)
—A. ガーシエンクロンと A. マーシャルそして日本の経済発展への適用とその限界—		
外国為替について……………	岩田勝雄	6… 59(1111)— 78(1130)
研究		
世界市場における価値法則と国際価値論(Ⅱ・完)……………	杉本良雄	2… 73(253)— 94(274)
—木下悦二教授の所説の検討—		
「福祉国家」の危機と社会保障政策の転換……………	横山寿一	3… 55(393)— 74(412)
独占的商業資本の運動形態……………	西原誠司	3… 75(413)—100(438)
研究ノート		
T. ギルバートの救貧法改革論(1781年)について……………	上掛利博	3…101(439)—130(468)
資料		
日本資本主義確立期の資本家名簿(9)……………	後藤靖	1… 91(91)—125(125)
日本資本主義確立期の資本家名簿(10)……………	後藤靖	2… 95(275)—130(310)
日本資本主義確立期の資本家名簿(11)……………	後藤靖	3…131(469)—161(499)
紹介		
Richard F. Kahn 『Keynes 「一般理論」 への 道程』(1)……………	磯部智也	1…126(126)—165(165)
Richard F. Kahn 『Keynes 「一般理論」 への 道程』(2)……………	磯部智也	2…131(311)—156(336)
Richard F. Kahn 『Keynes 「一般理論」 への 道程』(3)……………	磯部智也	6… 79(1131)—114(1166)
書評		
藤岡惇著『アメリカ南部の変貌——地主制の構造変化と 民衆——』……………	宮野啓二	3…162(500)—170(508)
海外留学記		
パリの变貌——二十年ののち——……………	奥村功	1…166(166)—180(180)
塩田庄兵衛教授退任記念号		
社会・労働運動を学んで40年……………	塩田庄兵衛	4…210(720)—226(736)
塩田庄兵衛教授略歴・主要著作目録……………		4…227(737)—240(750)
関彌三郎教授退任記念号		
日本の統計と社会統計学……………	関彌三郎	5…291(1041)—297(1047)
関彌三郎教授略歴・主要著作目録……………		5…298(1048)—301(1051)
共同研究室		
1986年度第1回研究会		
「日米経済のマクロ計量モデル分析」……………	稲葉和夫	2…157(337)—157(337)
1986年度第2回研究会		
「戦間期の日本帝国主義と『満州』」……………	松野周治	2…157(337)—157(337)
—いくつかの数値をもとに—		

1986年度第3回研究会		
「貿易パターンの理論的分析」……………阿 部 顕 三	2…157(337)—157(337)	
1986年度第4回研究会		
「あるカリフォルニア作家の全体像を追って」……………辻 井 榮 滋	2…157(337)—157(337)	
1986年度第5回研究会		
「放射線と人類——自然放射線, 人工放射線利用, 原発, そして核戦争——」……………安 齋 育 郎	2…157(337)—157(337)	
1986年度第6回研究会		
「独占的商業資本の運動形態について」……………西 原 誠 司	3…171(509)—171(509)	
1986年度第7回研究会		
「アメリカ暮らし」……………日 高 正 好	6…115(1167)—115(1167)	
1986年度第8回研究会		
「労働『改革』をめぐる理論状況」……………三 好 正 巳	6…115(1167)—115(1167)	
1986年度第9回研究会		
「生活様式の経済理論に向けて」……………角 田 修 一	6…115(1167)—115(1167)	
1986年度第10回研究会		
「戦後スポーツ史の展開とスポーツ科学研究の 推移」……………山 下 高 行	6…115(1167)—115(1167)	
1986年度第11回研究会		
「アメリカ経済とSDI」……………藤 岡 惇	6…115(1167)—117(1169)	
本年度会員業績……………	6…117(1169)—121(1173)	

立命館経済学 第36巻総目次（1987年度）

	号	ページ(通巻)
論 説		
貨幣・貨幣資本・現実資本の運動法則……………小 牧 聖 徳	1…	1(1)— 19(19)
——最近日本資本主義の動向——		
1880年代の階級構成(1)……………後 藤 靖	1…	20(20)— 62(62)
地域経済をめぐる理論的諸問題……………杉 野 罔 明	1…	63(63)— 95(95)
Natural Resources Evaluation and the Labour		
Theory of Value……………Stanislaw Sitnicki	1…	96(96)—118(118)
自由主義価値規範への2つの対応としての		
「ポスト・モダン」と新自由主義……………大 西 広	2…	1(167)— 56(222)
1880年代の階級構成(2)……………後 藤 靖	2…	57(223)— 77(243)
三月前期のプロイセンにおける「社会問題」と		
社会政策および中間層政策の展開(六)……………川 本 和 良	2…	78(244)— 95(261)
私的所有の発展とアジア的生産様式の崩壊過程……………杉 野 罔 明	2…	96(262)—118(284)
——アジア的生産様式に関する理論的研究(四)——		
新しい企業理論のパラダイムに向けて……………小 野 進	3…	1(319)— 57(375)
——日本企業の企業行動の特質の概念化への準備——		
三月前期のプロイセンにおける「社会問題」の		
社会政策および中間層政策の展開(七)……………川 本 和 良	3…	58(376)— 77(395)
発展途上国の経済成長と世界計量マクロモデル……………本 田 豊	3…	78(396)—101(419)
代替的な数量モデル研究の経過と展望……………大 西 広	3…	102(420)—127(445)
Towards A Global History of Political Economy in		
Economic Thought……………James F. Becker	3…	128(446)—154(472)
軍拡と軍縮の経済学構築についての批判的一試論……………鷺 見 友好	4・5…	3(507)— 21(525)
税制改革とコモン・ストック……………池 上 惇	4・5…	22(526)— 43(547)
加藤教授の租税理論……………内 山 昭	4・5…	44(548)— 77(581)
ECのテレビ政策……………清 水 貞 俊	4・5…	78(582)— 97(601)
——共同市場の完成に向けて——		
三月前期のプロイセンにおける「農民解放」による		
農村社会制度の変化とその政治的作用……………川 本 和 良	4・5…	98(602)—123(627)
——三月前期のプロイセンにおける「社会問題」と社会政策および中間層政策の展開(八)——		
西ドイツ経済・財政政策論理の特徴……………坂 野 光 俊	4・5…	124(628)—155(659)
市場調整的生産価格と虚偽の社会的価値……………杉 野 罔 明	4・5…	156(660)—190(694)
国際的経済関係の諸概念について……………岩 田 勝 雄	4・5…	191(695)—207(711)
杉本昭七教授の危機把握の方法について……………田 中 宏 道	4・5…	208(712)—237(741)

日本企業の海外直接投資と貿易収支……………	稲 葉 和 夫	4・5…238(742)—267(771)
アダム・スミスの「天文学史」と「科学」の方法……………	大 西 広	4・5…268(772)—292(796)
大都市圏京都の地域構造分析(上)……………	三 好 正 巳	6… 1(817)— 20(836)
三月前期のプロイセンにおける「社会問題」と 社会政策および中間層政策の展開(九)……………	川 本 和 良	6… 21(837)— 52(868)
解放後における中国農業発展の道……………	王 振 鎖	6… 53(869)— 68(884)
——中日両国農業比較の視点から——		

研 究

資本の破壊と貨幣・信用恐慌……………	竹 味 能 成	1…119(119)—132(132)
“構造転換”への西ドイツ労働組合の対応……………	布 川 日 佐 史	2…119(285)—151(317)
財政投融资概念の検討……………	梅 原 英 治	3…155(473)—185(503)
世界労働論争……………	杉 本 良 雄	6… 69(885)— 89(905)
——国際価値論の一論点——		

Keynes 理論におけるクラウドディング・アウトの

可能性……………	磯 部 智 也	6… 90(906)—110(926)
——銀行組織の資産運用制約——		

紹 介

Richard F. Kahn 「Keynes 「一般理論」 への

道程」(4)……………	磯 部 智 也	1…133(133)—160(160)
-------------	---------	---------------------

学位論文審査報告

塩田庄兵衛『戦後日本の社会運動』……………		1…161(161)—165(165)
内山昭『大型間接税の経済学』……………		6…111(927)—119(935)
三富紀敬『フランスの不安定労働改革』……………		6…120(936)—125(941)

加藤睦夫教授退任記念号

大学生活40年を振り返って……………	加 藤 睦 夫	4・5…293(797)—306(810)
加藤睦夫教授略歴・主要著作目録……………		4・5…307(811)—312(816)

共同研究室

1987年度第1回共同研究会

「経済改革と社会主義の原理」……………	Stanislaw Sitnicki	2…152(318)—152(318)
---------------------	-----------------------	---------------------

1987年度第2回共同研究会

「言語の普遍性について——英語, 日本語, アメリカ・インディアン語——」……………	三 宅 正 隆	2…152(318)—152(318)
---	---------	---------------------

1987年度第3回共同研究会

「経済現象の量的把握——マルクス経済学と 近代経済学の関連——」……………	小 牧 聖 徳	3…186(504)—186(504)
--	---------	---------------------

1987年度第4回共同研究会

「Keynes の Finance, 投資および貯蓄」……………	磯 部 智 也	3…186(504)—186(504)
「“構造転換”への西ドイツ労働組合の対応」……………	布 川 日 佐 史	3…186(504)—186(504)

1987年度第5回共同研究会

「ECのテレビ政策——共同市場の完成に

向けて——」……………清水 貞 俊 6…126(942)—126(942)

1987年度第6回共同研究会

「我が国の最近のイノベーション論について」……………濱 崎 正 規

6…126(942)—126(942)

1987年度第7回共同研究会

「アメリカ合衆国におけるマルクス主義研究の

現状について」……………James F. Becker 6…126(942)—126(942)

1987年度第8回共同研究会

「東ドイツの金融」……………Klaus Kolloch

6…126(942)—126(942)

1987年度第9回共同研究会

「杉本昭七教授の危機把握の方法について」……………田 中 宏 道

6…126(942)—126(942)

1987年度第10回共同研究会

「ケインズをかりたてたものは何か

——ケインズ主義の形成についての見解——」……………松 川 周 二 6…126(942)—126(942)

1987年度第11回共同研究会

「半導体産業の寡占体制」……………肥 塚 浩

6…126(942)—127(943)

「国際的労働力移動について」……………茶 谷 淳 一

6…127(943)—127(943)

1987年度第12回共同研究会

「不換国際通貨ドルの規定をめぐる」……………野 村 俊 郎

6…127(943)—127(943)

本年度会員業績……………6…127(943)—130(946)

立命館経済学 第37巻総目次(1988年度)

論 説	号	ページ(通巻)
準市場経済(quasi-market economy)と市場経済……………小野進	1…	1(1)—44(44)
——「準市場経済(quasi-market economy)の経済学」の定立と関連して——		
大都市圏京都の地域構造分析(下)……………三好正巳	1…	45(45)—68(68)
製造業における労働費用構成の推移……………川崎誠一	2…	1(139)—40(178)
——計測方法と各労働費用の基本動向——		
増加率の逐次寄与度分解法……………関彌三郎	2…	41(179)—77(215)
——失業率の差の寄与度分解を例として——		
現代資本主義の展開と国家……………小牧聖徳	3…	1(261)—20(280)
——購買者・投融資者としての活動を中心として——		
昭和50年代以降の貨幣需要関数……………平田純一	3…	21(281)—69(329)
——四半期データによる実証分析——		
The History of the Regional Industrial Economy of		
North East England……………若林洋夫	3…	70(330)—96(356)
婦人問題の基礎資料の統計的研究……………坂寄俊雄	4・5…	3(387)—20(404)
——人口構造の変化のもとでの高齢化の進展——		
貧困化と主体形成に関する覚書……………高木督夫	4・5…	21(405)—45(429)
国立病院・療養所の再編成・「合理化」と		
労働組合運動……………原嘉彦	4・5…	46(430)—68(452)
華族世襲財産の設定状況について……………後藤靖	4・5…	69(453)—102(486)
労働基準再論……………三好正巳	4・5…	103(487)—124(508)
1980年代西ドイツの税制改革……………坂野光俊	4・5…	125(509)—159(543)
「経済改革」と社会主義的所有論……………芦田文夫	4・5…	160(544)—203(587)
地域経済理論の体系と方法……………杉野囿明	4・5…	204(588)—239(623)
世界市場論の方法について……………岩田勝雄	4・5…	240(624)—263(647)
1975年以降の日本経済の構造変化……………本田豊	4・5…	264(648)—282(666)
関税改革と厚生……………阿部顕三	4・5…	283(667)—302(686)
北原勇教授の危機把握の方法について……………田中宏道	6…	1(787)—40(826)
Coal Monopoly (The Limitation of the Vend) in		
North East England, During the Period		
of Formation of British Industrial Capitalism……………若林洋夫	6…	41(827)—64(850)
研 究		
国際的労働力移動について……………茶谷淳一	1…	69(69)—89(89)

半導体産業の寡占体制(上)……………	肥塚 浩	1… 90(90)—113(113)
——競争的寡占体制分析——		
半導体産業の寡占体制(下)……………	肥塚 浩	2… 78(216)—108(246)
——競争的寡占体制分析——		
不換ドルの貨幣・信用論的意味……………	野村 俊郎	3… 97(357)—123(383)
地域社会構造と交通需要の類型分析……………	森田 優己	6… 65(851)—94(880)
——愛知県を例として——		
J. M. Keynes『貨幣論』の銀行行動……………	磯部 智也	6… 95(881)—109(895)
——景気循環と銀行組織——		
研究ノート		
筑波研究学園都市における交通の現状と問題点……………	杉野 囿明	1…114(114)—138(138)
階級・階層視点による政策提起とその限界性……………	大西 広	2…109(247)—121(259)
翻訳		
解学詩「鞍山製鉄所の変遷」(1)……………	松野 周治	6…110(896)—131(917)
その他		
戸木田嘉久教授退任記念論文集の刊行にさいして……………	川本 和良	4・5… 1(385)—2(386)
私の戦後史……………	戸木田 嘉久	4・5…303(687)—336(720)
——労働運動と私の経済学研究——		
戸木田嘉久教授の略歴と著作目録……………		4・5…337(721)—401(785)
共同研究室		
1988年度第1回研究会		
「W. A. ルイスの交易条件論」……………	西口 清勝	2…122(260)—122(260)
1988年度第2回研究会		
「マクロ計量経済モデルをめぐって」……………	平田 純一	2…122(260)—122(260)
1988年度第3回研究会		
「英国留学報告」……………	若林 洋夫	2…122(260)—122(260)
——英国病, 地域開発, 及びサッチャリズム——		
1988年度第4回研究会		
「地方財政対策の最近の特徴」……………	浅田 和史	3…124(384)—124(384)
——地方交付税制度見直し論をめぐって——		
1988年度第5回研究会		
「英国社会主義思想の近況」……………	小檜山 政克	6…132(918)—132(918)
1988年度第6回研究会		
「ゲール語の言語政策の現状」……………	芝田 征二	6…132(918)—132(918)
1988年度第7回研究会		
「アメリカ鉄鋼業一瞥」……………	甲賀 光秀	6…132(918)—132(918)

1988年度第8回研究会

「利潤率低下法則における『外観上の矛盾』に

ついて」……………増 田 和 夫 6…132(918)—132(918)

「経済変動と銀行行動」……………磯 部 智 也 6…132(918)—132(918)

1988年度第9回研究会

「国際通貨ドルが不換であることの意味」……………野 村 俊 郎 6…132(918)—132(918)

——従来の諸学説の検討——

「戦後日本貿易の再編」……………茶 谷 淳 一 6…132(918)—132(918)

——輸出入の数量分析をつうじて——

本年度会員業績…………… 6…132(918)—136(922)

立命館経済学 第38巻総目次（1989年度）

論 説	号	ページ(通巻)
沖縄漁業をめぐる経済的諸問題……………杉野 罔 明	1…	1(1)— 33(33)
為替レート決定における相対価格水準の影響……………平田 純 一	1…	34(34)— 55(55)
——円対ドル為替レートの実証分析——		
産業合理化の現段階と労働組合……………三好 正 巳	2…	1(137)— 28(164)
——労働関係, 労働基準, 労使関係の理論的枠組みのための試論——		
大分県しいたけ生産の現状と問題点……………岩田 勝 雄	2…	29(165)— 46(182)
現代の産業構成と労働価値論……………小檜 山 政 克	3…	1(267)— 16(282)
産業合理化の現段階と労働組合(2)……………三好 正 巳	3…	17(283)— 40(396)
——労働関係, 労働基準, 労使関係の理論的枠組みのための試論——		
世界システムと生産システム……………坂本 和 一	3…	41(307)— 83(349)
——一つの問題状況——		
リカード課税転嫁説……………堂目 卓 生	3…	84(350)—103(369)
——スラフファ体系による再考察——		
江戸期貨幣制度の一考察……………三上 隆 三	4・5…	3(373)— 26(396)
日本経済の「構造調整」と財政投融资……………梅原 英 治	4・5…	27(397)— 67(437)
——対米ファイナンス問題を中心に——		
近代天皇制と労働行政……………三好 正 巳	4・5…	68(438)— 82(452)
現代世界経済と社会主義貿易……………岩田 勝 雄	4・5…	83(453)—111(481)
1980年代におけるマネーサプライ		
管理政策の有効性について……………河野 快 晴	4・5…	112(482)—138(508)
わが国の賃金弾力化と資本蓄積……………横山 政 敏	4・5…	139(509)—177(547)
——構造調整のもとでのわが国の賃金運動の特徴——		
貨幣需要関数の安定性……………平田 純 一	4・5…	178(548)—230(600)
——昭和40年代と50年代との対比を中心に——		
米加自由貿易協定とカナダ農業……………松原 豊 彦	4・5…	231(601)—258(628)
新経済政策(NEP)後の		
マレーシア経済の展望……………西口 清 勝	6…	1(655)— 14(668)
——マレーシア経済学会第10回大会での研究報告の検討——		
公共部門と貿易構造……………阿部 顕 三	6…	15(669)— 36(690)
研 究		
戦後日本の鉄鋼貿易について……………茶谷 淳 一	1…	56(56)— 82(82)
——輸出入数量分析を中心として——		

利潤率低下法則における

「外観上の矛盾」について……………増 田 和 夫 1… 83(83)—111(111)
 ——低下法則と恐慌の関連——

ドル体制下における世界貨幣法則の貫徹形態……………野 村 俊 郎 2… 47(183)— 75(211)
 ——労働価値論の今日的妥当性に関する一考察——

中国産業連関表による価格体系分析……………李 潔 2… 76(212)—106(242)

利潤率低下と利潤量増大の

「二面的法則」と恐慌論……………増 田 和 夫 6… 37(691)— 64(718)
 ——J. S. ミルの利潤率低下論をとおして——

産業組織のグローバリゼーション……………肥 塚 浩 6… 65(719)— 89(743)

翻 訳

解学詩「鞍山製鉄所の変遷」(2)……………松 野 周 治 1…112(112)—135(135)

下請取引の分析……………川 崎 誠 一 2…107(243)—128(264)
 ——プリンシパル・エイジエント理論からの接近——

そ の 他

小牧聖徳教授退任記念論文集の刊行にさいして……………松 野 昭 二 4・5… 1(371)— 2(372)

経済学新造語と私……………小 牧 聖 徳 4・5…259(629)—279(649)

小牧聖徳教授の略歴と著作目録……………4・5…280(650)—283(653)

共同研究室

1989年度第1回研究会

「利潤率低下と利潤率増大の『二面的法則』に
 ついて」……………増 田 和 夫 3…104(370)—104(370)
 ——J. S. ミルの利潤率低下論をとおして——

1989年度第2回研究会

「80年代カナダの農業問題」……………松 原 豊 彦 3…104(370)—104(370)

1989年度第3回研究会

「シスモンディ経済表の理論的分析」……………堂 目 卓 生 3…104(370)—104(370)

1989年度第4回研究会

「Keynes 派の国際通貨体制論とその理論」……………磯 部 智 也 3…104(370)—104(370)

1989年度第5回研究会

「構造調整と賃金のフレキシビリティ」……………横 山 政 敏 6… 91(747)— 91(747)

1989年度第6回研究会

「現代の産業構成と労働価値論」……………小 檜 山 政 克 6… 91(747)— 91(747)

1989年度第7回共同研究会

「産業組織のグローバリゼーション」……………肥 塚 浩 6… 91(747)— 91(747)

「実感的ペレストロイカ論」……………奥 村 剋 三 6… 91(747)— 91(747)
 ——ソ連・ポーランドに留学して——

1989年度第8回研究会

- 「社会主義諸国の『経済改革』と『政治改革』」……芦田文夫 6… 91(747)— 91(747)
 ——ソ連・ポーランドの留学報告——

1989年度第9回研究会

- 「New Trends in Economic Development &
 Management Restructuring」……Mikhail V. Grachev 6… 91(747)— 91(747)

1989年度第10回研究会

- 「ケネディ減税の特徴」……飯野公央 6… 91(747)— 91(747)
 「Allan, H. Meltzer の Keynes 解釈の検討」……磯部智也 6… 91(747)— 91(747)

1989年度第11回研究会

- 「利潤率低下法則と固定資本」……増田和夫 6… 92(748)— 92(748)
 ——経済のストック化によせて——
 「社会的分業の発展からみた現代の
 サービス産業についての一考察」……長岡弘樹 6… 92(748)— 92(748)
 本年度会員業績…… 6… 92(748)— 97(753)

立命館経済学 第39巻総目次 (1990年度)

論 説	号	ページ(通巻)
いわゆるパリ・ノートと		
『経済学・哲学草稿』について……………岡 崎 栄 松	1…	1(1)― 55(55)
——「ラービン論文」公表以前を中心として——		
展望：リカード的成長モデルの諸形態……………堂 目 卓 生	1…	56(56)― 86(86)
準市場経済 (Quasi Market Economy)		
とヘクシャー=オリーン・モデルの限界(下)……………小 野 進	1…	87(87)―131(131)
サービス労働・商業労働の価値形成性……………小 檜 山 政 克	2…	1(161)― 28(188)
——『資本論』の批判的分析——		
流動性選好は危険回避の為か……………平 田 純 一	2…	29(189)― 55(215)
——3資産モデルによる分析——		
航空宇宙産業の国際的再編について……………大 西 広	2…	56(216)― 72(232)
地域経済学体系に関する一考察……………杉 野 圀 明	3…	1(261)― 16(276)
——宮本憲一氏の地域経済学体系批判——		
アメリカ南部の農業革命 (1933年～1980年) ……藤 岡 惇	3…	17(277)― 48(308)
——その世界的意味		
CHOW テストによる日本経済の構造変化分析 ……本 田 豊	3…	49(309)― 73(333)
「社会主義」におけるフィリップス曲線と		
「スタグフレーション過程」……………大 西 広	3…	74(334)― 83(343)
「三月革命」と官僚政治の相対的自立性の維持		
【選挙法と五月選挙】 ……川 本 和 良	4…	1(373)― 25(397)
——三月前期のプロイセンにおける「社会問題」と社会政策および中間層政策の展開(10)——		
米国南部の工業化のメカニズム……………藤 岡 惇	4…	26(398)― 58(430)
産業別日本経済マクロ計量モデルの計測……………稲 葉 和 夫 森 川 浩 一	4…	59(431)― 85(457)
ドイツ三月革命期における葉巻労働者の運動……………山 井 敏 章	4…	86(458)―113(485)
——生産協同組合の問題を中心に——(上)		
幕末維新期の山城茶業……………石 井 寛 治	5…	5(493)― 33(521)
——在来産業と日本近代化——		
明治44年(1911)市制町村制改正と		
地方改良運動……………山 中 永 之 佑	5…	34(522)― 93(581)
——大阪市を事例とする考察——		
東芝コンツェルンの成立と軍需……………下 谷 政 弘	5…	94(582)―133(621)
アメリカ大企業体制と「ジャパナイゼーション」……………塩 見 治 人	5…	134(622)―161(649)

- 19世紀末フランス・ナショナリズムの境位……………中 谷 猛 5…162(650)—213(701)
 ——ブレ・ファシズム思想の視覚から——
- 「三月革命」と官僚政治の相対的自立性の維持
 [革命期における憲法制定過程]……………川 本 和 良 5…214(702)—243(731)
 ——三月前期のプロイセンにおける「社会問題」と社会政策および中間層政策の展開(1)——
- 近代天皇制と社会政策体系……………三 好 正 巳 5…244(732)—267(755)
 現代イギリス地域政策の段階と特質(1)……………若 林 洋 夫 5…268(756)—295(783)
 軍産複合体と地域開発
 ——米国南部の場合……………藤 岡 惇 5…296(784)—328(816)
 産業革命期におけるケムニッツ機械工業
 の発展と労働者の状態……………山 井 敏 章 5…329(817)—358(846)
 ——1860年代ドイツの労働者運動と生産協同組合(1)——
- ヒルファディングの創業者利得論……………森 岡 孝 二 6… 5(877)— 32(904)
 ——拙論への批判にこたえて——
- 国家社会主義と協同社会主義……………大 野 節 夫 6… 33(905)— 57(929)
 啓蒙専制と移行問題……………今 井 光 太 郎 6… 58(930)— 80(952)
 フレキシブル・スペシャライゼーション論と
 ポスト・フォーディズム……………篠 田 武 司 6… 81(953)—101(974)
 いわゆるラーピン論文とその公表直後の波紋……………岡 崎 栄 松 6…103(975)—149(1021)
 ——執筆順序の問題を中心として——
- 現存社会主義と「市場経済化」論……………芦 田 文 夫 6…150(1022)—188(1060)
 地域経済分析の基本視点について……………杉 野 暁 明 6…189(1061)—223(1095)
 マルクスの「自動機械体系」とFMS……………高 木 彰 6…224(1096)—253(1125)
 国家独占資本主義論における独占資本の
 構造把握について……………田 中 宏 道 6…254(1126)—287(1159)
 J. Roemer の搾取論……………甲 賀 光 秀 6…288(1160)—321(1193)
 ヘーゲル生命論と初期マルクス……………角 田 修 一 6…322(1194)—349(1221)
- 研 究**
- ケネディ政権下の税制改革……………飯 野 公 央 1…132(132)—153(153)
 ——その背景と政策意図——
- 戦後日本の貿易分析について……………茶 谷 淳 一 2… 73(233)— 98(258)
 利潤率低下法則と固定資本……………増 田 和 夫 3… 84(344)—112(373)
 ——マルクス『経済学批判要綱』を中心にして——
- そ の 他**
- 後藤 靖教授退任記念論文集の刊行にあたって……………三 好 正 巳 5… 1(489)— 3(491)
 退任記念講義『近代天皇制研究の現段階と問題点』…後 藤 靖 5…359(847)—374(862)
 後藤 靖教授の略歴と著作目録…………… 5…375(863)—383(871)
 小檜山政克教授退任記念論文集の刊行にあたって……………三 好 正 巳 6… 1(873)— 3(875)

退任記念講義『社会主義思想の命運』……………小 檜 山 政 克	6…350(1222)—373(1245)
小檜山政克教授の略歴と著作目録……………	6…374(1246)—378(1250)
学位論文審査報告	
伍賀一道『現代資本主義と不安定就業問題』……………	1…154(154)—160(160)
共同研究室	
1990年度第1回研究会	
「ポーランドにおける経済発展」……………ヘンリク・ホワイト	2… 99(259)— 99(259)
1990年度第2回研究会	
「パリ・ノート」と『経済学・哲学草稿』に ついて……………岡 崎 栄 松	2… 99(259)— 99(259)
——「ラーピン論文」以前の状況を中心として——	
1990年度第3回研究会	
「ドイツ労働者階級の形成についての一考察」……………山 井 敏 章	2… 99(259)— 99(259)
——初期労働者運動の担い手をめぐって——	
1990年度第4回研究会	
「レーガン軍拡の経済的インパクト」……………藤 岡 惇	2… 99(259)— 99(259)
1990年度第5回研究会	
「生産力の歴史的な性格について」……………大 西 広	2… 99(259)— 99(259)
——制度・市場及びマルクス——	
1990年度第6回研究会	
「恐慌にいたる資本の諸契機」……………増 田 和 夫	2… 99(259)— 99(259)
「エレクトロニクス巨大企業における半導体事業」…肥 塚 浩	2… 99(259)— 99(259)
「ソ連ベレストロイカにおける賃金論」……………塚 田 雅 幸	2…100(260)—100(260)
1990年度第7回研究会	
「時の産業構造調整とトレンド」……………王 偉 軍	4…114(488)—114(488)
1990年度第8回研究会	
「マルクスの『自動機械体系』とFMS」……………高 木 彰	4…114(488)—114(488)
1990年度第9回研究会	
「ペンシルバニア大学におけるプロジェクト リンク研究」……………稲 葉 和 夫	
4…114(488)—114(114)	
1990年度第10回研究会	
「1980年代韓国貿易構造分析」……………裴 光 雄	4…114(488)—114(488)
光産業の形成史的な分析……………鄭 致 福	4…114(488)—114(488)
1990年度第11回研究会	
「英国南部経済と日系企業」……………山 田 彌	4…115(489)—115(489)
1990年度第12回研究会	
「Labor Productivity and Market competition in Japan」……………山 田 哲 司	
4…115(489)—115(489)	

1990年度第13回研究会

「近代天皇制研究の現状と問題点」……………後藤 靖	4…115(489)—115(489)
本年度会員業績……………	6…379(1251)—388(1260)

立命館経済学 第40巻総目次 (1991年度)

論 説	号	ページ(通巻)
不確実性の経済理論：覚書と展望(1)……………鈴木 登	1… 1(1)―	27(27)
——情報化社会における基底と位相を探って——		
投下労働量・労働生産性・		
労働交換率の測定……………山 田 彌	1… 28(28)―	67(67)
——産業関連データによる日米経済の比較分析——		
Personal Saving, Labor Force Participation		
and Social Security Retirement Benefits in Japan…山 田 哲 司	1… 68(68)―	90(90)
現代日本の対外経済関係分析についての覚え書き……………岩 田 勝 雄	2… 1(147)―	27(173)
ドイツ三月革命期における業巻労働者の運動(下)……………山 井 敏 章	2… 28(174)―	58(204)
——生産協同組合の問題を中心に——		
カナダの農産物マーケティング・ボード……………松 原 豊 彦	2… 59(205)―	90(236)
——その現状と課題——		
コンピュータ産業の形成……………坂 本 和 一	3… 1(315)―	51(365)
——世界コンピュータ産業史 (I : 1950年代～60年代) ——		
労働と人間 (I)……………高 木 彰	3… 52(366)―	89(403)
——マルクス『経済学・哲学草稿』(1844年)の検討を中心に——		
A Note on the Comparative Advantage		
under Monopoly……………阿 部 顕 三	3… 90(404)―	96(410)
三月前期のプロイセンにおける「社会問題」		
と社会政策および中間層政策の展開(12)……………川 本 和 良	4… 1(437)―	43(479)
IC時代のコンピュータ産業……………坂 本 和 一	4… 44(481)―	84(520)
——世界コンピュータ産業史 (II : 1960年代後半) ——		
井上・宇佐美教授の国家独占資本主義論		
における危機把握の方法について……………田 中 宏 道	4… 85(521)―	118(554)
現代イギリス地域政策の段階と特質(2)……………若 林 洋 夫	4… 119(555)―	145(581)
現代世界経済と先進資本主義諸国経済関係……………岩 田 勝 雄	5… 1(635)―	23(657)
LSI時代のコンピュータ産業……………坂 本 和 一	5… 24(658)―	77(711)
——世界コンピュータ産業史 (III : 1970年代) ——		
ケムニッツの労働者運動と		
ドイツ機械製造工カンパニー (1963—67年) (上)…山 井 敏 章	5… 78(712)―	110(744)
——1860年代ドイツの労働者運動と生産協同組合(2)——		
電機産業における競争形態の研究(その1)……………田 中 宏 道	6… 1(819)―	28(846)
——電機産業研究の現状——		

- 労働と人間(Ⅱ)……………高木 彰 6… 29(847)—76(894)
 ——マルクス『経済学・哲学草稿』（1844年）の検討を中心に——
 現代イギリス地域政策の段階と特質(3)……………若林 洋夫 6… 77(895)—109(927)
 ケムニッツの労働者運動とドイツ機械製造工
 カンパニー（1863—67年）(下)……………山井 敏章 6… 110(928)—141(959)
 ——1860年代ドイツの労働者運動と生産協同組合(3)——

研 究

現代の「サービス諸部門」の性格規定の

- ための一考察……………長岡 弘樹 1… 91(91)—114(114)
 エレクトロニクス巨大企業における半導体事業……………肥塚 浩 1… 115(115)—137(137)
 光産業の構造と基軸製品の生成……………鄭致福 2… 91(237)—121(267)
 ——光産業形成史Ⅰ——
 1980年代韓国貿易構造分析……………裴光雄 2… 122(268)—148(294)
 中国における資金循環分析手法の展望……………張南 3… 97(411)—121(435)
 世界半導体市場における競争・独占
 および国際価格形成……………杉本 良雄 4… 146(582)—171(607)
 半導体企業の研究開発体制……………肥塚 浩 4… 172(608)—195(631)
 初期マルクスにおける論理と歴史……………山田 祥夫 5… 111(745)—137(771)
 ——貨幣把握の特殊性とかわって——
 79～87年Ⅰ—Ⅱ表による中国価格体系の実証分析……………李 潔 5… 138(772)—155(789)
 地域的不均等発展論の系譜と問題点……………泉俊弘 5… 156(790)—183(817)
 恐慌にいたる資本の諸契機について……………増田 和夫 6… 142(961)—164(982)
 ——利潤率低下法則の内的諸能因——
 光ファイバ市場における日本企業の競争戦略……………鄭致福 6… 165(983)—185(1003)
 ——光産業形成史Ⅱ——

1989～1990年度経済学部プロジェクト研究報告…………… 2… 149(295)—167(313)

学位論文審査報告

中村平八『発展途上社会主義の研究』…………… 1… 138(138)—146(146)

共同研究室

- 共同研究会…………… 4… 196(632)—197(633)
 共同研究会…………… 6… 186(1004)—186(1004)
 91年度会員業績…………… 6… 186(1004)—188(1006)

立命館経済学 第41巻総目次 (1992年度)

論 説	号	ページ(通巻)
初期マルクスの自然価格・市場価格論……………岡 崎 栄 松	1 …	1 (1) — 22 (22)
——「スミス抜粋第一ノート」を中心として——		
コース／ウィリアムソン型企業組織モデルの検討……………坂 本 和 一	1 …	23 (23) — 63 (63)
——The Theory of the Firm から The Theory of the Enterprise へ——		
アフリカ・ラテンアメリカの債務問題調整下 の経済成長の可能性について……………本 田 豊	1 …	64 (64) — 115 (115)
超 LSI 時代のコンピュータ産業(1)……………坂 本 和 一	2 …	1 (163) — 35 (197)
——世界コンピュータ産業史(Ⅳ:1980年代—その1)——		
第1部門の不均等発展と「蓄積体制」(Ⅰ)……………高 木 彰	2 …	36 (198) — 66 (228)
——M. アグリエッタの所説の検討を中心に——		
復帰後20年の沖縄経済と第3次振興開発計画……………岩 田 勝 雄	3 …	1 (271) — 21 (291)
現代カナダの食品産業とアグリビジネス企業……………松 原 豊 彦	3 …	22 (292) — 51 (321)
——米加自由貿易協定下の再編動向を中心に——		
金融の証券化と銀行の将来像……………福 光 寛	4 …	1 (383) — 13 (395)
——コアバンク論について——		
初期マルクスの自然価格・市場価格論(つづきⅠ)……………岡 崎 栄 松	4 …	14 (396) — 38 (420)
——『経済学・哲学草稿』「第一草稿」を中心に——		
電機産業における競争形態の研究(その2)……………田 中 宏 道	4 …	39 (421) — 71 (453)
——主要電機企業の事業の変遷と競争形態——		
現代イギリス地域政策の段階と特質(4)……………若 林 洋 夫	4 …	72 (454) — 87 (469)
「協調ゲーム論」型企業組織モデル (青木モデル)の検討……………坂 本 和 一	5 …	13 (515) — 51 (553)
沖縄の「国際化」と外国貿易……………岩 田 勝 雄	5 …	52 (554) — 82 (584)
日本企業の海外事業活動と貿易効果……………稲 葉 和 夫	5 …	83 (585) — 106 (608)
現代イギリス地域政策の段階と特質(5)……………若 林 洋 夫	5 …	107 (609) — 151 (653)
90年代日本の国土・環境問題……………奥 地 正	6 …	1 (697) — 21 (717)
FMS の生成と展開(Ⅰ)……………高 木 彰	6 …	22 (718) — 47 (743)
景気停滞と技術革新……………本 田 豊	6 …	48 (744) — 69 (765)
初期マルクスの自然価格・市場価格論(つづきⅡ)……………岡 崎 栄 松	6 …	70 (766) — 96 (792)
——『経済学・哲学草稿』「第一草稿」を中心に——		
研究ノート		
生活様式論研究における若干の問題点……………高 木 彰	3 …	52 (322) — 77 (347)
——角田修一氏の所説に関連して——		

研究

日本半導体製造装置産業の分析……………	肥 塚 浩	1 … 116 (116) — 142 (142)
中国エネルギーのボトルネック解消と物価上昇……………	李 潔	2 … 67 (229) — 86 (248)
——エネルギー価格引上げによる物価への波及効果の計測——		
多国籍企業段階の税制改革……………	飯 野 公 央	3 … 78 (348) — 94 (364)
——1960年代はじめの合衆国を例に——		
「地域的不均等発展」の基本的構造……………	泉 俊 弘	4 … 88 (470) — 111 (493)
資本主義における生産方法の今日の特徴(上)……………	丹 下 晴 喜	6 … 97 (793) — 125 (821)
価値実体論に関する一考察……………	山 田 祥 夫	6 … 126 (822) — 145 (841)

翻 訳

ルドルフ=ボッホ「ツンフトの伝統と初期労働組合運 動——始まりつつある論争によせて——」(上)……………	山 井 敏 章	2 … 87 (249) — 108 (270)
ルドルフ=ボッホ「ツンフトの伝統と初期労働組合運 動——始まりつつある論争によせて——」(下)……………	山 井 敏 章	3 … 95 (365) — 111 (381)

学位論文審査報告

関弥三郎「寄与度・寄与率の理論と応用」……………	1 … 143 (143) — 147 (147)
田坂敏雄「タイ農民層分解の研究」……………	1 … 148 (148) — 153 (153)
松川周二「ケインズの経済学——その形成と展開——」……………	1 … 154 (154) — 162 (162)
上野俊樹『アルチュセールとプーランツァス』……………	4 … 112 (494) — 119 (501)
1991年度経済学部プロジェクト研究報告 ……………	6 … 146 (842) — 150 (846)

故馬原鉄男教授追悼号

故馬原鉄男先生追悼号の刊行にあたって……………	坂 野 光 俊	5 … 1 (503) — 3 (505)
-------------------------	---------	-----------------------

追 悼 講 演

部落解放理論と馬原鉄男先生……………	杉 之 原 寿 一	5 … 4 (506) — 12 (514)
--------------------	-----------	------------------------

追 悼 文

芦田文夫 岩井忠熊 戸木田嘉久 後藤 靖 真田 是……………	5 … 152 (654) — 182 (684)
古寺雅男 大藪輝雄 三好正巳 松野周治……………	
馬原鉄男教授略歴・主要著作目録……………	5 … 183 (685) — 194 (696)

共同研究室

共同研究室……………	3 … 112 (382)
共同研究室……………	6 … 151 (847)
1992年度 会員業績……………	6 … 152 (848) — 154 (850)

立命館経済学 第42巻総目次 (1993年度)

論 説	号	ページ(通巻)
CRA (地域社会再投資法) について……………福 光 寛	1 …	1 (1) — 20 (20)
定年制の離職行動への影響……………大 日 康 史 竹 廣 良 司	1 …	21 (21) — 48 (48)
超 LSI 時代のコンピュータ産業(2)……………坂 本 和 一 ——世界コンピュータ産業史(Ⅳ:1980年代—その2)——	1 …	49 (49) — 73 (73)
「組織的知識創造」型企業組織モデル (野中モデル)の検討……………坂 本 和 一 ——企業組織の「自己革新モデル」と「内外均衡同時実現モデル」を求めて——	2 …	1 (125) — 31 (155)
90年代の日本経済と東アジア経済圏……………西 口 清 勝	2 …	32 (156) — 55 (179)
E. C. 統合の経済的効果……………稲 田 義 久 ——世界モデルによる数量分析——	2 …	56 (180) — 92 (216)
クリントンの銀行政策……………福 光 寛 ——地域社会開発銀行構想の展開——	3 …	1 (253) — 30 (282)
海外直接投資行動を含む日本経済 マクロモデルのシミュレーション分析……………稲 葉 和 夫 森 川 浩 一 郎	3 …	31 (283) — 77 (329)
儒教倫理と資本主義の精神……………小 野 進	4 …	1 (393) — 102 (494)
オートメーションと労働価値論……………高 木 彰	4 …	103 (495) — 145 (537)
熊本県の国際化政策の展開……………岩 田 勝 雄	5 …	1 (599) — 20 (618)
80年代後半におけるカナダ農業の 構造変化と農民層分解……………松 原 豊 彦 ——1991年農業センサスの分析——	5 …	21 (619) — 61 (659)
Optimal Accumulation of Private and Public Capital in an Endogenous Growth Model……………二 神 考 一 森 田 雄 一 久 柴 田 章	5 …	62 (660) — 73 (671)
「情報化」と価値概念の「ゆらぎ」……………高 木 彰	6 …	1 (787) — 38 (824)
技術革新と民間設備投資……………本 田 豊	6 …	39 (825) — 51 (837)
離職率と賃金構造……………大 日 康 史 竹 田 聰 一 司 廣 良	6 …	52 (838) — 94 (880)
研 究		
光ディスク市場における競争関係……………鄭 致 福	1 …	74 (74) — 100 (100)
資本主義における生産方法の今日の特徴(下) ……丹 下 晴 喜	1 …	101 (101) — 124 (124)
移転価格税制の変遷と合衆国経済……………飯 野 公 央	2 …	93 (217) — 109 (233)
中国における対外経済戦略の転換……………王 耀 東	2 …	110 (234) — 128 (252)

韓国の経済発展における外国資本……………	裴 光 雄	3 … 78 (330) — 112 (364)
—1960・70年代を中心に—		
資本蓄積と「地域的分業」……………	泉 俊 弘	3 … 113 (365) — 139 (391)
利潤率低下法則と産業循環……………	増 田 和 夫	4 … 146 (538) — 171 (563)
—高木—逢坂論争によせて—		
貨幣の資本への転化について……………	山 田 祥 夫	4 … 172 (564) — 206 (598)
—【経済学批判要綱】と【資本論】—		
上海・浦東の開発—進展とその課題—……………	王 耀 東	5 … 74 (672) — 116 (714)
Direct Foreign Investment as a New Push		
Factor of Emigration……………	Rujhan Mustafa	5 … 117 (715) — 155 (753)
—The Case of the United States of America and Japan—		
課税ベースの選択をめぐる……………	飯 野 公 央	6 … 95 (881) — 119 (905)
経済のサービス化の要因分析……………	五 十 嵐 直 子	6 … 120 (906) — 136 (922)
書 評		
世界銀行『東アジアの奇跡		
—経済成長と公共政策』（1993年）……………	西 口 清 勝	5 … 156 (754) — 168 (766)
学位論文審査報告		
張 南「資金循環分析の理論と応用」……………		5 … 169 (767) — 179 (777)
—日中を中心とする実証分析—		
鄭 致福「光産業論—その形成史的分析—」……………		5 … 180 (778) — 187 (785)
小檜山政克「労働価値論と国民所得論」……………		6 … 137 (923) — 143 (929)
小牧 聖徳「金融経済の研究」……………		6 … 144 (930) — 149 (935)
共同研究室		
共同研究室……………		3 … 140 (392) — 140 (392)
共同研究室……………		6 … 150 (936) — 150 (936)
立命館大学経済学会セミナー……………		6 … 151 (937) — 152 (938)
1993年度会員業績……………		6 … 153 (939) — 156 (942)
立命館大学経済学会会則……………		6 … 160 (946) — 161 (947)

立命館経済学 第43巻総目次(1994年度)

論 説	号	ページ(通巻)
抗争的交換と可変資本節約の論理……………角 田 修 一	1… 1(1)― 22(22)	
——ラディカル派エコノミストの労働過程=労働市場論——		
日本の消費関数……………平 田 純 一	1… 23(23)― 49(49)	
——1955年以降の歴年データによる分析——		
環太平洋における経済成長と環境問題……………稲 田 義 久 五 十 嵐 直 子	1… 50(50)― 87(87)	
——計量モデルによる分析——		
日本の金融システム……………小 野 進	2… 1(97)― 45(141)	
——メイン・バンク制と企業との関係——		
FMSの生成と展開(Ⅱ)……………高 木 彰	2… 46(142)― 77(173)	
日本の消費関数……………平 田 純 一	2… 78(174)―109(205)	
——1955年以降の四半期データを中心とした分析——		
アンケート調査にみる日本企業の 海外直接投資動向といくつかの特徴……………本 田 豊 森 川 浩 一 郎	2…110(206)―143(239)	
欧州における最近のM & Aについて……………清 水 貞 俊	3… 3(275)― 17(289)	
ベルリントゥルネン委員会の成立と 啓蒙的プロパガンダ……………有 賀 郁 俊	3… 18(290)― 39(311)	
——1850年代ベルリンの近代化とトゥルネン協会の実態——		
Reversing Benchmarking : Japanese Management in a Stalemate?……………Enno Berndt	3… 40(312)― 56(328)	
初期マルクスの地代論……………岡 崎 栄 松	3… 57(329)― 69(341)	
——『経済学・哲学草稿』を中心として——		
わが国における近代的労働市場に関する研究……………三 好 正 巳	3… 70(342)― 99(371)	
「国家シェア」概念に関する諸問題……………坂 野 光 俊	3…100(372)―117(389)	
現代イギリス地域政策の段階と特質(6)-1……………若 林 洋 夫	3…118(390)―145(415)	
核-軍産複合体は米国経済をどう変えたか……………藤 岡 惇	3…146(418)―161(433)	
日本における戦後の経済発展とマクロ経済政策……………平 田 純 一	3…162(434)―186(458)	
ドイツ三月革命をどう捉えるか……………山 井 敏 章	3…187(459)―219(491)	
——「ブルジョア革命」論をめぐる若干の考察——		
「三月革命」と官僚および軍隊……………川 本 和 良	3…220(492)―286(558)	
——三月前期のプロイセンにおける「社会問題」と社会政策および中間層政策の展開(13)——		

銀行の社会貢献……………	福 光 寛	4… 1(587)— 15(601)
—現状と課題—		
近畿経済計量モデルの開発とその応用……………	稲 田 義 久 小 川 義 仁	4… 16(602)— 39(623)
像の彼方に在るもの……………	奥 村 家 造	5… 3(731)— 18(746)
詩人と思想家……………	奥 村 剋 三	5… 19(747)— 33(761)
—ひかりと影のロシア像—		
カフカの作品が語るもの……………	山 村 哲 二	5… 34(762)— 43(771)
ピュタゴラス……………	日 下 部 吉 信	5… 44(772)— 55(783)
フレーゲにおける間接話法の問題……………	木 戸 正 幸	5… 56(784)— 63(791)
ニュートンとカント……………	松 山 寿 一	5… 64(792)— 81(809)
—近代力学と自然科学の形而上学的基礎づけの問題—		
ヤーコブ・フォン・ユクスキュルの		
環境世界論再考……………	秋 澤 雅 男	5… 82(810)— 99(827)
可能世界……………	高 木 敏 美	5… 100(828)— 108(836)
カント第三アンチノミーの前史……………	河 村 克 俊	5… 109(837)— 121(849)
ウイトゲンシュタイン『哲学探究』における		
「規則の問題」と「私的言語の議論」の		
関係について……………	大 石 敏 広	5… 122(850)— 130(858)
東南アジアのコーヒー加工輸出業者……………	村 田 武	6… 3(905)— 20(922)
—インドネシア・ベトナム・シンガポール—		
食糧政策の「転換」と食糧管理制度改革……………	渡 辺 信 夫	6… 21(923)— 48(950)
価値法則……………	姜 昌 周	6… 49(951)— 65(967)
—井上周八教授の評価価値論によせて—		
バンコク・オフショア市場と金融の国際化……………	田 坂 敏 雄	6… 66(968)— 91(993)
1970年代前半の西独における「国家シェア」の		
増大について……………	坂 野 光 俊	6… 92(994)— 110(1012)
ロシア経済体制転換の現状……………	芦 田 文 夫	6… 111(1013)— 128(1030)
滋賀県における琵琶湖漁業振興政策の展開……………	杉 野 圀 明	6… 129(1031)— 151(1053)
現代イギリス地域政策の段階と特質(6)- 2 ……	若 林 洋 夫	6… 152(1054)— 176(1078)
外国貿易と国際的競争……………	岩 田 勝 雄	6… 177(1079)— 189(1091)
現代カナダの農業政策……………	松 原 豊 彦	6… 190(1092)— 209(1111)
研 究		
I-O 表による中・日環境問題の分析……………	李 潔	2… 144(240)— 157(253)
—化石燃料の消費による汚染物資の発生—		
資本主義の発展と生活様式の変化……………	森 脇 丈 子	2… 158(254)— 171(257)
—アグリエッタの「フォーディズム」概念を素材として—		
戦後台湾工業化過程における技術導入政策……………	宋 立 水	4… 86(672)— 124(710)

翻 訳

E・チルコート & R・チルコート

「マルクス主義の危機」……………角 田 修 一 4…125(711)—142(728)

Ludwig Wittgenstein: *Letter to*

John Maynard Keynes 1913-1939……………飛 田 就 一 5…153(881)—172(900)

書 評

三好正巳著『産業労働論序説——生産システムと

労働——』法律文化社, 1993年……………仲 村 政 文 2…172(268)—176(272)

姜 昌周著『再生産構造と地代理論——虚偽の

社会的価値の研究——』青木書店, 1993年……………仙 田 久 仁 男 6…210(1112)—214(1116)

そ の 他

川本和良教授退任記念論文集の刊行にさいして……………奥 地 正 3… 1(1)— 2(273)

学問と原体験: 川本和良先生を囲む座談会…………… 3…287(559)—311(583)

川本和良教授略歴・主要著作目録…………… 3…312(584)—314(586)

飛田就一教授退任記念論文集の刊行にさいして……………奥 地 正 5… 1(729)— 2(730)

飛田就一 学兄のこと……………西 川 富 雄 5…131(859)—134(862)

奇縁・好縁——飛田就一さんのこと——……………小 林 茂 5…135(863)—139(867)

エッセー: 「気づき」の精神生理——臨床的考察に

よるアプローチ——……………井 上 敏 明 5…140(868)—150(878)

哲学者——飛田就一教授に——……………日 高 正 好 5…151(879)—151(879)

飛田先生を送る……………辻 井 栄 滋 5…152(880)—152(880)

飛田就一教授略歴・主要著作目録…………… 5…173(901)—174(902)

大藪輝雄教授退任記念論文集の刊行にさいして……………奥 地 正 6… 1(903)— 2(904)

退職記念講義: 米の輸入自由化と食糧制度……………大 藪 輝 雄 6…215(1117)—228(1130)

大藪輝雄先生を囲む座談会——現代農業論を中心として——…………… 6…229(1131)—248(1150)

大藪輝雄教授略歴・主要著作目録…………… 6…249(1151)—252(1154)

学位論文審査報告

唐 沢 敬「石油と世界経済」…………… 1… 88(88)— 91(91)

姜 昌周「再生産構造と地代理論——虚偽の社会的価値の研究——」…………… 1… 92(92)— 96(96)

共同研究室

1994年度経済学会会員業績・各種研究会開催一覧・総目次…………… 6…253(1155)—259(1161)

立命館経済学 第44巻総目次 (1995年度)

論 説	号	ページ(通巻)
転換期の国際経済論……………岩 田 勝 雄	1…	1(1)— 16(16)
在庫の保有動機と生産変動……………小 塩 隆 士	1…	17(17)— 32(32)
「21世紀システム」と生産システム……………坂 本 和 一	2…	1(135)— 23(156)
情報化と『資本論』……………高 木 彰	2…	24(158)— 46(180)
——「社会システム」の制御可能性に関連して——		
現代イギリス地域政策の段階と特質(6)―3……………若 林 洋 夫	2…	47(181)— 95(229)
1993年米学生ローン改革法について……………福 光 寛	2…	96(230)—106(240)
——米国の公的金融見直し論議——		
『貧乏物語』の想源……………杉 原 四 郎	3…	3(257)— 16(270)
世界経済史の方法に関する一考察……………入 江 節 次 郎	3…	17(271)— 35(289)
アメリカの冷戦体制と日本資本主義……………二 瓶 敏	3…	36(290)— 56(310)
——戦後50年をふり返って——		
エンゲルスとヒルファーディング……………高 山 満	3…	57(311)— 72(326)
——資本主義分析の方法と「社会化」・「独占」論を中心に——		
平瀬・白杉論争とその今日的意義……………一 井 昭	3…	73(327)— 88(340)
アダム・スミスの「商業社会」と国家……………稲 村 勲	3…	89(343)—109(363)
——『国富論』における経済と国家——		
『国富論』の成立問題……………渡 辺 恵 一	3…	110(364)—127(381)
——「政治家ないし立法者の学」としての経済学——		
国民所得計量単位の理論的基礎について……………小 檜 山 政 克	3	(128(382)—138(393))
ロシア「市場経済化」におけるマクロ経済政策と 産業政策……………芦 田 文 夫	3…	140(394)—157(411)
賃金決定理論と明治・大正期の労働「市場」……………小 野 進	3…	158(412)—208(462)
トマス・モア『ユートピア』における「自由」と 「平等」……………田 中 宏 道	3…	209(463)—235(489)
賃金決定メカニズムと社会関係……………小 野 進	4・5…	1(503)— 40(542)
「21世紀システム」論とレギュラシオン・ アプローチ……………坂 本 和 一	4・5…	41(543)— 55(557)
預金通貨需要関数の推計……………井 澤 裕 司	4・5…	56(558)— 74(576)
キルギスタンの叙事詩『マナス』と辺境の知識人……………奥 村 剋 三	4・5…	151(653)—159(661)
D. H. LAWRENCE'S 'SNAKE': A READING AND COMMENTARY……………Robert MacLean		
ボクシングとJ. ロンドン……………辻 井 榮 滋	4・5…	160(662)—179(681)
	4・5…	180(682)—194(696)

ウエールズ語の重音節化現象について……………	三宅正隆	4・5…195(697)—208(710)
Neurolinguistic Study of Language Disorders in		
Aphasic People ……………	Virginia M. Peng	4・5…209(711)—245(717)
中国社会主义市場経済体制に関する諸問題……………	董 輔 祜	6… 3(727)— 21(745)
中国農村改革と人民公社の終結……………	杉野明夫	6… 22(746)— 40(764)
中国農業合作化論争……………	菅沼正久	6… 41(765)— 57(781)
中国近代の桑業商人について……………	田尻利	6… 58(782)— 74(798)
張学良「 ^{ヨーロッパ} 游欧体験」の精神史……………	西村成雄	6… 75(799)— 92(816)
——「救国」と「救亡」の葛藤——		
ソ連の社会経済体制とその崩壊原因……………	小野一郎	6… 93(817)—108(832)
経済発展論および同体制論と二つの		
インフレーション ……………	鈴木登	6…109(833)—127(851)
——ロシアと中国の市場経済移行過程におけるその原因および特徴について——		
現代経済における商業資本の独自性……………	高木彰	6…128(852)—151(875)
現代世界経済の動向と中国経済の位置……………	岩田勝雄	6…152(876)—169(893)
中国経済の資金循環……………	張 南	6…170(894)—183(907)
——1988-1994年の高度成長期におけるマクロ統計分析——		
研 究		
The Transformation of Tokyo, Singapore and		
Hong Kong into Global Cities and International		
Migration ……………	Rujhan Mustafa	1… 32(32)— 59(59)
第二次世界大戦後の台湾の金融システムと経済発展…	黄 玉 琴	1… 60(60)— 86(86)
経済のサービス化・情報化の乗数分析……………	五十嵐直子	2…107(241)—120(254)
「貨幣の資本への転化」論と「貨幣の能力」……………	山田祥夫	3…236(489)—244(498)
「労働市場の柔軟化」と規制緩和……………	丹下晴喜	4・5… 75(577)— 92(594)
——80年代 OECD の政策提起との関連で——		
Input-Output Analysis of the Japanese		
Information-Service Economy ……………	五十嵐直子	4・5… 93(595)—110(612)
準備預金需要関数の実証分析……………	打田委千弘	4・5…111(613)—127(629)
——目次データを用いた推定——		
翻 訳		
援助とコンディショナリティ……………	H. W. シンガー著/ 西口清勝	4・5…128(630)—148(650)
書 評		
ジョン・ウォン著 / 西口清勝訳：『中国社会主义		
市場経済』……………	王 耀 東	1… 87(87)— 92(92)
そ の 他		
岡崎栄松教授退任記念論文集の刊行にさいして……………	奥 地 正	3… 1(255)— 2(256)

岡崎栄松教授略歴・主要著作目録	3	245(499)—247(501)
小林 茂教授退任記念論文集の刊行にさいして	奥地 正	4・5
エッセー：「腐れ縁・悪縁」	飛田 就一	4・5
——小林茂君の謂う「奇縁・好縁」を承けて——		
小林 茂教授略歴・主要著作目録	4・5	220(722)—221(723)
松野昭二教授退任記念論文集の刊行にさいして	奥地 正	6
シンポジウム「日中経済関係の構造的研究」		
中国経済の発展と中日経済協力の新たな展開	呉 寄南	6
中国国有企業の改革について	余 暢君	6
上海における日本の投資の現状と問題点	陳 鴻斌	6
現代中国研究と私	松野昭二	6
——現代中国研究40年をふりかえって——		
松野昭二教授略歴・主要著作目録	6	219(943)—221(945)
学位論文審査報告		
泉 俊弘「地域経済学研究序説」	1	93(93)—96(96)
——地域経済構造とその運動法則に関する理論的考察——		
龍 昇吉「日本経済と財政投融资」	1	97(97)—106(106)
濱崎正規「シュムペーター体系の研究」	1	107(107)—116(116)
三好正巳「産業労働論序説」	1	117(117)—120(120)
李 潔「産業連関表による中国経済の実証分析」	1	121(121)—125(125)
1994年度修士学位請求論文要旨	1	126(126)—127(127)
共同研究室		
1995年度各種研究会開催一覧	6	222(946)—223(947)
『立命館経済学』第44巻（1995年度）総目次	6	224(948)—226(950)

立命館経済学 第45巻総目次(1996年度)

	号	ページ(通巻)
論 説		
マネタリズムと中期財政金融戦略(上)……………若 林 洋 夫	1・2…	1(1)― 27(27)
——サッチャリズムの検証(1)——		
現代国際経済論の展開……………岩 田 勝 雄	1・2…	28(28)― 46(46)
戦後台湾工業化過程における研究開発……………宋 立 水	1・2…	47(47)― 95(95)
アメリカ原子力産業の形成……………藤 岡 惇	3・4…	1(173)― 12(184)
マネタリズムと中期財政金融戦略(下)……………若 林 洋 夫	3・4…	13(185)― 56(228)
——サッチャリズムの検証(1)——		
多国籍自動車企業の中国での展開……………岩 田 勝 雄 黄 駿	5…	1(271)― 17(287)
——中国の自動車産業育成政策との関連で——		
核冷戦は米国地域経済をどう変えたか……………藤 岡 惇	5…	18(288)― 35(305)
労働者派遣・職業紹介事業の規制緩和と		
ILO 96号条約改正問題……………伍 賀 一 道	6…	3(341)― 17(355)
日本企業の雇用システムと「終身雇用制」論……………浪 江 巖	6…	18(356)― 38(376)
立命館大学生および仏教各宗派の霊魂観……………安 斎 育 郎	6…	39(377)― 56(394)
公共事業費の膨張と政府債務の累増……………坂 野 光 俊	6…	57(395)― 72(410)
——建設公債原則に基づく財政運営の帰結——		
体制転換における企業と労働……………芦 田 文 夫	6…	73(411)― 97(435)
——追跡の理論的枠組み——		
地代論争と虚偽の社会的価値……………杉 野 罔 明	6…	98(436)―121(459)
経済システムと自己組織性の理論……………高 木 彰	6…	122(460)―142(480)
J・ロンドンのボクシング小説……………辻 井 栄 滋	6…	143(481)―166(504)
現代日本の国際経済関係……………岩 田 勝 雄	6…	167(505)―189(527)
アメリカ原子力発電産業の現段階……………藤 岡 惇	6…	190(528)―202(540)
労働の規制緩和と労働市場……………横 山 政 敏	6…	203(541)―223(561)
——新規学卒市場の展開を中心にして——		
東アジア地域における軍事支出と経済成長……………稲 葉 和 夫	6…	224(562)―241(579)
——計量経済的分析方法の検討——		
山形大武の経済論について……………Gudrun GRÄWE	6…	242(580)―259(597)
研 究		
初期リカードの利潤理論について……………福 田 進 治	1・2…	96(96)―121(121)
現代資本主義における「豊かさ」とは何か……………森 脇 丈 子	3・4…	59(229)― 75(247)
——豊かさをめぐる諸議論の類型化——		
台湾における資本ストックの推計……………黄 玉 琴	3・4…	76(248)― 98(270)

日本における銀行貸出市場の変遷について……………打田 委 千 弘 5… 36(306)— 49(319)

書 評

溝端佐登志著『ロシア経済・経営システム研究』……………芦 田 文 夫 1・2…122(122)—127(127)
——ソ連邦・ロシア企業・産業分析——（法律文化社，1996年）

そ の 他

三好正巳教授退任記念論文集の刊行にさいして……………杉 野 園 明 6… 1(339)— 2(340)

三好正巳教授略歴・主要著作目録…………… 6…260(598)—265(603)

共同研究室・第45巻総目次…………… 6…266(604)—269(607)

学位論文審査報告

清野良栄「現代経済と蓄積体制——競争と独占の経済学——」…………… 1・2…128(128)—134(134)

東郷 久「戦後日本の公共投資
——生産手段体系と生産基盤整備——」…………… 1・2…135(135)—145(145)

五十嵐直子「日本における経済のサービス化・
情報化の産業連関分析」…………… 5… 50(320)— 55(325)

ルジハン・ビン・ムスタファ「A STUDY OF INTERNATIONAL
CAPITAL AND LABOR MIGRATION IN THE ASIAN
REGION」…………… 5… 56(326)— 61(331)

宋 立水「アジア NIES 工業化過程における資本形成と技術形成
——台湾の事例から——」…………… 5… 62(332)— 68(338)

1995年度修士学位請求論文要旨…………… 1・2…146(146)—172(172)

立命館経済学 第46巻総目次 (1997年度)

論 説	号	ページ(通巻)
ヨーロッパ統合市場進展の意義……………岩 田 勝 雄	1 …	1 (1) — 17 (17)
東中欧におけるネーションの形成……………山 井 敏 章	1 …	18 (18) — 35 (35)
——W. コンツェの遺稿に寄せて——(上)		
Sustainable Development: Economic Incentives in		
Waste Management in Thailand……………Dararatt Anantanasuwong	1 …	36 (36) — 52 (52)
平成バブル不況にみる経済変動の性格と特徴……………鈴木 登	2 …	1 (99) — 18 (116)
現代の国際金融・通貨問題分析の視点……………岩 田 勝 雄	2 …	19 (117) — 43 (141)
外人投資と日本の株式市場……………福 光 寛	2 …	44 (142) — 68 (166)
東中欧におけるネーションの形成……………山 井 敏 章	2 …	69 (167) — 104 (202)
——W. コンツェの遺稿に寄せて——(下)		
日本の林業・農山村と国土・環境問題……………奥 地 正	3 …	1 (203) — 25 (227)
EUにおける法人税制の「調和」の論理と構造……………浅 田 和 史	3 …	26 (228) — 47 (249)
日本の海外直接投資の決定要因について……………稲 葉 和 夫	3 …	48 (250) — 68 (270)
——従来の実証研究の検討——		
産業構造の変化と国土・環境問題(上)……………奥 地 正	4 …	1 (305) — 18 (322)
現代経済学における価値論について……………高 木 彰	4 …	19 (323) — 44 (348)
米国における冷戦経済の形成……………藤 岡 惇	4 …	45 (349) — 63 (367)
1997年11月の金融パニックについて……………福 光 寛	4 …	64 (368) — 70 (374)
日本の海外直接投資の貿易効果について……………稲 葉 和 夫	4 …	71 (375) — 97 (401)
——従来の実証研究の検討——		
天啓としての民衆芸術……………奥 村 家 造	5 …	7 (409) — 27 (429)
先住アメリカ人作家の世界……………須 田 稔	5 …	28 (430) — 44 (446)
「英語文学」論序説……………大 本 達 也	5 …	45 (447) — 61 (463)
ヘンリー・ヴォーンの詩 The World における		
永遠と時間……………西 村 尚	5 …	62 (464) — 66 (468)
コンピュータ利用による英語教育の可能性……………吉 田 信 介	5 …	67 (469) — 87 (489)
——実践事例とその問題点——		
トマス・ヒューズ『トム・ブラウンの学校生活』		
再読……………大 井 靖 夫	5 …	88 (490) — 104 (506)
サリンジャーとその周辺たち……………森 川 展 男	5 …	105 (507) — 120 (522)
——ニューヨークに舞うユダヤ系作家たち——		
ダーシィ・マクニクル『包囲されて』……………西 村 頼 男	5 …	121 (523) — 127 (529)
——合衆国先住民の小説——		

- Golden Apple への道程……………岩田典子 5…128(530)—135(537)
 —“A Solemn Thing within the Soul”を中心に—
- 『オリヴァ・トゥイスト』の日本語訳……………藤村公輝 5…136(538)—148(550)
 —ディケンズ翻訳史のひとつこま—
- 「イーサン・ブランド」……………高島清 5…149(551)—157(559)
 —〈許されざる罪〉の本質—
- 20世紀の版本と編纂における Q 1 Hamlet……………野口忠昭 5…158(560)—177(579)
- J. London, The Road—19世紀アメリカ社会の
 インサイド・ストーリー—を読む……………辻井榮滋 5…178(580)—203(605)
- ケインズの不均衡分析……………松川周二 5…204(606)—224(626)
- エリセーエフとネフスキイ……………桧山真一 6…3(631)—18(646)
 —水田紀久、河合忠信、日野貴夫三氏の問題提起に寄せて—
- 「ソフィアの歌」と大黒屋光太夫……………生田美智子 6…19(647)—39(667)
- 近代ユダヤ史における東欧と西欧……………角伸明 6…40(668)—56(684)
 —ハシディズムとハスカラーの歴史的評価に関して—
- 「ネヴァ河の幻」の変容……………松本賢一 6…57(685)—68(696)
 —【弱い心】から【罪と罰】へ—

НЕСКОЛКО СЛОВ ОЪ ОКУМУРА

- КАЦУДЗО-СЭНСЭЙ……………Георгий СВИРИДОВ 6…69(697)—72(700)
- 国民国家と異文化交流……………西川長夫 6…73(701)—84(712)
 —文化交流を妨げるものと促進するものとの関係についての理論的考察—
- アラゴンの『現代文学史草案』について……………川上勉 6…85(713)—106(734)
- これもまたヘルダー論のためのひとつの試み……………松宮秀治 6…107(735)—121(749)
- 『文學論』の「失敗」と漱石のリアリズム……………中村泰行 6…122(750)—149(777)
- 発話行為 (Speech Acts) にあらわれる言語文化……………Lee 凧子 6…150(778)—164(792)
 —日本語母語話者の特徴—
- 戦後日本財政の時期区分……………坂野光俊 6…165(793)—183(811)
 —【図説日本の財政】の検討—
- 市場経済化の「ロシア的なもの」……………芦田文夫 6…184(812)—207(835)
- 西園寺公望のフランス語蔵書……………奥村功 6…208(836)—225(853)
- 従破壊到復興?……………金丸裕一 6…226(854)—239(867)
 —從經濟史來看「通往南京之路」—

研 究

- 過渡期チェコにおける経営主体の形成……………小林佐和枝 1…53(53)—73(73)
 —外資と政府の役割を中心に—
- リカードの労働価値理論について……………福田進治 3…69(271)—95(297)

書 評

高木 彰著『現代経済学の基礎理論』（創風社，1996年）……………高 倉 泰 夫 3 …… 96（298）— 101（303）

そ の 他

共同研究室…………… 1 …… 97（97）— 98（98）
 故日高正好先生追悼号に寄せて……………杉 野 圀 明 5 …… 1（403）— 1（403）
 日高正好君を偲んで……………宮 地 國 敬 5 …… 3（405）— 6（408）
 ——その著書といくつかの思い出——
 故日高正好教授略歴・主要著作目録…………… 5 …… 225（627）— 226（628）
 奥村剋三教授退任記念論文集の刊行に寄せて……………杉 野 圀 明 6 …… 1（629）— 1（629）
 ブブノアさんの思い出……………奥 村 剋 三 6 …… 240（868）— 241（869）
 奥村剋三教授略歴・主要著作目録…………… 6 …… 242（870）— 246（874）
 共同研究室・第46巻総目次…………… 6 …… 247（875）— 251（879）

学位論文審査報告

1996年度修士学位請求論文要旨…………… 1 …… 74（74）— 96（96）

立命館経済学 第47巻総目次 (1998年度)

	号	ページ(通巻)
論 説		
APEC (アジア太平洋協力) に見る民間事業活動への関与……………山 浦 雄 三		
—中小企業育成を例として—	1…	1(1)— 22(22)
海外直接投資変動の計量分析……………稲 葉 和 夫	1…	23(23)— 48(48)
電気機械器具産業の収益力と費用・資金構造(1)……………伊 藤 研 一	1…	49(49)— 68(68)
—日本・アメリカ・カナダの比較研究—	道 井 澤 裕	
自由参入多階層シュタッケルベルク均衡と		
経済厚生……………大 川 隆 夫	1…	69(69)— 74(74)
現代市場と“ゆらぎ”を通しての秩序……………高 木 彰	2・3・4…	3(179)— 17(193)
準市場 (Quasi-Markets) の経済学		
: 小野説とブリストル大学グループ等の議論の		
相違……………小 野 進	2・3・4…	18(194)— 39(215)
ロシア体制転換と制度理論・進化理論……………芦 田 文 夫	2・3・4…	40(216)— 61(237)
民属 (Volk) と民族 (Nation) の区別にもとづく		
民族理論の形成……………上 野 俊 樹	2・3・4…	62(238)— 84(260)
社会科学と経済学の方法……………杉 野 圀 明	2・3・4…	85(261)—104(280)
—カール・メンガーの経済学方法論批判—		
ケインズ, ラムゼイおよびポパー……………鈴 木 登	2・3・4…	105(281)—121(297)
—帰納法および演繹法と確率論をめぐって—		
古典派外国貿易論の研究……………岩 田 勝 雄	2・3・4…	122(298)—136(312)
不況・失業問題とケインズ……………松 川 周 二	2・3・4…	137(313)—157(333)
ヒルファディングの「貨幣数量説」について……………小 檜 山 政 克	2・3・4…	158(334)—168(344)
—労働価値論に基づく貨幣理論の発展のために—		
「シュムペーター体系」再考……………濱 崎 正 規	2・3・4…	169(345)—187(363)
—新民主主義論展開のために—		
人民国家—未来国家—社会国家……………山 井 敏 章	2・3・4…	188(364)—205(381)
—19世紀ドイツの労働者運動における社会変革構想—		
On the Equivalence of Tariffs and Quotas with a Monopolistic Non-traded Intermediate Good Market: A Simple General Equilibrium Approach ……………大 川 昌 幸		
	2・3・4…	206(382)—214(390)

Tariff-Financed Public Inputs in the Mobile

Capital Harris-Todaro Model	松 本 睦	2・3・4…215(391)—226(402)
金融大改革と生命保険会社の資産運用のあり方……	古 瀬 政 敏	2・3・4…227(403)—244(420)
米国の核爆弾産業はいかに構築されたか……………	藤 岡 惇	2・3・4…245(421)—265(441)
老人医療費の地域的変動とその決定要因……………	知 野 哲 朗	2・3・4…266(442)—280(456)
転換期の韓国土地公概念政策……………	川 瀬 光 義	2・3・4…281(457)—295(471)
西園寺公望のフランス語蔵書……………	奥 村 功	2・3・4…296(472)—318(494)

—その2 陶庵文庫—

J. London, <i>Before Adam</i>	辻 井 榮 滋	2・3・4…319(495)—349(525)
-------------------------------------	---------	-------------------------

—人類の曙の時代の物語—

The World Wide Web Projects Through

Collaborative Learning……………	野 澤 和 典	2・3・4…350(526)—358(534)
英語プログラムとプレイスメント・テスト……………	清 水 裕 子	2・3・4…359(535)—374(550)

—2種のテスト結果の分析をもとに—

地球環境問題と森林・林業の今日的諸相……………	野 口 俊 邦	5… 3(627)— 18(642)
-------------------------	---------	--------------------

—我が国の国有林野事業を中心に—

村落共同体林野の町村有林化過程……………	笠 原 義 人	5… 19(643)— 39(663)
経済国際化と日本の住宅・林業問題……………	菊 間 満	5… 40(664)— 60(684)
フィリピンにおける社会林業と植林の展開……………	依 光 良 三	5… 61(685)— 74(698)

—内発的発展の視点において—

都市居住問題の日本的構造について……………	山 田 良 治	5… 75(699)— 89(713)
下水道ネットワークシステムの費用便益分析……………	仲 上 健 一	5… 90(714)—100(724)
インド, パキスタンの核実験と日本の		

原水爆禁止運動の課題……………	安 斎 育 郎	5…101(725)—123(747)
冷戦期米国における航空宇宙—通信—電子複合体		
の展開(1)……………	藤 岡 惇	5…124(748)—136(760)
戦後日本の産業構造変化—データによる確認……………	平 田 純 一	5…137(761)—160(784)

Why was Japanese Investment so High? :

A Preliminary Note on Managerial Incentive Mechanism	井 澤 裕 司 伊 藤 研 義 道 明 弘	5…161(785)—165(789)
--	-----------------------------	---------------------

バンクーバー都市圏の農業構造と農用地保全政策…	松 原 豊 彦	5…166(790)—184(808)
アジア経済危機下のアセアン自動車産業の発展と		
競争構造の変化……………	山 浦 雄 三	6… 1(815)— 16(830)
現代国際経済分析の諸論点……………	岩 田 勝 雄	6… 17(831)— 31(845)

研 究

台湾における産業別設備投資行動……………	黄 玉 琴	1… 75(75)—108(108)
大学志願決定要因の計量分析……………	五十嵐 直 子	6… 32(846)— 44(858)

リカードの賃金概念と動学分析について……………	福 田 進 治	6… 45(859)— 68(882)
翻 訳		
アメリカにおける黎明期の女子陸上競技の状況……	岡 尾 恵 市	2・3・4…375(566)—389(623)
—「American Women's Track and Field — A History, 1895 through 1980」第1章より—		
学位論文審査報告		
塚本隆敏「中国における労働市場問題—理論と調査報告—」……………		1…109(109)—115(115)
湯浅良雄「現代労働過程の研究」……………		1…116(116)—121(121)
1997年度修士学位請求論文要旨……………		1…122(122)—175(175)
研究計画		
研究計画……………		2・3・4…390(566)—447(623)
そ の 他		
1997年度経済学会会員業績……………		1…176(176)
『立命館経済学50周年記念号』発刊によせて……………	山 田 彌	2・3・4… 1(177)— 2(178)
『立命館経済学』五〇年（全四七巻）総目録……………		2・3・4…449 —558
『立命館経済学』著者別目録……………		2・3・4…559 —568
奥地 正教授退任記念論文集の刊行にさいして……	山 田 彌	5… 1(625)— 2(626)
奥地 正教授略歴・主要著作目録……………		5…185(809)—189(813)
1998年度各種研究会開催一覧……………		6… 69(883)— 70(884)
第47巻総目次……………		6… 71(885)— 73(887)